

平成27年2月20日

「平成26年中の交通死亡事故の特徴及び道路交通法違反取締り状況について」の訂正について
みだしの広報資料について、下記のとおり修正します。

1 修正箇所

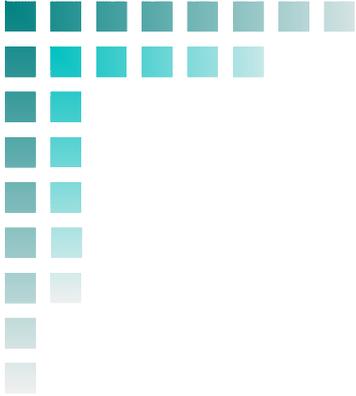
51ページ「都道府県別高齢者の死者数」の四国4県の全人口の各項目の数値及び同修正に伴う高齢者人口当たり死者の順位

(誤) 12 都道府県別高齢者の死者数

都道府県別		区分		全人口 (千人)	うち高齢者 (千人)	高齢者人口 当たり死者	順位
		全死者	うち高齢者				
北海道		169	75	5,431	1,469	5.11	41
東	青森	54	37	1,335	373	9.92	14
	岩手	64	36	1,295	372	9.68	16
北	宮城	83	40	2,328	553	7.23	30
	秋田	37	30	1,050	331	9.06	19
	山形	44	24	1,141	332	7.23	31
	福島	87	43	1,946	524	8.21	23
東京都		172	65	13,300	2,914	2.23	46
関	茨城	132	60	2,931	728	8.24	22
	栃木	102	44	1,986	480	9.17	18
東	群馬	67	42	1,984	512	8.20	24
	埼玉	173	78	7,222	1,661	4.70	42
	千葉	182	95	6,192	1,505	6.31	38
東	神奈川	185	66	9,079	2,033	3.25	45
	新潟	103	66	2,330	655	10.08	12
	山梨	49	23	847	225	10.22	11
	長野	82	43	2,122	600	7.17	33
中	静岡	143	73	3,723	966	7.56	27
	富山	44	24	1,076	309	7.77	26
	石川	55	35	1,159	302	11.59	8
部	福井	49	28	795	214	13.08	3
	岐阜	93	50	2,051	539	9.28	17
	愛知	204	123	7,443	1,662	7.40	28
	三重	112	57	1,833	480	11.88	7
近	滋賀	63	39	1,416	319	12.23	6
	京都	69	38	2,617	676	5.62	40
畿	大阪	143	75	8,849	2,184	3.43	44
	兵庫	182	103	5,558	1,408	7.32	29
	奈良	45	21	1,383	369	5.69	39
	和歌山	39	20	979	288	6.94	34
中	鳥取	34	20	578	163	12.27	5
	島根	26	18	702	217	8.29	21
国	岡山	90	58	1,930	524	11.07	9
	広島	117	64	2,840	743	8.61	20
	山口	58	29	1,420	429	6.76	36
四	徳島	31	19	985	277	6.86	35
	香川	52	33	1,405	404	8.17	25
	愛媛	75	46	745	232	19.83	1
国	高知	41	25	3,905	1,137	2.20	47
	福岡	147	82	5,090	1,230	6.67	37
九	佐賀	56	34	840	219	15.53	2
	長崎	49	28	1,397	390	7.18	32
	熊本	76	53	1,801	491	10.79	10
州	大分	56	33	1,178	337	9.79	15
	宮崎	49	31	1,120	310	10.00	13
	鹿児島	94	58	1,680	467	12.42	4
	沖縄	36	9	1,415	260	3.46	43
合計		4,113	2,193	127,298	31,898	6.88	—

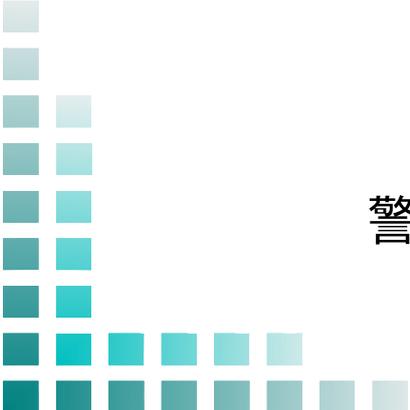
(正) 12 都道府県別高齢者の死者数

区分			全死者	うち高齢者	全人口 (千人)	うち高齢者 (千人)	高齢者人口当たり死者	
都道府県別							順位	
北海道			169	75	5,431	1,469	5.11	42
東	青森	54	37	1,335	373	9.92	16	
	岩手	64	36	1,295	372	9.68	18	
	宮城	83	40	2,328	553	7.23	32	
北	秋田	37	30	1,050	331	9.06	21	
	山形	44	24	1,141	332	7.23	33	
	福島	87	43	1,946	524	8.21	26	
東京			172	65	13,300	2,914	2.23	47
関	茨城	132	60	2,931	728	8.24	25	
	栃木	102	44	1,986	480	9.17	20	
	群馬	67	42	1,984	512	8.20	27	
	埼玉	173	78	7,222	1,661	4.70	43	
	千葉	182	95	6,192	1,505	6.31	39	
東	神奈川	185	66	9,079	2,033	3.25	46	
	新潟	103	66	2,330	655	10.08	14	
	山梨	49	23	847	225	10.22	13	
	長野	82	43	2,122	600	7.17	35	
	静岡	143	73	3,723	966	7.56	29	
中	富山	44	24	1,076	309	7.77	28	
	石川	55	35	1,159	302	11.59	8	
	福井	49	28	795	214	13.08	2	
	岐阜	93	50	2,051	539	9.28	19	
	愛知	204	123	7,443	1,662	7.40	30	
近	三重	112	57	1,833	480	11.88	7	
	滋賀	63	39	1,416	319	12.23	5	
	京都	69	38	2,617	676	5.62	41	
	大阪	143	75	8,849	2,184	3.43	45	
	兵庫	182	103	5,558	1,408	7.32	31	
畿	奈良	45	21	1,383	369	5.69	40	
	和歌山	39	20	979	288	6.94	36	
	鳥取	34	20	578	163	12.27	4	
中	島根	26	18	702	217	8.29	24	
	岡山	90	58	1,930	524	11.07	10	
	広島	117	64	2,840	743	8.61	22	
	山口	58	29	1,420	429	6.76	37	
四	徳島	31	19	770	224	8.48	23	
	香川	52	33	985	277	11.91	6	
	愛媛	75	46	1,405	404	11.39	9	
	高知	41	25	745	232	10.78	12	
九	福岡	147	82	5,090	1,230	6.67	38	
	佐賀	56	34	840	219	15.53	1	
	長崎	49	28	1,397	390	7.18	34	
	熊本	76	53	1,801	491	10.79	11	
	大分	56	33	1,178	337	9.79	17	
	宮崎	49	31	1,120	310	10.00	15	
	鹿児島	94	58	1,680	467	12.42	3	
州	沖縄	36	9	1,415	260	3.46	44	
	合計	4,113	2,193	127,298	31,898	6.88	—	



平成27年2月19日

平成26年中の交通死亡事故の特徴及び
道路交通法違反取締り状況について



警察庁交通局



目 次

1	交通事故の発生状況	1
2	交通事故死者数の減少幅が縮小している背景	3
3	月別死者数の推移	5
4	死者の状況と特徴	
(1)	年齢層別死者の状況と特徴	6
(2)	状態別死者の状況と特徴	8
(3)	年齢層別・状態別死者の状況と特徴	
ア	全般	10
イ	高齢者	13
ウ	自動車乗車中	16
(4)	昼夜別死者の状況と特徴	17
5	死亡事故の状況と特徴	
(1)	第1当事者別の状況と特徴	20
(2)	法令違反別の状況と特徴	
ア	全般	23
イ	若者	25
ウ	高齢者	26
(3)	飲酒別の状況と特徴	27
(4)	危険認知速度別の状況と特徴	28
(5)	事故類型別の状況と特徴	29
(6)	道路形状別の状況と特徴	32
(7)	自転車関連死亡事故の状況と特徴	34
6	交通関係法令違反の検挙状況	
(1)	道路交通法違反の取締り状況	36
(2)	危険運転致死傷罪等の適用件数	37
7	高速道路における死亡事故発生状況	
(1)	交通死亡事故の発生状況	38
(2)	月別死者数の推移	39
(3)	路線別死亡事故発生状況	40
(4)	法令違反別(第1当事者)死亡事故発生状況	41
(5)	当事者種別(第1当事者)別死亡事故発生状況	42
(6)	事故類型別死亡事故発生状況	43
(7)	シートベルト着用有無別死者数	44
8	高速道路における道路交通法違反の取締り状況	45
9	車両及び運転免許に関する状況	
(1)	車両	46
(2)	運転免許	48
10	通学等における事故発生状況	49
11	都道府県別交通事故発生状況	50
12	都道府県別高齢者の死者数	51
13	死者3人以上の交通事故発生状況	52

注1 本資料は、原則として、平成27年1月20日までに入手したデータにより作成した。

注2 数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や、四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。

1 交通事故の発生状況

- 発生件数 57万3,842件（前年比－5万5,179件、－8.8%）
 うち死亡事故 4,013件（同 ー265件、－6.2%）
- 死者数 4,113人（同 ー260人、－5.9%）
- 負傷者数 71万1,374人（同 ー7万1,20人、－9.0%）

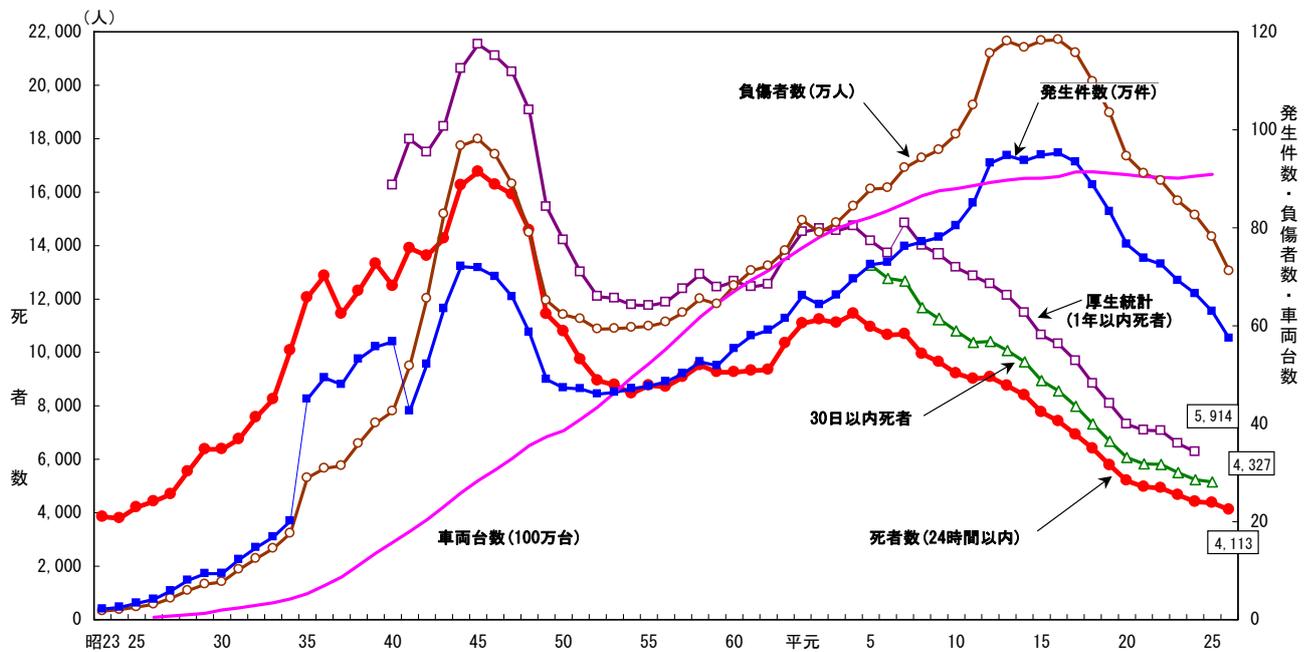
【参考：11月末現在】

30日以内死者数 4,327人（前年比－244人、－5.3%、比率1.18倍）

注 「死者数」とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人数をいい、「30日以内死者数」とは、交通事故発生から30日以内に死亡した人数をいう。また、「比率」は、死者数（24時間以内）に対する30日以内死者数の比率である。

平成26年中の交通事故による死者数は、4,113人で14年連続の減少となり、交通事故発生件数及び負傷者数も10年連続で減少した。

しかしながら、近年、交通事故死者数の減少幅は縮小傾向にあり、交通事故死者数全体に占める65歳以上の高齢者の割合が高い水準で推移しているなど、交通事故情勢は依然として厳しい状況にある。



注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。
 注2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。
 注3 昭和46年以前は、沖縄県を含まない。
 注4 厚生統計は、厚生労働省統計資料「人口動態統計」による当該年に死亡した者のうち原死因が交通事故の死者数である。なお、平成6年までは自動車事故とされた者の数を、平成7年からは交通事故とされた者から道路上の交通事故ではないと判断される者を除いた数を計上。

○ 交通事故発生状況の推移（昭和23年～平成26年）

	発生件数 (件)		死亡事故 (件)		負傷者数 (人)		死者数 (人)	
	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	
昭和 23 年	21,341	17,609	...	3,848	23
24	25,113	20,242	...	3,790	23
25	33,212	25,450	...	4,202	25
26	41,423	31,274	...	4,429	26
27	58,487	43,321	...	4,696	28
28	80,019	59,280	...	5,544	33
29	93,869	72,390	...	6,374	38
30	93,981	76,501	...	6,379	38
31	122,691	102,072	...	6,751	40
32	146,833	124,530	...	7,575	45
33	168,799	145,432	...	8,248	49
34	201,292	175,951	...	10,079	60
35	449,917	289,156	29	12,055	72
36	493,693	308,697	31	12,865	77
37	479,825	313,813	32	11,445	68
38	531,966	...	11,830	75	359,089	37	12,301	73
39	557,183	...	12,767	81	401,117	41	13,318	79
40	567,286	...	11,922	75	425,666	43	12,484	74
41	425,944	59	13,257	84	517,775	53	13,904	83
42	521,481	73	12,885	82	655,377	67	13,618	81
43	635,056	88	13,556	86	828,071	84	14,256	85
44	720,880	100	15,396	97	967,000	99	16,257	97
45	718,080	100	15,801	100	981,096	100	16,765	100
46	700,290	98	15,340	97	949,689	97	16,278	97
47	659,283	92	15,009	95	889,198	91	15,918	95
48	586,713	82	13,791	87	789,948	81	14,574	87
49	490,452	68	10,845	69	651,420	66	11,432	68
50	472,938	66	10,165	64	622,467	63	10,792	64
51	471,041	66	9,196	58	613,957	63	9,734	58
52	460,649	64	8,487	54	593,211	60	8,945	53
53	464,037	65	8,311	53	594,116	61	8,783	52
54	471,573	66	8,048	51	596,282	61	8,466	50
55	476,677	66	8,329	53	598,719	61	8,760	52
56	485,578	68	8,278	52	607,346	62	8,719	52
57	502,261	70	8,606	54	626,192	64	9,073	54
58	526,362	73	9,045	57	654,822	67	9,520	57
59	518,642	72	8,829	56	644,321	66	9,262	55
60	552,788	77	8,826	56	681,346	69	9,261	55
61	579,190	81	8,877	56	712,330	73	9,317	56
62	590,723	82	8,981	57	722,179	74	9,347	56
63	614,481	86	9,865	62	752,845	77	10,344	62
平成 元年	661,363	92	10,570	67	814,832	83	11,086	66
2	643,097	90	10,651	67	790,295	81	11,227	67
3	662,392	92	10,551	67	810,245	83	11,109	66
4	695,346	97	10,892	69	844,003	86	11,452	68
5	724,678	101	10,398	66	878,633	90	10,945	65
6	729,461	102	10,158	64	881,723	90	10,653	64
7	761,794	106	10,232	65	922,677	94	10,684	64
8	771,085	107	9,518	60	942,204	96	9,943	59
9	780,401	109	9,222	58	958,925	98	9,642	58
10	803,882	112	8,800	56	990,676	101	9,214	55
11	850,371	118	8,687	55	1,050,399	107	9,012	54
12	931,950	130	8,713	55	1,155,707	118	9,073	54
13	947,253	132	8,424	53	1,181,039	120	8,757	52
14	936,950	130	8,062	51	1,168,029	119	8,396	50
15	948,281	132	7,522	48	1,181,681	120	7,768	46
16	952,709	133	7,148	45	1,183,616	121	7,425	44
17	934,339	130	6,681	42	1,157,115	118	6,927	41
18	887,257	124	6,196	39	1,098,566	112	6,403	38
19	832,691	116	5,625	36	1,034,653	105	5,782	34
20	766,382	107	5,067	32	945,703	96	5,197	31
21	737,628	103	4,826	31	911,215	93	4,968	30
22	725,903	101	4,783	30	896,294	91	4,922	29
23	692,056	96	4,532	29	854,610	87	4,663	28
24	665,138	93	4,280	27	825,396	84	4,411	26
25	629,021	88	4,278	27	781,494	80	4,373	26
26	573,842	80	4,013	25	711,374	73	4,113	25

死者数が過去最悪の年

昭和45年以降、初めて1万人を下回る

昭和50年以来、再び1万人を上回る

昭和62年以来、再び1万人を下回る

昭和56年以来20年ぶりの8千人台

ピーク時（昭和45年）の半減を達成

昭和32年以来46年振りの7千人台

昭和31年以来49年振りの6千人台

昭和28年以来54年振りの5千人台

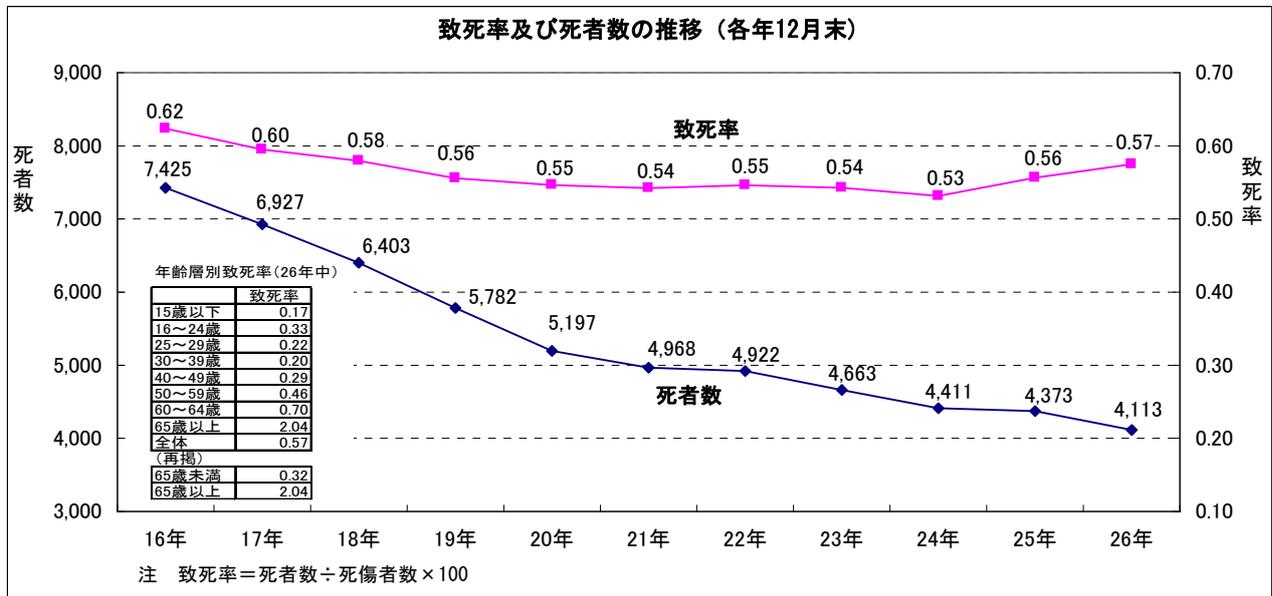
昭和27年以来57年振りの4千人台

注1 昭和34年までは、軽微な被害事故（8日未満の負傷、2万円以下の物的損害）は含まない。
 2 昭和40年までの件数は、物損事故を含む。
 3 昭和46年以前は、沖縄県を含まない。
 4 指数は昭和45年を100とした値である。

2 交通事故死者数の減少幅が縮小している背景

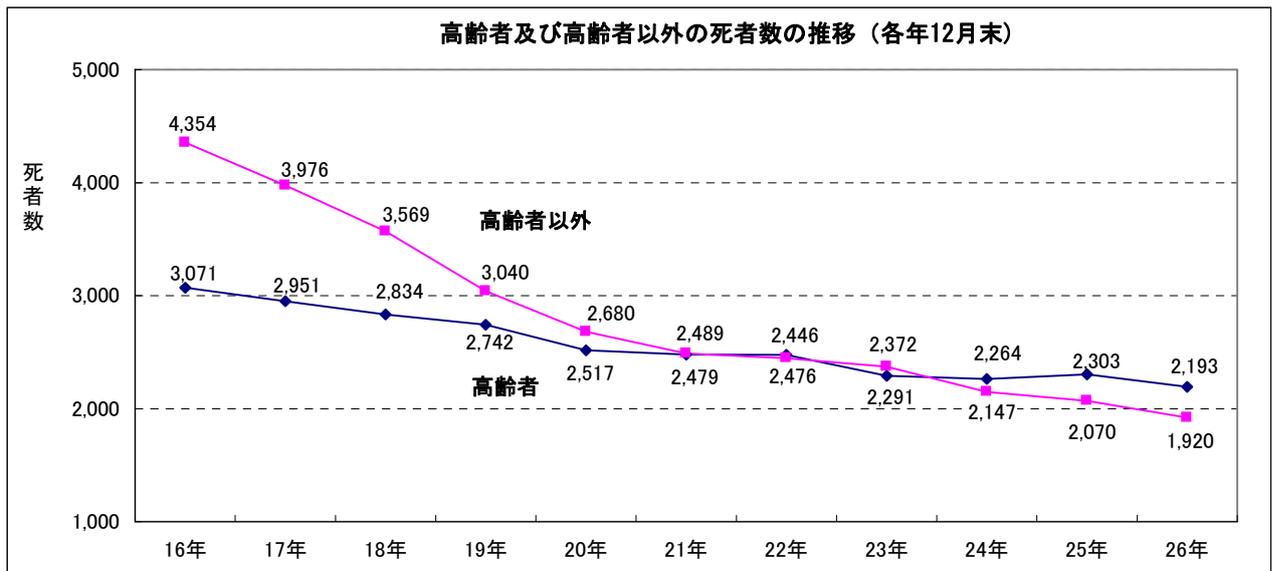
死者数は、平成13年以降一貫して減少しているものの近年は減少幅が縮小し、死者数の指標となる致死率についても2年連続して増加しており、死者数が減りにくい状況となっている。

死者数の減少幅が縮小している背景としては、「高齢者人口の増加」、「シートベルト、エアバッグ等の装着率の頭打ち」、「飲酒運転による交通事故の下げ止まり」を挙げることができる。



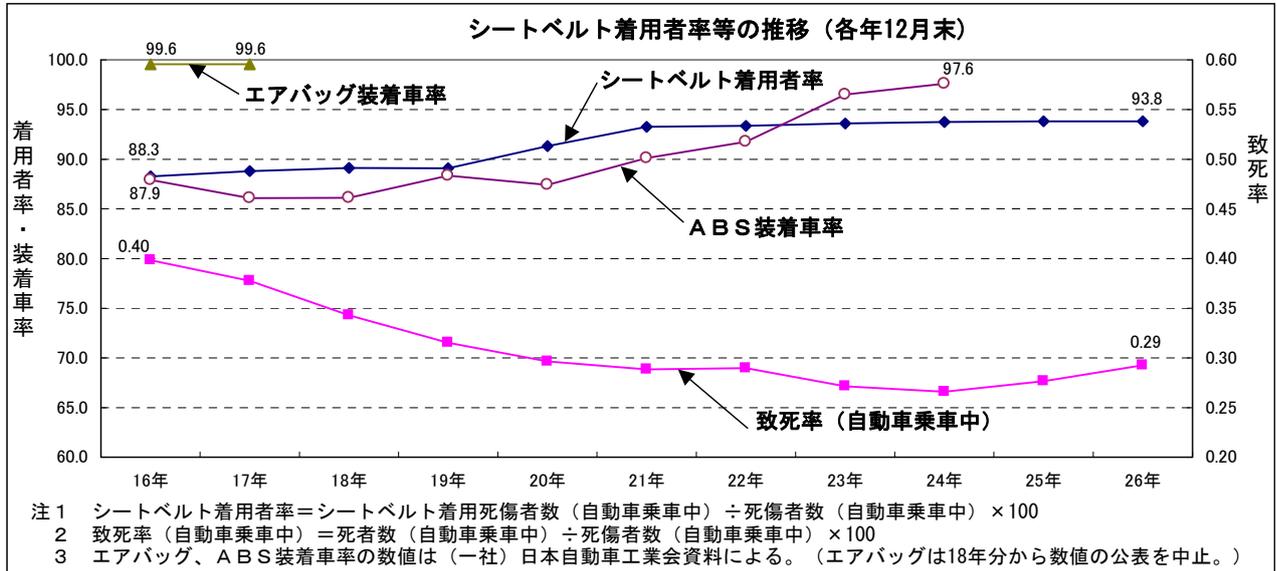
○ 高齢者人口の増加

高齢者は他の年齢層に比べて致死率が6倍高く、さらに、他の年齢層の人口が減少していく一方で、高齢者人口は年々増加の一途をたどっている。このことが高齢者の交通事故死者数を減少しにくくさせており、近年、全体の死者数の約半数を占める高齢者の死者数が減りにくくなることにより、全体の死者数の減少幅も縮小していると考えられる。



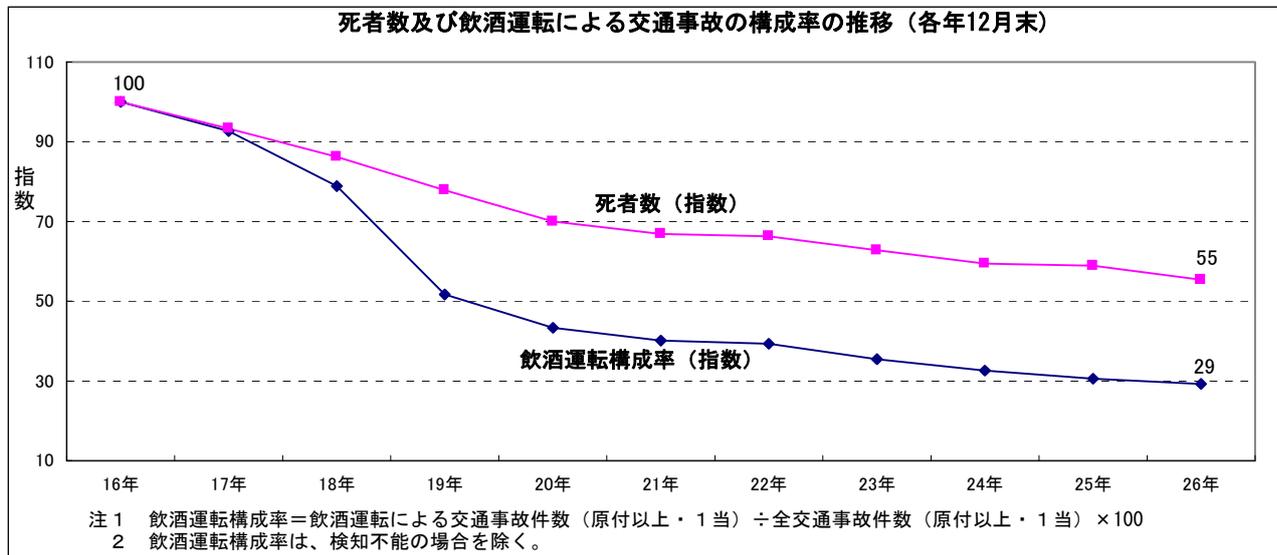
○ シートベルト、エアバッグ等の装着率の頭打ち

エアバッグ装着車率は平成17年までにほぼ100%、ABS装着車率はほぼ98%まで上昇したが、シートベルト着用者率は、最近は90%台前半で横ばい状態にある。これまで、シートベルト着用者率、エアバッグ装着車率等の向上が自動車乗車中の死者数減少に大きく寄与していたが、これらの着用、装着がかつてに比べて伸び悩んでいることが死者数の減少幅が縮小している一因となっていると考えられる。



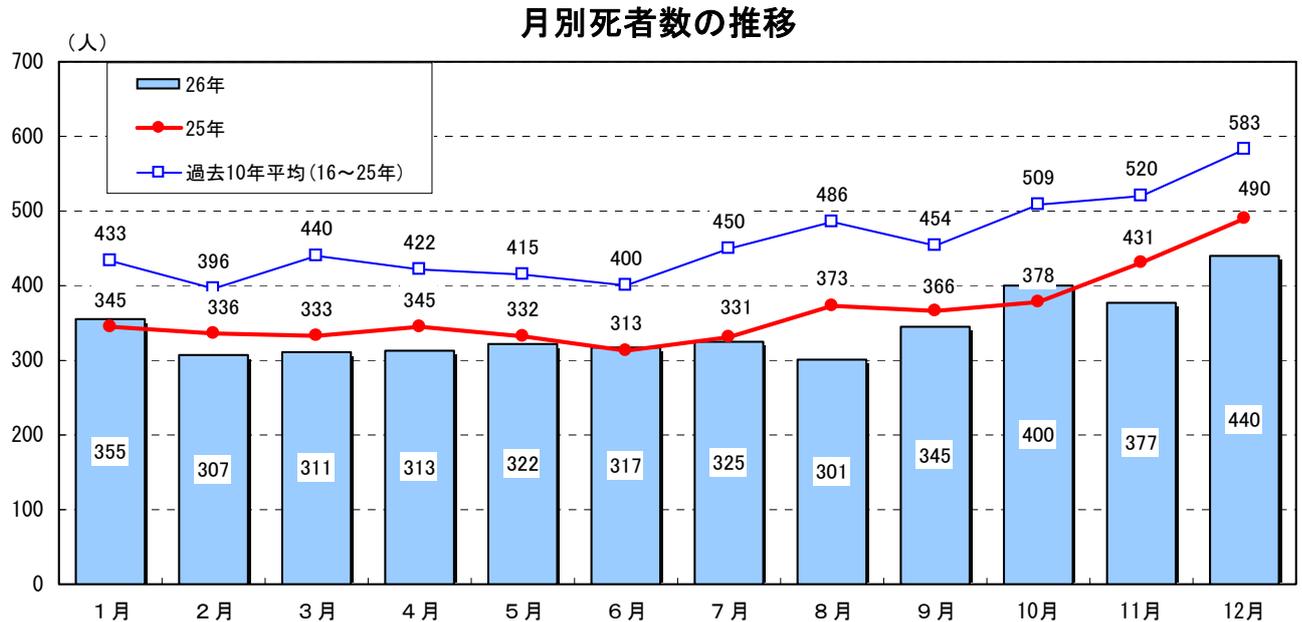
○ 飲酒運転による交通事故の下げ止まり

飲酒運転による交通事故での死亡事故率は、交通事故全体の死亡事故率に比べて高く、近年、飲酒運転による交通事故が下げ止まり傾向にあり、これが死者数の減少を阻む一つの要因になっていると考えられる。



3 月別死者数の推移

死者数を月別に比較すると、1日当たりの死者数は、12月が最多（14.2人）で、8月が最少（9.7人）となった（年平均11.3人）。



○ 月別死者数の推移

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
昭和45年	1,237	1,140	1,379	1,271	1,419	1,289	7,735	1,480	1,545	1,467	1,476	1,515	1,547	9,030	16,765
平成16年	561	517	624	611	587	563	3,463	640	627	587	649	692	767	3,962	7,425
17年	563	472	573	531	499	511	3,149	582	614	637	616	655	674	3,778	6,927
18年	535	426	555	489	474	469	2,948	527	569	509	548	650	652	3,455	6,403
19年	495	451	452	423	430	427	2,678	473	527	475	549	508	572	3,104	5,782
20年	403	361	388	402	387	371	2,312	449	475	398	502	491	570	2,885	5,197
21年	384	364	387	357	404	352	2,248	380	438	405	467	489	541	2,720	4,968
22年	393	352	366	353	380	354	2,198	407	434	412	469	425	577	2,724	4,922
23年	331	360	381	370	346	343	2,131	363	408	378	471	429	483	2,532	4,663
24年	324	322	341	337	309	301	1,934	344	392	368	438	433	502	2,477	4,411
25年	345	336	333	345	332	313	2,004	331	373	366	378	431	490	2,369	4,373
26年	355	307	311	313	322	317	1,925	325	301	345	400	377	440	2,188	4,113
増減数	10	-29	-22	-32	-10	4	-79	-6	-72	-21	22	-54	-50	-181	-260
増減率	2.9	-8.6	-6.6	-9.3	-3.0	1.3	-3.9	-1.8	-19.3	-5.7	5.8	-12.5	-10.2	-7.6	-5.9
1日当たり死者数	11.5	11.0	10.0	10.4	10.4	10.6	10.6	10.5	9.7	11.5	12.9	12.6	14.2	11.9	11.3
過去10年平均(16~25年)	433	396	440	422	415	400	2,507	450	486	454	509	520	583	3,001	5,507

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

2 昭和45年は死者数が最も多い年である。

4 死者の状況と特徴

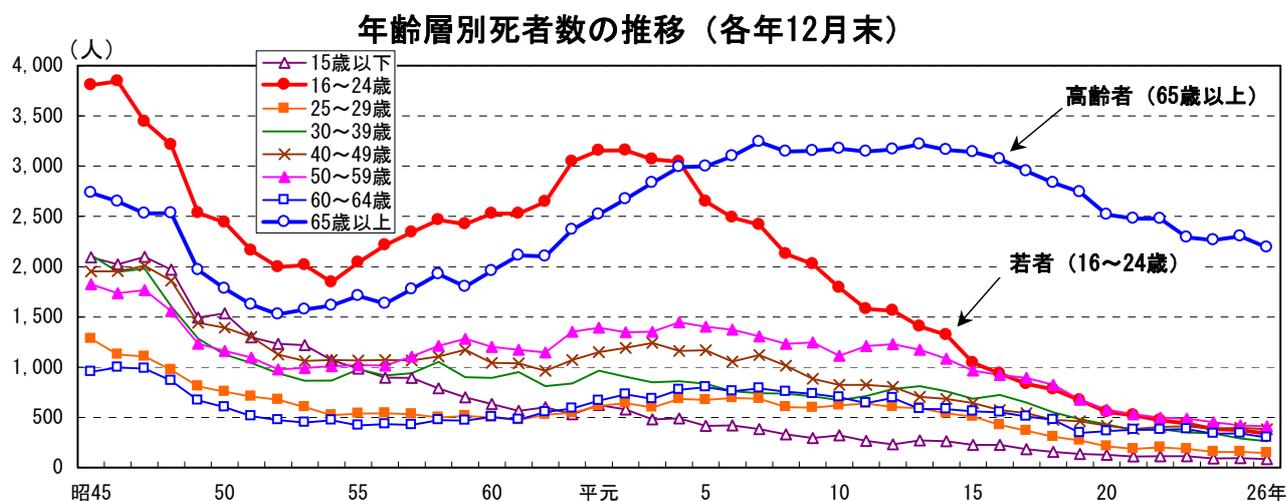
(1) 年齢層別死者の状況と特徴

◎ 高齢者が占める割合過去最高

死者数を年齢層別にみると、高齢者（65歳以上）（構成率53.3%）が最も多く、次いで50歳代（同10.0%）、40歳代（同9.3%）の順に多い。

高齢者の死者数は前年に比べ減少（前年比-110人、-4.8%）したものの、死者数のうち高齢者の死者数が占める割合は53.3%と過去最高となった。

高齢者の死者数は、高齢者人口の増加などに伴って、昭和50年代前半から増加傾向を示し、平成5年には若者（16～24歳）を上回り、年齢層別で最大の年齢層となった。その後、7年（3,241人）をピークに概ね横ばいで推移し、14年以降は、ほぼ毎年減少している。しかしながら、過去10年間の推移をみると、25～29歳（平成16年の0.34倍）、若者（同0.36倍）などと比較して、高齢者（同0.71倍）は減少率が少ないことから、全体に占める高齢者の割合は年々増加しており、他の年齢層と比べて厳しい情勢にある。



○ 年齢層別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年				
15歳以下	226	184	158	134	127	112	113	114	92	94	84	-10	-10.6	2.0	37
16～19歳	423	325	364	305	261	228	196	197	171	176	164	-12	-6.8	4.0	39
20～24歳	514	508	415	367	291	294	274	242	212	198	174	-24	-12.1	4.2	34
16～24歳	937	833	779	672	552	522	470	439	383	374	338	-36	-9.6	8.2	36
25～29歳	426	367	307	270	213	186	200	186	157	157	144	-13	-8.3	3.5	34
30～39歳	723	648	550	482	430	376	384	349	340	289	263	-26	-9.0	6.4	36
40～49歳	571	543	475	461	418	385	405	411	386	395	381	-14	-3.5	9.3	67
50～59歳	921	892	824	676	577	532	498	488	452	420	411	-9	-2.1	10.0	45
60～64歳	550	509	476	345	363	376	376	385	337	341	299	-42	-12.3	7.3	54
65～74歳	1,323	1,250	1,160	1,101	987	929	916	811	776	852	798	-54	-6.3	19.4	60
75歳以上	1,748	1,701	1,674	1,641	1,530	1,550	1,560	1,480	1,488	1,451	1,395	-56	-3.9	33.9	80
65歳以上	3,071	2,951	2,834	2,742	2,517	2,479	2,476	2,291	2,264	2,303	2,193	-110	-4.8	53.3	71
合計	7,425	6,927	6,403	5,782	5,197	4,968	4,922	4,663	4,411	4,373	4,113	-260	-5.9	100.0	55
高齢者構成率	41.4	42.6	44.3	47.4	48.4	49.9	50.3	49.1	51.3	52.7	53.3	—	—	—	129
(再掲)															
20～29歳	940	875	722	637	504	480	474	428	369	355	318	-37	-10.4	7.7	34
70歳以上	2,490	2,384	2,316	2,248	2,070	2,060	2,072	1,949	1,930	1,929	1,802	-127	-6.6	43.8	72

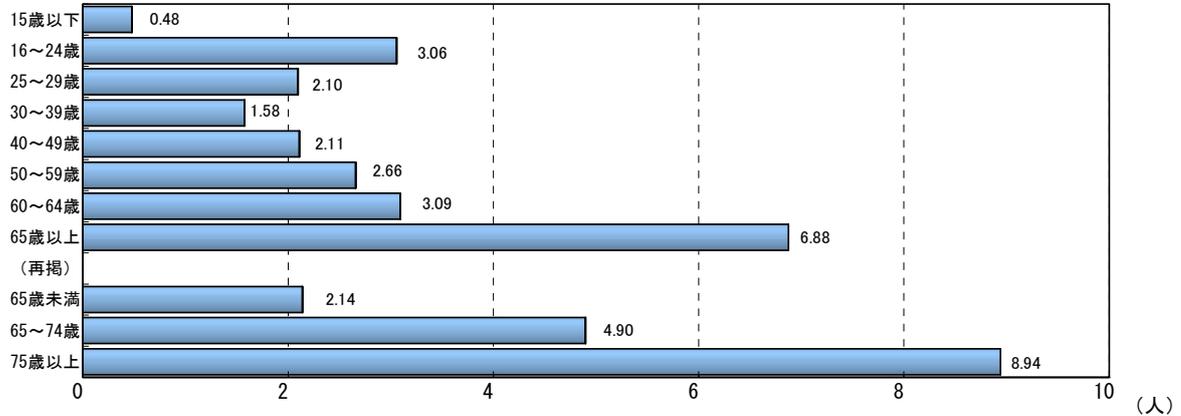
注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

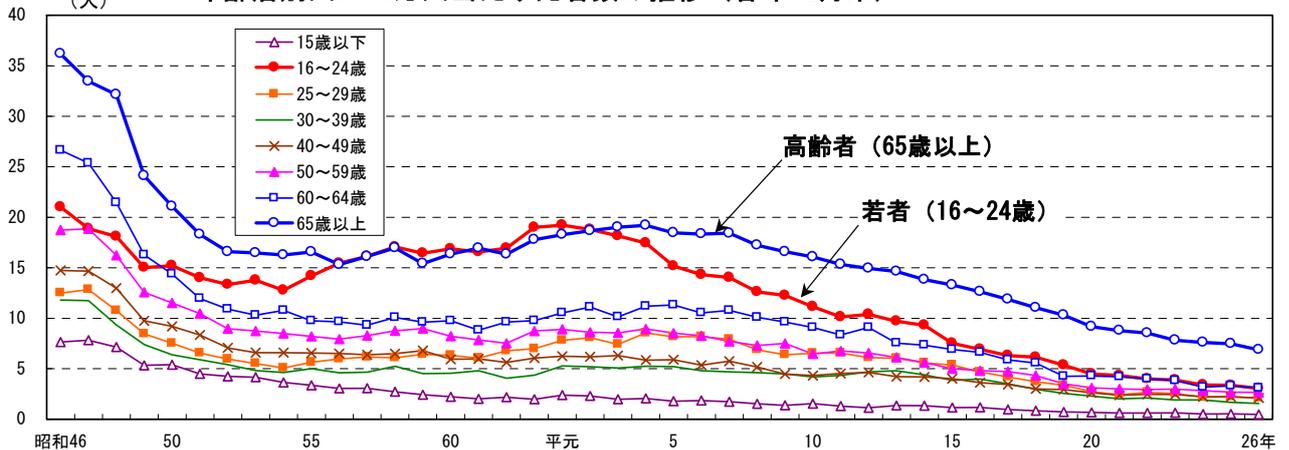
◎ 人口10万人当たり死者数は高齢者が最多

人口10万人当たり死者数を年齢層別にみると、高齢者（6.88人）が最も多く、次いで60～64歳（3.09人）、若者（3.06人）の順に多い。

30歳代は4年連続して10万人当たり死者数が2人以下となっている。



(人) 年齢層別人口10万人当たり死者数の推移 (各年12月末)



○ 年齢層別人口10万人当たり死者数の推移 (各年12月末)

年齢層別	年											人口 (25年推計人口)				
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	指数	(千人)	構成率
15歳以下	1.18	0.97	0.84	0.72	0.69	0.61	0.62	0.63	0.51	0.53	0.48	-0.05	-9.9	41	17,589	13.8
16～24歳	7.45	5.91	6.82	5.85	5.15	4.59	4.02	4.07	3.50	3.62	3.38	-0.24	-6.7	45	4,849	3.8
	6.54	6.58	5.65	5.02	4.02	4.14	3.96	3.77	3.33	3.16	2.80	-0.35	-11.2	43	6,205	4.9
16～24歳	6.92	6.30	6.14	5.37	4.49	4.33	3.99	3.89	3.40	3.36	3.06	-0.30	-9.0	44	11,054	8.7
25～29歳	4.68	4.19	3.71	3.37	2.73	2.44	2.67	2.55	2.17	2.23	2.10	-0.13	-5.9	45	6,869	5.4
30～39歳	3.98	3.51	2.97	2.55	2.29	2.02	2.10	1.93	1.91	1.68	1.58	-0.10	-5.9	40	16,683	13.1
40～49歳	3.62	3.44	3.01	2.94	2.62	2.38	2.47	2.45	2.23	2.23	2.11	-0.13	-5.7	58	18,073	14.2
50～59歳	4.80	4.71	4.33	3.51	3.12	3.01	2.95	2.99	2.83	2.69	2.66	-0.03	-1.1	55	15,465	12.1
60～64歳	6.62	5.88	5.57	4.24	4.28	4.20	3.99	3.84	3.17	3.33	3.09	-0.23	-7.1	47	9,666	7.6
65歳以上	9.61	9.05	8.24	7.63	6.69	6.19	5.99	5.34	5.16	5.46	4.90	-0.56	-10.3	51	16,295	12.8
	16.57	15.37	14.43	13.49	12.04	11.72	11.38	10.52	10.12	9.55	8.94	-0.61	-6.4	54	15,603	12.3
65歳以上	12.63	11.86	11.04	10.31	9.16	8.79	8.54	7.83	7.61	7.48	6.88	-0.60	-8.1	54	31,898	25.1
合計	5.82	5.42	5.01	4.53	4.07	3.89	3.86	3.64	3.45	3.43	3.23	-0.20	-5.8	56	127,298	100.0
(再掲)																
20～29歳	5.54	5.31	4.62	4.16	3.35	3.26	3.29	3.12	2.72	2.67	2.43	-0.23	-8.7	44	13,074	10.3
65歳未満	4.46	4.21	3.87	3.51	3.00	2.67	2.50	2.48	2.42	2.19	2.14	-0.05	-2.3	48	95,400	74.9
70歳以上	14.73	13.60	12.70	11.85	10.55	10.21	10.05	9.27	8.82	8.54	7.77	-0.77	-9.0	53	23,199	18.2

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

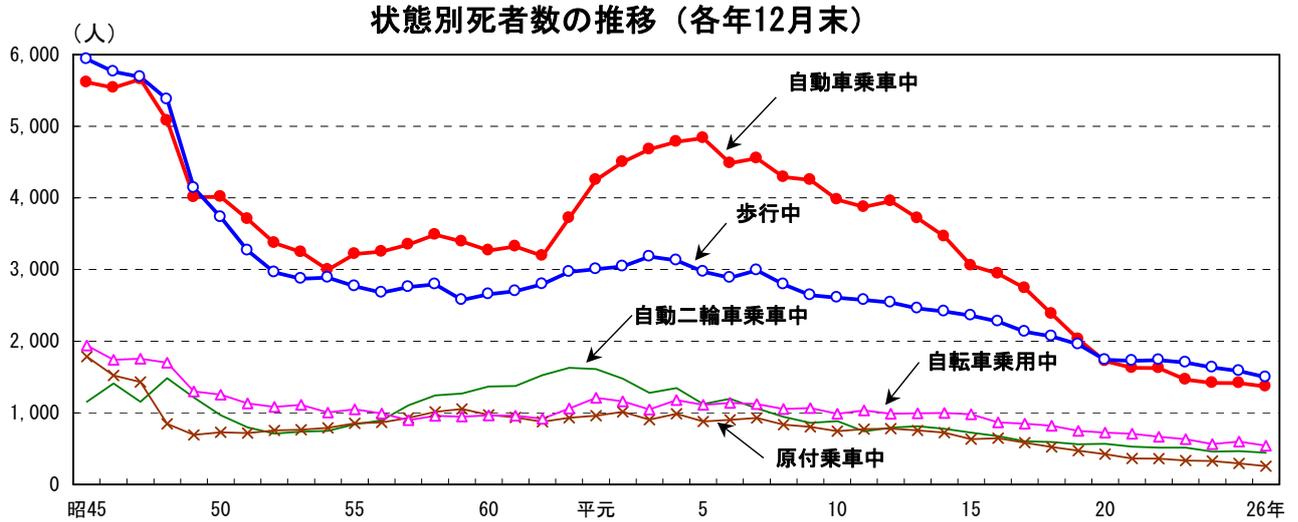
3 算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。

(2) 状態別死者の状況と特徴

◎ 歩行中死者が7年連続最多

死者数を状態別にみると、歩行中（構成率36.4%）が最も多く、次いで自動車乗車中（同33.3%）となっており、両者で全体の3分の2以上を占めている。

昭和50年以降は、自動車乗車中の死者数が状態別で最多であったが、自動車乗車中死者はシートベルト着用率の向上などにより、平成5年（4,835人）をピークに減少に転じ、その後は、ほぼ一貫して減少しており、歩行中死者数との差は年々縮小し、20年には歩行中死者が最多の状態となり、26年も継続している。



○ 状態別死者数の推移（各年12月末）

状態別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年				
自動車乗車中	2,945	2,741	2,382	2,030	1,724	1,627	1,625	1,465	1,417	1,415	1,370	-45	-3.2	33.3	47
自動二輪車乗車中	675	604	595	561	568	527	516	515	460	465	442	-23	-4.9	10.7	65
原付乗車中	648	583	526	474	423	363	362	336	328	295	255	-40	-13.6	6.2	39
二輪車乗車中	1,323	1,187	1,121	1,035	991	890	878	851	788	760	697	-63	-8.3	16.9	53
自転車乗車中	866	851	821	749	726	709	665	635	563	600	540	-60	-10.0	13.1	62
歩行中	2,273	2,133	2,067	1,956	1,739	1,726	1,736	1,702	1,634	1,584	1,498	-86	-5.4	36.4	66
その他	18	15	12	12	17	16	18	10	9	14	8	-6	-42.9	0.2	44
合計	7,425	6,927	6,403	5,782	5,197	4,968	4,922	4,663	4,411	4,373	4,113	-260	-5.9	100.0	55
構成率															
自動車乗車中	39.7	39.6	37.2	35.1	33.2	32.7	33.0	31.4	32.1	32.4	33.3	-	-	-	84
自転車乗車中	11.7	12.3	12.8	13.0	14.0	14.3	13.5	13.6	12.8	13.7	13.1	-	-	-	113
歩行中	30.6	30.8	32.3	33.8	33.5	34.7	35.3	36.5	37.0	36.2	36.4	-	-	-	119

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

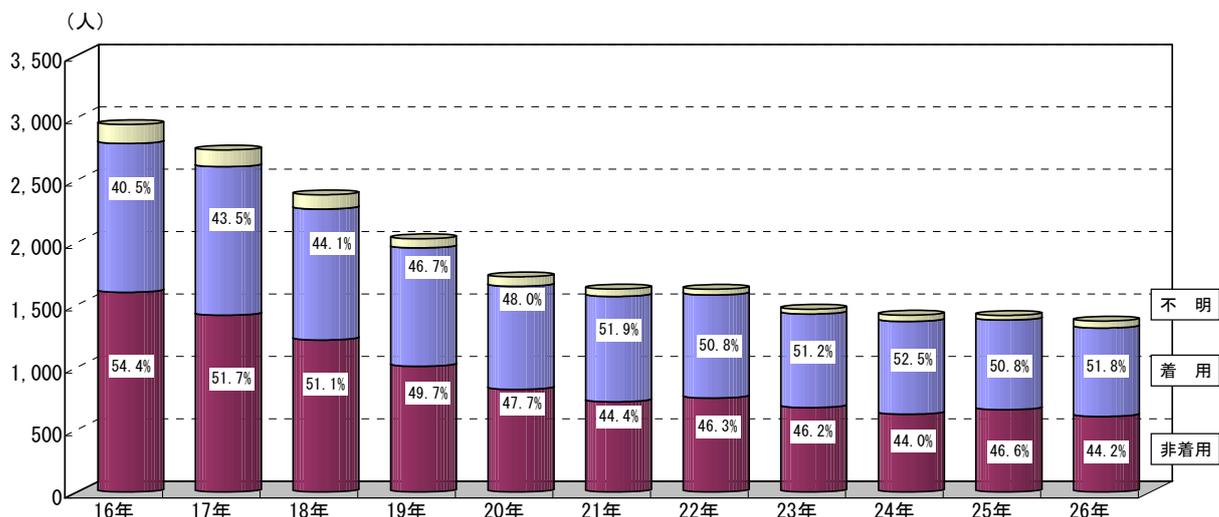
◎ シートベルト非着用死者が特に減少

自動車乗車中の死者数をシートベルト（チャイルドシートを含む。以下同じ。）着用有無別に前年と比べると、特に非着用死者が減少（前年比-54人、-8.2%）した。

シートベルト着用有無別の致死率（死傷者に占める死者の割合）をみると、平成26年の着用者の致死率は非着用者の14分の1以下であり、このことからシートベルトの着用が交通事故の被害軽減に寄与していることが認められる。

非着用死者の構成率を座席位置別にみると、後部座席は69.5%と他の座席に比べ高くなっている。

シートベルト着用有無別死者数の推移（各年12月末）



○ シートベルト着用有無別死者数の推移（各年12月末）

有無別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
シートベルト着用		1,192	1,191	1,050	948	827	845	826	750	744	719	709	-10	-1.4	51.8	59
シートベルト非着用		1,601	1,416	1,218	1,008	822	723	753	677	623	659	605	-54	-8.2	44.2	38
不明		152	134	114	74	75	59	46	38	50	37	56	19	51.4	4.1	37
合計		2,945	2,741	2,382	2,030	1,724	1,627	1,625	1,465	1,417	1,415	1,370	-45	-3.2	100.0	47
非着用死者の構成率		54.4	51.7	51.1	49.7	47.7	44.4	46.3	46.2	44.0	46.6	44.2	-	-	-	81
シートベルト着用者率		88.3	88.8	89.1	89.1	91.3	93.3	93.4	93.6	93.8	93.8	93.8	-	-	-	106
運転席		96.1	96.6	97.0	97.3	97.5	97.9	98.0	98.1	98.2	98.3	98.3	-	-	-	102
助手席		91.2	92.3	92.9	93.5	94.8	95.8	96.1	96.3	96.7	96.9	97.1	-	-	-	106
後部座席		30.6	30.5	30.6	30.0	46.2	59.7	59.6	60.2	60.8	60.3	60.1	-	-	-	196

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

3 シートベルト着用の有無は、事故当事者からの聞き取り等により調査したものである。

4 シートベルト着用者率＝シートベルト着用死傷者数（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

○ シートベルト着用有無別致死率の推移（各年12月末）

有無別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
シートベルト着用		0.18	0.18	0.17	0.17	0.16	0.16	0.16	0.15	0.15	0.15	0.16
シートベルト非着用		2.02	1.91	1.77	1.54	1.76	2.09	2.20	2.15	2.06	2.27	2.30
不明		2.05	1.91	1.72	1.52	1.95	1.74	1.54	1.26	1.68	1.43	2.10
合計		0.40	0.38	0.34	0.32	0.30	0.29	0.29	0.27	0.27	0.28	0.29
非着用／着用		11.1	10.3	10.4	9.3	11.3	13.0	14.0	14.5	13.8	15.2	14.3

注 致死率＝死者数（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

○ シートベルト着用有無別・座席位置別死者数（平成26年中）

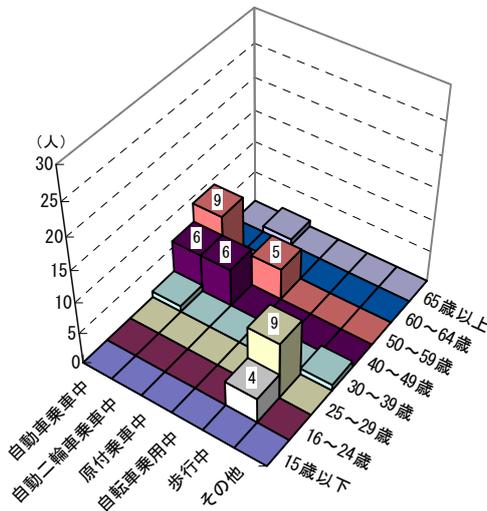
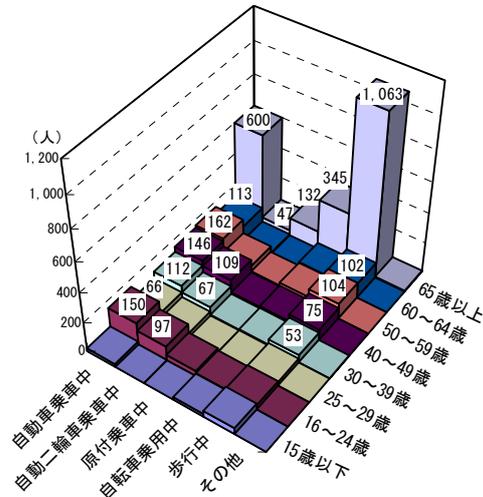
有無別	座席位置別	運転席		助手席		後部座席		その他	合計	
		増減数		増減数		増減数				
シートベルト着用		544	-20	129	18	36	-7	0	709	-10
シートベルト非着用		437	-41	52	-8	107	-12	9	605	-54
不明		43	10	2	0	11	9	0	56	19
合計		1,024	-51	183	10	154	-10	9	1,370	-45
非着用死者の構成率		42.7	-1.8P	28.4	-6.3P	69.5	-3.1P	100.0	44.2	-2.4P

注1 増減数は、平成25年と比較した値である。

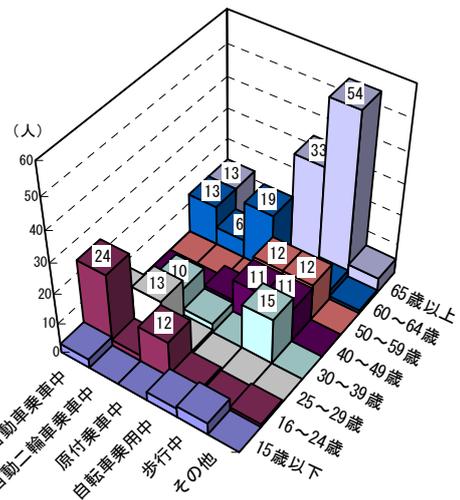
2 「その他」とは、バスの後部座席にいる場合、バスの車内に立っている場合等をいう。

(3) 年齢層別・状態別死者の状況と特徴 ア 全般

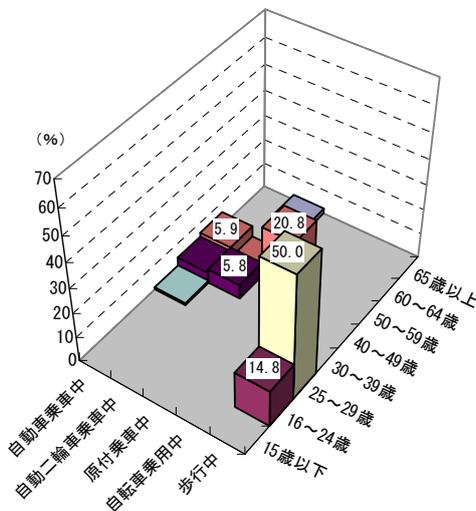
死者数を状態別に各年齢層で見ると、自動二輪車乗車中以外の全ての状態で高齢者が最多となっている。



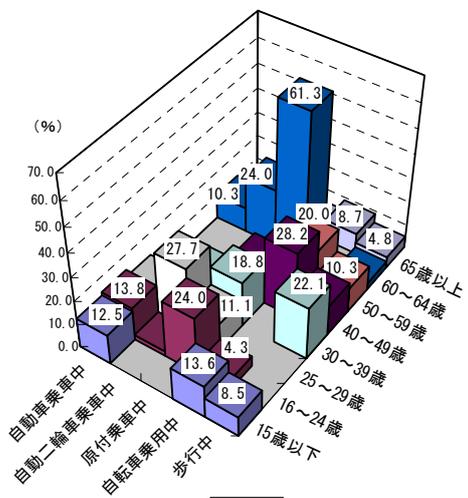
増加数



減少数



増加率



減少率

注 状態別の「その他」を除いたグラフである。

注 状態別の「その他」を除いたグラフである。

○ 年齢層別・状態別死者数（平成26年中）

年齢層別	状態別	自動車乗車中			二輪車乗車中					自転車乗用中	歩行中	その他	合計	構成率
		運転中	同乗中	計	自動二輪			原付	計					
					運転中	同乗中	小計							
15歳以下 (13.8)	死者数	0	21	21	0	1	1	0	1	19	43	0	84	2.0
	増減数	-1	-2	-3	0	0	0	0	0	-3	-4	0	-10	
16～19歳 (3.8)	死者数	26	41	67	39	9	48	24	72	14	11	0	164	4.0
	増減数	-11	10	-1	-3	1	-2	-13	-15	0	4	0	-12	
20～24歳 (4.9)	死者数	61	22	83	48	1	49	14	63	8	20	0	174	4.2
	増減数	-16	-7	-23	1	-1	0	1	1	-1	0	-1	-24	
16～24歳 (8.7)	死者数	87	63	150	87	10	97	38	135	22	31	0	338	8.2
	増減数	-27	3	-24	-2	0	-2	-12	-14	-1	4	-1	-36	
25～29歳 (5.4)	死者数	55	11	66	34	0	34	8	42	9	27	0	144	3.5
	増減数	-10	2	-8	-13	0	-13	-1	-14	0	9	0	-13	
30～39歳 (13.1)	死者数	94	18	112	67	0	67	13	80	16	53	2	263	6.4
	増減数	-1	2	1	-7	-3	-10	-3	-13	0	-15	1	-26	
40～49歳 (14.2)	死者数	125	21	146	109	0	109	23	132	28	75	0	381	9.3
	増減数	-4	10	6	8	-2	6	-4	2	-11	-11	0	-14	
50～59歳 (12.1)	死者数	141	21	162	68	0	68	29	97	48	104	0	411	10.0
	増減数	8	1	9	1	0	1	5	6	-12	-12	0	-9	
60～64歳 (7.6)	死者数	94	19	113	19	0	19	12	31	53	102	0	299	7.3
	増減数	-13	0	-13	-5	-1	-6	-19	-25	0	-3	-1	-42	
65～74歳 (12.8)	死者数	196	52	248	26	0	26	63	89	130	329	2	798	19.4
	増減数	3	-1	2	0	0	0	3	3	-10	-49	0	-54	
75歳以上 (12.3)	死者数	232	120	352	21	0	21	69	90	215	734	4	1,395	33.9
	増減数	-6	-9	-15	1	0	1	-9	-8	-23	-5	-5	-56	
65歳以上 (25.1)	死者数	428	172	600	47	0	47	132	179	345	1,063	6	2,193	53.3
	増減数	-3	-10	-13	1	0	1	-6	-5	-33	-54	-5	-110	
(再掲)														
70～79歳 (10.9)	死者数	193	64	257	20	0	20	71	91	157	390	2	897	21.8
	増減数	-14	-14	-28	-2	0	-2	-3	-5	-37	-66	-3	-139	
80歳以上 (7.3)	死者数	132	84	216	12	0	12	31	43	122	521	3	905	22.0
	増減数	2	1	3	2	0	2	-9	-7	-4	22	-2	12	
70歳以上 (18.2)	死者数	325	148	473	32	0	32	102	134	279	911	5	1,802	43.8
	増減数	-12	-13	-25	0	0	0	-12	-12	-41	-44	-5	-127	

合計	死者数	1,024	346	1,370	431	11	442	255	697	540	1,498	8	4,113	100.0
	増減数	-51	6	-45	-17	-6	-23	-40	-63	-60	-86	-6	-260	
	増減率	-4.7	1.8	-3.2	-3.8	-35.3	-4.9	-13.6	-8.3	-10.0	-5.4	-42.9	-5.9	
	構成率	24.9	8.4	33.3	10.5	0.3	10.7	6.2	16.9	13.1	36.4	0.2	100.0	

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

注2 年齢層の下段の（ ）の数値は、年齢層別の人口構成率（総務省統計資料「平成25年10月1日現在推計人口」による。）である。

○ 年齢層別・状態別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別・状態別	年											増減数	増減率	構成率	指数	
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年					
15歳以下	自動車乗車中	72	51	35	35	34	29	35	31	28	24	21	-3	-12.5	25.0	29
	自動二輪車乗車中	4	0	4	2	1	1	2	1	1	1	1	0	0.0	1.2	25
	原付乗車中	11	11	9	6	6	5	3	3	2	0	0	0	—	0.0	0
	自転車乗用中	59	47	45	33	30	36	25	27	18	22	19	-3	-13.6	22.6	32
	歩行中	79	75	64	58	55	41	48	52	43	47	43	-4	-8.5	51.2	54
	その他	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	—	0.0	0
小計	226	184	158	134	127	112	113	114	92	94	84	-10	-10.6	100.0	37	
16―24歳	自動車乗車中	505	474	379	321	223	224	211	182	153	174	150	-24	-13.8	44.4	30
	自動二輪車乗車中	214	188	202	189	182	163	136	129	123	99	97	-2	-2.0	28.7	45
	原付乗車中	141	92	89	82	87	76	56	51	40	50	38	-12	-24.0	11.2	27
	自転車乗用中	33	40	61	43	33	29	42	40	29	23	22	-1	-4.3	6.5	67
	歩行中	43	39	47	37	26	30	21	37	38	27	31	4	14.8	9.2	72
	その他	1	0	1	0	1	0	4	0	0	1	0	-1	-100.0	0.0	0
小計	937	833	779	672	552	522	470	439	383	374	338	-36	-9.6	100.0	36	
25―29歳	自動車乗車中	256	212	177	145	101	92	95	84	74	74	66	-8	-10.8	45.8	26
	自動二輪車乗車中	98	89	69	61	64	53	50	53	44	47	34	-13	-27.7	23.6	35
	原付乗車中	17	29	18	18	10	7	12	14	14	9	8	-1	-11.1	5.6	47
	自転車乗用中	24	10	11	12	16	11	15	5	10	9	9	0	0.0	6.3	38
	歩行中	30	27	32	33	22	22	26	30	15	18	27	9	50.0	18.8	90
	その他	1	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	—	0.0	0
小計	426	367	307	270	213	186	200	186	157	157	144	-13	-8.3	100.0	34	
30―39歳	自動車乗車中	385	357	301	224	192	155	166	136	147	111	112	1	0.9	42.6	29
	自動二輪車乗車中	194	144	127	130	125	116	113	91	80	77	67	-10	-13.0	25.5	35
	原付乗車中	41	37	30	26	29	21	20	26	21	16	13	-3	-18.8	4.9	32
	自転車乗用中	15	29	33	20	23	26	28	23	18	16	16	0	0.0	6.1	107
	歩行中	86	80	59	79	61	58	56	73	74	68	53	-15	-22.1	20.2	62
	その他	2	1	0	3	0	0	1	0	0	1	2	1	100.0	0.8	100
小計	723	648	550	482	430	376	384	349	340	289	263	-26	-9.0	100.0	36	
40―49歳	自動車乗車中	326	289	226	224	176	157	171	140	139	140	146	6	4.3	38.3	45
	自動二輪車乗車中	59	68	80	75	89	94	100	117	107	103	109	6	5.8	28.6	185
	原付乗車中	33	31	31	37	25	21	27	28	25	27	23	-4	-14.8	6.0	70
	自転車乗用中	49	33	36	31	38	30	34	33	32	39	28	-11	-28.2	7.3	57
	歩行中	104	121	102	94	89	82	72	93	82	86	75	-11	-12.8	19.7	72
	その他	0	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	—	0.0	—
小計	571	543	475	461	418	385	405	411	386	395	381	-14	-3.5	100.0	67	
50―59歳	自動車乗車中	446	444	391	325	262	215	215	176	174	153	162	9	5.9	39.4	36
	自動二輪車乗車中	34	43	42	42	47	39	56	63	54	67	68	1	1.5	16.5	200
	原付乗車中	85	62	67	56	44	42	32	38	34	24	29	5	20.8	7.1	34
	自転車乗用中	104	106	91	70	60	74	44	61	48	60	48	-12	-20.0	11.7	46
	歩行中	249	232	231	182	162	161	149	150	142	116	104	-12	-10.3	25.3	42
	その他	3	5	2	1	2	1	2	0	0	0	0	0	—	0.0	0
小計	921	892	824	676	577	532	498	488	452	420	411	-9	-2.1	100.0	45	
60―64歳	自動車乗車中	233	202	190	136	145	150	135	142	111	126	113	-13	-10.3	37.8	48
	自動二輪車乗車中	11	13	16	5	15	16	14	19	20	25	19	-6	-24.0	6.4	173
	原付乗車中	56	45	40	36	24	32	37	20	30	31	12	-19	-61.3	4.0	21
	自転車乗用中	67	75	64	44	53	50	65	67	44	53	53	0	0.0	17.7	79
	歩行中	179	173	165	124	126	126	123	135	131	105	102	-3	-2.9	34.1	57
	その他	4	1	1	0	0	2	2	2	1	1	0	-1	-100.0	0.0	0
小計	550	509	476	345	363	376	376	385	337	341	299	-42	-12.3	100.0	54	
65歳以上	自動車乗車中	722	712	683	620	591	605	597	574	591	613	600	-13	-2.1	27.4	83
	自動二輪車乗車中	61	59	55	57	45	45	45	42	31	46	47	1	2.2	2.1	77
	原付乗車中	264	276	242	213	198	159	175	156	162	138	132	-6	-4.3	6.0	50
	自転車乗用中	515	511	480	496	473	453	412	379	364	378	345	-33	-8.7	15.7	67
	歩行中	1,503	1,386	1,367	1,349	1,198	1,206	1,241	1,132	1,109	1,117	1,063	-54	-4.8	48.5	71
	その他	6	7	7	7	12	11	6	8	7	11	6	-5	-45.5	0.3	100
小計	3,071	2,951	2,834	2,742	2,517	2,479	2,476	2,291	2,264	2,303	2,193	-110	-4.8	100.0	71	
合計	自動車乗車中	2,945	2,741	2,382	2,030	1,724	1,627	1,625	1,465	1,417	1,415	1,370	-45	-3.2	33.3	47
	自動二輪車乗車中	675	604	595	561	568	527	516	515	460	465	442	-23	-4.9	10.7	65
	原付乗車中	648	583	526	474	423	363	362	336	328	295	255	-40	-13.6	6.2	39
	自転車乗用中	866	851	821	749	726	709	665	635	563	600	540	-60	-10.0	13.1	62
	歩行中	2,273	2,133	2,067	1,956	1,739	1,726	1,736	1,702	1,634	1,584	1,498	-86	-5.4	36.4	66
	その他	18	15	12	12	17	16	18	10	9	14	8	-6	-42.9	0.2	44
計	7,425	6,927	6,403	5,782	5,197	4,968	4,922	4,663	4,411	4,373	4,113	-260	-5.9	100.0	55	

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

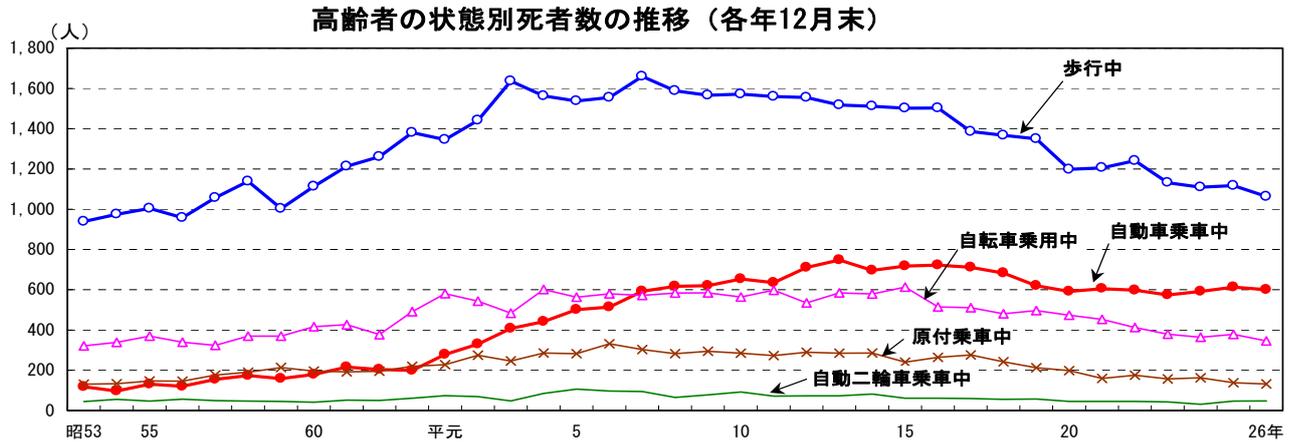
イ 高齢者

◎ 高齢者は歩行中の占める割合が約半数

高齢者の死者数を状態別にみると、歩行中が半数近く（構成率48.5%）を占め、次いで自動車乗車中（同27.4%）、自転車乗車中（同15.7%）の順に多い。

前年と比較すると、自動二輪車乗車中（前年比+1人、+2.2%）は増加したものの、その他の状態は減少しており、その中でも、歩行中（同-54人、-4.8%）が最も減少した。

高齢者の歩行中の死者数は、昭和50年代前半から増加傾向を示した後、平成7年（1,659人）をピークに漸減傾向にあり、平成16年の0.71倍となっている。



○ 高齢者の状態別死者数の推移（各年12月末）

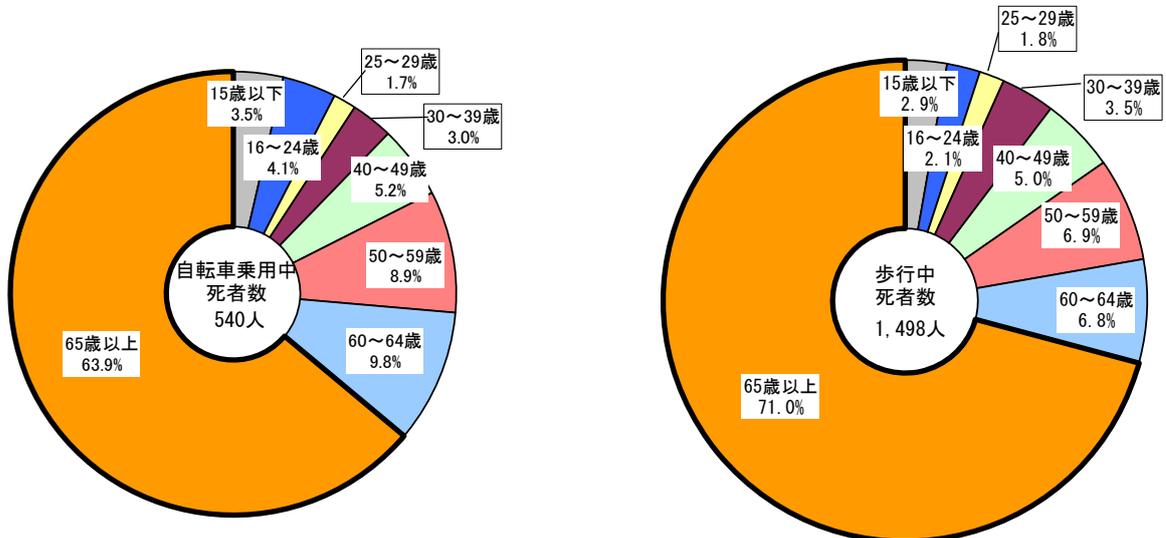
年齢層別・状態別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年				
65歳以上 自動車乗車中	722	712	683	620	591	605	597	574	591	613	600	-13	-2.1	27.4	83
65歳以上 自動二輪車乗車中	61	59	55	57	45	45	45	42	31	46	47	1	2.2	2.1	77
65歳以上 原付乗車中	264	276	242	213	198	159	175	156	162	138	132	-6	-4.3	6.0	50
65歳以上 自転車乗車中	515	511	480	496	473	453	412	379	364	378	345	-33	-8.7	15.7	67
65歳以上 歩行中	1,503	1,386	1,367	1,349	1,198	1,206	1,241	1,132	1,109	1,117	1,063	-54	-4.8	48.5	71
65歳以上 その他	6	7	7	7	12	11	6	8	7	11	6	-5	-45.5	0.3	100
計	3,071	2,951	2,834	2,742	2,517	2,479	2,476	2,291	2,264	2,303	2,193	-110	-4.8	100.0	71

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。
 2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

◎ 自転車乗車中及び歩行中死者に占める高齢者の割合が高い

自転車乗車中及び歩行中の死者の構成率を年齢層別にみると、高齢者はいずれも高い割合（自転車乗車中：63.9%、歩行中：71.0%）を占めている。

自転車乗車中及び歩行中の年齢層別死者数（構成率）（平成26年中）



◎ 自転車乗用中及び歩行中は免許なしの割合が高い

高齢者の自転車乗用中、歩行中における死者数を男女別にみると、自転車乗用中では男性（構成率61.7%）の割合が高く、歩行中では女性（同58.0%）の割合が高い。また、高齢者の自転車乗用中、歩行中における死者数を免許有無別にみると、免許なしが自転車乗用中（構成率81.4%）、歩行中（同76.4%）ともに高い割合を占めている。

○ 高齢者の自転車乗用中・歩行中における男女別死者数(平成26年中)

	自転車乗用中					歩行中				
	男性		女性		計	男性		女性		計
	構成率	構成率	構成率	構成率						
65～74歳	75	57.7%	55	42.3%	130	166	50.5%	163	49.5%	329
75歳以上	138	64.2%	77	35.8%	215	280	38.1%	454	61.9%	734
65歳以上	213	61.7%	132	38.3%	345	446	42.0%	617	58.0%	1,063

○ 高齢者の自転車乗用中・歩行中における免許有無別死者数(平成26年中)

	自転車乗用中					歩行中				
	免許あり		免許なし		計	免許あり		免許なし		計
	構成率	構成率	構成率	構成率						
65～74歳	36	27.7%	94	72.3%	130	140	42.6%	189	57.4%	329
75歳以上	28	13.0%	187	87.0%	215	111	15.1%	623	84.9%	734
65歳以上	64	18.6%	281	81.4%	345	251	23.6%	812	76.4%	1,063

自転車乗用中（第1・2当事者）の死者数を法令違反別にみると、高齢者は、本人側にも違反のある割合が約8割（構成率79.9%）を占め、高齢者以外の者（同74.3%）と比べて高くなっている。

また、歩行中（第1・2当事者）の死者数を法令違反別にみると、高齢者は、高齢者以外の者と比べて、走行車両の直前・直後横断（構成率16.1%）、横断歩道外横断（同13.2%）、等の道路横断時の違反の割合が高くなっている。

○ 自転車乗用中及び歩行中（第1・2当事者）の法令違反別死者数（平成26年中）

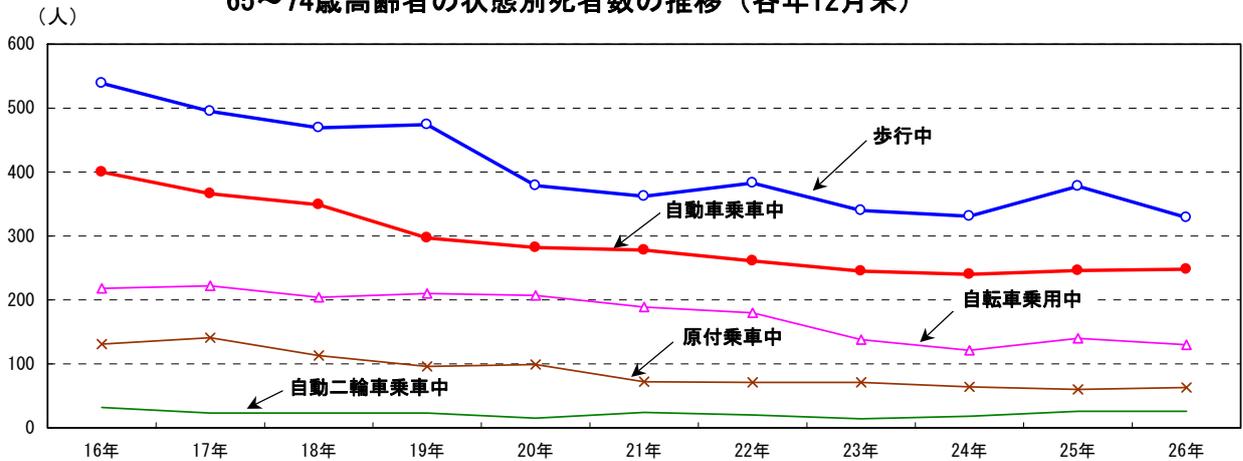
区分	高齢者		高齢者以外	
	構成率	構成率	構成率	構成率
法令違反別				
信号無視	22	6.4	10	5.2
通行区分	7	2.0	5	2.6
横断・転回等	11	3.2	4	2.1
優先通行妨害	10	2.9	4	2.1
交差点安全進行	31	9.0	22	11.5
一時不停止	39	11.3	9	4.7
自転車通行方法	3	0.9	3	1.6
安全				
ハンドル操作	33	9.6	18	9.4
ブレーキ操作	2	0.6	4	2.1
運				
前方不注意	10	2.9	8	4.2
転				
動静不注意	5	1.5	3	1.6
義務				
安全不確認	78	22.7	25	13.1
安全速度	0	0.0	1	0.5
その他	2	0.6	8	4.2
その他の違反	9	2.6	14	7.3
違反不明	13	3.8	4	2.1
違反なし	69	20.1	49	25.7
合計	344	100.0	191	100.0
(再掲)				
違反あり	275	79.9	142	74.3

区分	高齢者		高齢者以外	
	構成率	構成率	構成率	構成率
法令違反別				
信号無視	65	6.2	37	9.0
通行区分	51	4.9	27	6.6
横断				
横断歩道外	138	13.2	27	6.6
斜め横断	32	3.1	9	2.2
違反				
駐車車両の直前後	13	1.2	2	0.5
走行車両の直前後	169	16.1	31	7.5
横断禁止場所	23	2.2	10	2.4
小計	375	35.8	79	19.2
幼児ひとり歩き	0	0.0	5	1.2
踏切不注意	8	0.8	7	1.7
酩酊等	71	6.8	85	20.7
路上遊戯	0	0.0	2	0.5
路上作業	7	0.7	4	1.0
飛び出し	13	1.2	17	4.1
その他の違反	16	1.5	17	4.1
違反不明	37	3.5	10	2.4
違反なし	405	38.6	121	29.4
合計	1,048	100.0	411	100.0
(再掲)				
違反あり	643	61.4	290	70.6

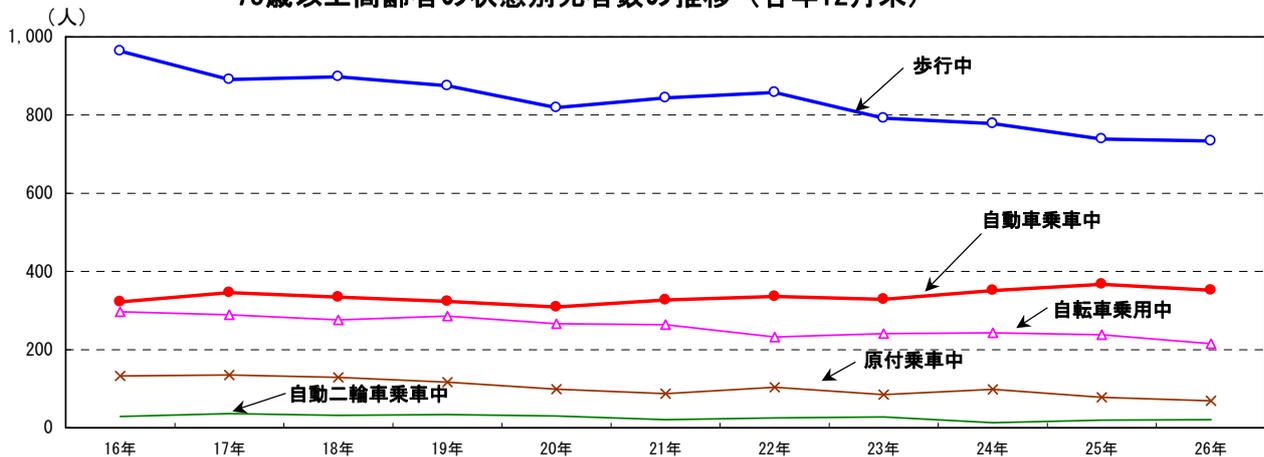
◎ 65～74歳高齢者の歩行中が特に減少

高齢者を65～74歳及び75歳以上の年齢層ごとに状態別で見ると、いずれの年齢層も歩行中が最も多い。
前年と比較すると、65～74歳高齢者は歩行中（前年比－49人、－13.0%）が特に減少し、75歳以上高齢者では、自転車乗用中（同－23人、－9.7%）が特に減少している。

65～74歳高齢者の状態別死者数の推移（各年12月末）



75歳以上高齢者の状態別死者数の推移（各年12月末）



○ 高齢者の年齢層別状態別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別・状態別	年											増減数	増減率	構成率	指数	
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年					
65歳	自動車乗車中	400	366	349	297	282	278	261	245	240	246	248	2	0.8	31.1	62
	自動二輪車乗車中	32	23	23	23	15	24	20	14	18	26	26	0	0.0	3.3	81
	原付乗車中	131	141	113	96	99	72	71	71	64	60	63	3	5.0	7.9	48
	自転車乗用中	218	222	204	210	207	189	180	138	121	140	130	-10	-7.1	16.3	60
	歩行中	539	495	469	474	379	362	383	340	331	378	329	-49	-13.0	41.2	61
その他	3	3	2	1	5	4	1	3	2	2	2	0	0.0	0.3	67	
計	1,323	1,250	1,160	1,101	987	929	916	811	776	852	798	-54	-6.3	100.0	60	
75歳以上	自動車乗車中	322	346	334	323	309	327	336	329	351	367	352	-15	-4.1	25.2	109
	自動二輪車乗車中	29	36	32	34	30	21	25	28	13	20	21	1	5.0	1.5	72
	原付乗車中	133	135	129	117	99	87	104	85	98	78	69	-9	-11.5	4.9	52
	自転車乗用中	297	289	276	286	266	264	232	241	243	238	215	-23	-9.7	15.4	72
	歩行中	964	891	898	875	819	844	858	792	778	739	734	-5	-0.7	52.6	76
その他	3	4	5	6	7	7	5	5	5	9	4	-5	-55.6	0.3	133	
計	1,748	1,701	1,674	1,641	1,530	1,550	1,560	1,480	1,488	1,451	1,395	-56	-3.9	100.0	80	

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

注2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

ウ 自動車乗車中

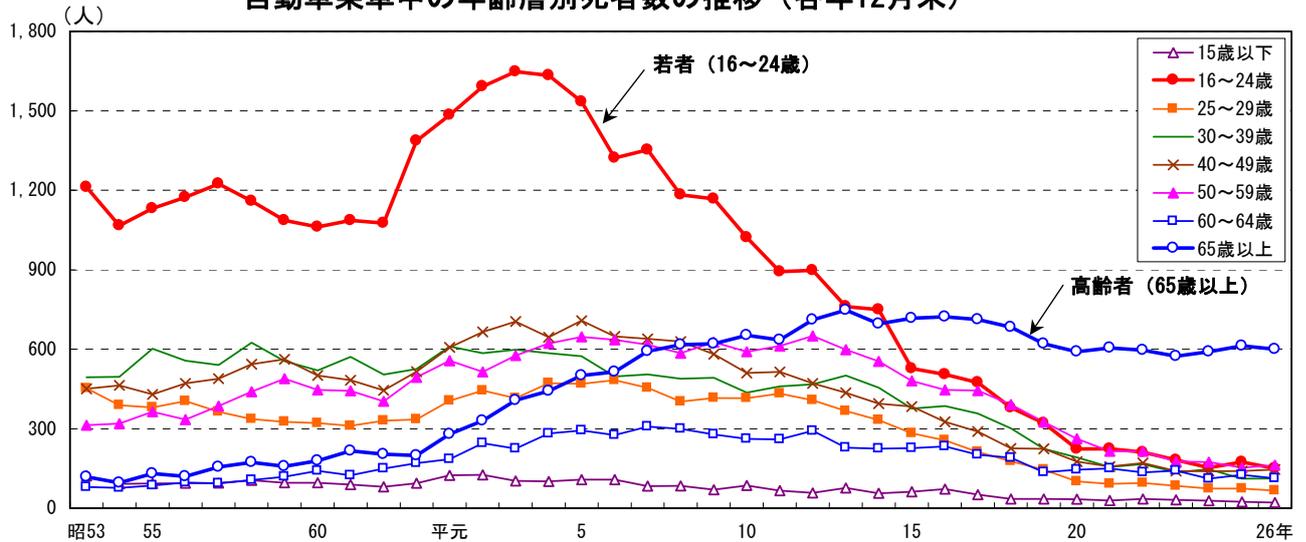
◎ 高齢者が4割以上を占める

自動車乗車中の死者数を年齢層別にみると、高齢者が4割以上（構成率43.8%）を占め最も多く、次いで50歳代（同11.8%）、若者（同10.9%）、40歳代（同10.7%）の順に多い。

前年と比較すると、若者（前年比-24人、-13.8%）が特に減少している。

高齢者の死者数は、運転免許保有者数の増加に伴って昭和50年代前半から増加傾向を示し、平成13年（748人）をピークに近年はほぼ横ばいで推移しているが、他の年齢層の減少率が大きいことから、15年以降は自動車乗車中死者の最多の年齢層となっている。

自動車乗車中の年齢層別死者数の推移（各年12月末）



○ 自動車乗車中の年齢層別死者数の推移（各年12月末）

年齢層別	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
15歳以下	72	51	35	35	34	29	35	31	28	24	21	-3	-12.5	1.5	29
16～19歳	191	161	139	116	86	89	75	63	63	68	67	-1	-1.5	4.9	35
20～24歳	314	313	240	205	137	135	136	119	90	106	83	-23	-21.7	6.1	26
16～24歳	505	474	379	321	223	224	211	182	153	174	150	-24	-13.8	10.9	30
25～29歳	256	212	177	145	101	92	95	84	74	74	66	-8	-10.8	4.8	26
30～39歳	385	357	301	224	192	155	166	136	147	111	112	1	0.9	8.2	29
40～49歳	326	289	226	224	176	157	171	140	139	140	146	6	4.3	10.7	45
50～59歳	446	444	391	325	262	215	215	176	174	153	162	9	5.9	11.8	36
60～64歳	233	202	190	136	145	150	135	142	111	126	113	-13	-10.3	8.2	48
65～74歳	400	366	349	297	282	278	261	245	240	246	248	2	0.8	18.1	62
75歳以上	322	346	334	323	309	327	336	329	351	367	352	-15	-4.1	25.7	109
65歳以上	722	712	683	620	591	605	597	574	591	613	600	-13	-2.1	43.8	83
合計	2,945	2,741	2,382	2,030	1,724	1,627	1,625	1,465	1,417	1,415	1,370	-45	-3.2	100.0	47
若者構成率	17.1	17.3	15.9	15.8	12.9	13.8	13.0	12.4	10.8	12.3	10.9	-	-	-	64
高齢者構成率	24.5	26.0	28.7	30.5	34.3	37.2	36.7	39.2	41.7	43.3	43.8	-	-	-	179
(再掲)															
20～29歳	570	525	417	350	238	227	231	203	164	180	149	-31	-17.2	10.9	26
70歳以上	524	530	507	480	459	477	466	454	466	498	473	-25	-5.0	34.5	90

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

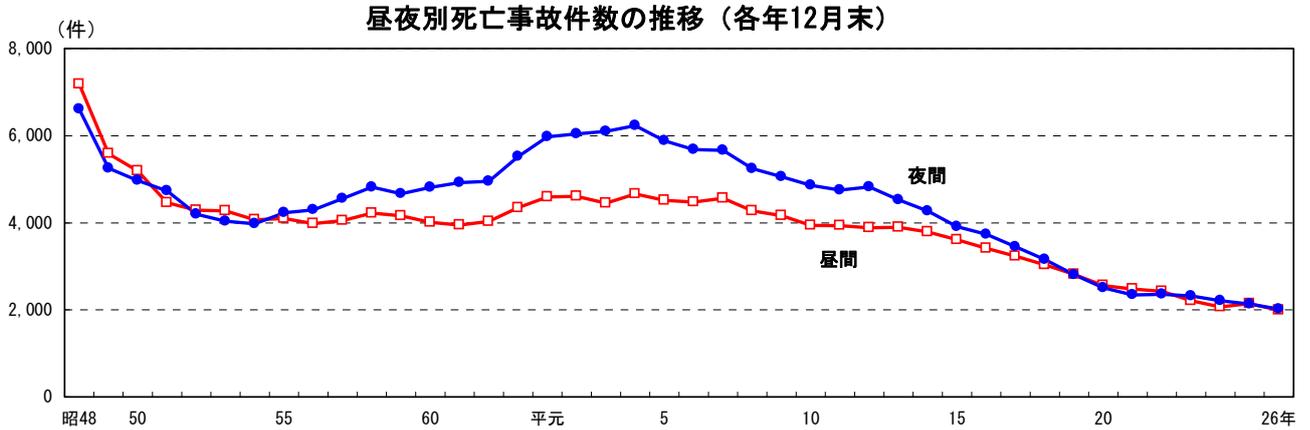
(4) 昼夜別死者の状況と特徴

◎ 昼夜間で死者数が減少

死者数を昼夜別にみると、それぞれが約半数（昼の構成率49.9%、夜の構成率50.1%）を占めている。

死者数を前年と比較すると、昼夜間のいずれも減少し、特に夜間死者数は4年連続で減少した。

また、死亡事故について昼夜別・主な態様別に10年間の推移を比較すると、特に車両単独（昼：平成16年の0.81倍、夜：同0.48倍）及び飲酒運転（昼：同0.41倍、夜：同0.30倍）は、夜間の減少が昼間に比べて大きく、これらの減少が夜間の死亡事故の減少の一因と考えられる。



○ 昼夜別死亡事故発生状況の推移（各年12月末）

昼夜別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
件数	昼	3,414	3,232	3,040	2,819	2,560	2,480	2,424	2,210	2,069	2,144	1,994	-150	-7.0	49.7	58
	夜	3,734	3,449	3,156	2,806	2,507	2,346	2,359	2,322	2,211	2,134	2,019	-115	-5.4	50.3	54
	合計	7,148	6,681	6,196	5,625	5,067	4,826	4,783	4,532	4,280	4,278	4,013	-265	-6.2	100.0	56
	夜の構成率	52.2	51.6	50.9	49.9	49.5	48.6	49.3	51.2	51.7	49.9	50.3	-	-	-	96
死者数	昼	3,547	3,324	3,129	2,893	2,624	2,572	2,489	2,278	2,147	2,191	2,051	-140	-6.4	49.9	58
	夜	3,878	3,603	3,274	2,889	2,573	2,396	2,433	2,385	2,264	2,182	2,062	-120	-5.5	50.1	53
	合計	7,425	6,927	6,403	5,782	5,197	4,968	4,922	4,663	4,411	4,373	4,113	-260	-5.9	100.0	55
	夜の構成率	52.2	52.0	51.1	50.0	49.5	48.2	49.4	51.1	51.3	49.9	50.1	-	-	-	96

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

○ 昼夜別・主な態様別死亡事故件数の推移（各年12月末）

昼夜別・態様別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数	
昼	最高速度違反	227	205	164	143	125	121	108	84	84	84	78	-6	-7.1	3.9	34	
	構成率	6.6	6.3	5.4	5.1	4.9	4.9	4.5	3.8	4.1	3.9	3.9	-	-	-	59	
	車両単独	688	645	647	593	528	567	564	481	487	565	559	-6	-1.1	28.0	81	
	構成率	20.2	20.0	21.3	21.0	20.6	22.9	23.3	21.8	23.5	26.4	28.0	-	-	-	139	
	飲酒運転	122	131	137	102	76	70	83	64	63	61	50	-11	-18.0	2.5	41	
	構成率	3.6	4.1	4.5	3.6	3.0	2.8	3.4	2.9	3.0	2.8	2.5	-	-	-	70	
	人対車両	669	644	626	607	491	510	513	491	458	447	443	-4	-0.9	22.2	66	
	構成率	19.6	19.9	20.6	21.5	19.2	20.6	21.2	22.2	22.1	20.8	22.2	-	-	-	113	
	夜	最高速度違反	484	453	356	306	231	208	185	144	128	132	134	2	1.5	6.6	28
	構成率	13.0	13.1	11.3	10.9	9.2	8.9	7.8	6.2	5.8	6.2	6.6	-	-	-	51	
車両単独	833	824	686	588	477	453	454	427	391	455	402	-53	-11.6	19.9	48		
構成率	22.3	23.9	21.7	21.0	19.0	19.3	19.2	18.4	17.7	21.3	19.9	-	-	-	89		
飲酒運転	590	578	474	331	229	222	207	206	193	177	177	0	0.0	8.8	30		
構成率	15.8	16.8	15.0	11.8	9.1	9.5	8.8	8.9	8.7	8.3	8.8	-	-	-	55		
人対車両	1,534	1,391	1,377	1,290	1,215	1,158	1,171	1,146	1,109	1,048	1,001	-47	-4.5	49.6	65		
構成率	41.1	40.3	43.6	46.0	48.5	49.4	49.6	49.4	50.2	49.1	49.6	-	-	-	121		

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

3 「最高速度違反」及び「飲酒運転」は、原付以上運転者が第1当事者の死亡事故件数である。

◎ 歩行中死者は夜間が昼間の2倍以上

死者数を昼夜別・状態別にみると、歩行中は、昼間に比べて夜間の構成率が2倍以上（昼間：23.2%、夜間：49.6%）高くなっているのに対して、その他の状態は昼間の構成率が高くなっている。

前年と比較すると、夜間の歩行中（前年比-66人、-6.1%）の減少幅が最も大きい。

○ 昼夜別・状態別死者数の推移（各年12月末）

年 昼夜別・状態別	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
	昼														
自動車乗車中	1,516	1,387	1,269	1,121	1,028	981	949	858	829	855	843	-12	-1.4	41.1	56
自動二輪車乗車中	379	337	345	338	344	341	318	318	267	285	252	-33	-11.6	12.3	66
原付乗車中	412	380	349	336	276	241	242	209	216	189	152	-37	-19.6	7.4	37
自転車乗用中	520	524	499	460	459	454	432	365	340	360	322	-38	-10.6	15.7	62
歩行中	711	689	661	633	512	541	542	524	489	495	475	-20	-4.0	23.2	67
その他	9	7	6	5	5	14	6	4	6	7	7	0	0.0	0.3	78
計	3,547	3,324	3,129	2,893	2,624	2,572	2,489	2,278	2,147	2,191	2,051	-140	-6.4	100.0	58
夜															
自動車乗車中	1,429	1,354	1,113	909	696	646	676	607	588	560	527	-33	-5.9	25.6	37
自動二輪車乗車中	296	267	250	223	224	186	198	197	193	180	190	10	5.6	9.2	64
原付乗車中	236	203	177	138	147	122	120	127	112	106	103	-3	-2.8	5.0	44
自転車乗用中	346	327	322	289	267	255	233	270	223	240	218	-22	-9.2	10.6	63
歩行中	1,562	1,444	1,406	1,323	1,227	1,185	1,194	1,178	1,145	1,089	1,023	-66	-6.1	49.6	65
その他	9	8	6	7	12	2	12	6	3	7	1	-6	-85.7	0.0	11
計	3,878	3,603	3,274	2,889	2,573	2,396	2,433	2,385	2,264	2,182	2,062	-120	-5.5	100.0	53

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

◎ 昼間の死者は約6割が高齢者

死者数を昼夜別・年齢層別にみると、昼夜間いずれも高齢者が最も多く（昼：構成率59.4%、夜：同47.2%）を占め、昼間は死者の約6割が高齢者となっている。また、高齢者及び15歳以下は、夜間に比べて昼間の構成率が高いのに対して、その他の年齢層では夜間の構成率が高くなっている。

○ 昼夜別・年齢層別死者数の推移（各年12月末）

年 昼夜別・年齢層別	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
	昼														
15歳以下	149	131	108	101	93	79	75	81	63	71	63	-8	-11.3	3.1	42
16~19歳	134	105	138	109	94	90	75	62	65	57	50	-7	-12.3	2.4	37
20~24歳	175	184	152	139	125	128	101	96	77	60	56	-4	-6.7	2.7	32
25~29歳	309	289	290	248	219	218	176	158	142	117	106	-11	-9.4	5.2	34
30~39歳	157	121	131	93	99	72	72	68	54	73	51	-22	-30.1	2.5	32
40~49歳	291	246	204	218	172	162	173	139	127	109	108	-1	-0.9	5.3	37
50~59歳	220	192	171	206	182	169	174	178	169	171	168	-3	-1.8	8.2	76
60~64歳	379	379	349	302	262	245	240	196	168	183	200	17	9.3	9.8	53
65~74歳	272	232	225	144	181	187	185	185	151	171	136	-35	-20.5	6.6	50
75歳以上	744	687	651	591	523	525	488	408	403	449	406	-43	-9.6	19.8	55
65歳以上	1,026	1,047	1,000	990	893	915	906	865	870	847	813	-34	-4.0	39.6	79
計	1,770	1,734	1,651	1,581	1,416	1,440	1,394	1,273	1,273	1,296	1,219	-77	-5.9	59.4	69
計	3,547	3,324	3,129	2,893	2,624	2,572	2,489	2,278	2,147	2,191	2,051	-140	-6.4	100.0	58
夜															
15歳以下	77	53	50	33	34	33	38	33	29	23	21	-2	-8.7	1.0	27
16~19歳	289	220	226	196	167	138	121	135	106	119	114	-5	-4.2	5.5	39
20~24歳	339	324	263	228	166	166	173	146	135	138	118	-20	-14.5	5.7	35
25~29歳	628	544	489	424	333	304	294	281	241	257	232	-25	-9.7	11.3	37
30~39歳	269	246	176	177	114	114	128	118	103	84	93	9	10.7	4.5	35
40~49歳	432	402	346	264	258	214	211	210	213	180	155	-25	-13.9	7.5	36
50~59歳	351	351	304	255	236	216	231	233	217	224	213	-11	-4.9	10.3	61
60~64歳	542	513	475	374	315	287	258	292	284	237	211	-26	-11.0	10.2	39
65~74歳	278	277	251	201	182	189	191	200	186	170	163	-7	-4.1	7.9	59
75歳以上	579	563	509	510	464	404	428	403	373	403	392	-11	-2.7	19.0	68
65歳以上	722	654	674	651	637	635	654	615	618	604	582	-22	-3.6	28.2	81
計	1,301	1,217	1,183	1,161	1,101	1,039	1,082	1,018	991	1,007	974	-33	-3.3	47.2	75
計	3,878	3,603	3,274	2,889	2,573	2,396	2,433	2,385	2,264	2,182	2,062	-120	-5.5	100.0	53

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

◎ 夜間の高齢者の歩行中が最も減少

死者数を昼夜別・年齢層別・状態別にみると、高齢者は、昼間では自動車乗車中が約4割（構成率38.8%）を占めているのに対して、夜間では歩行中が7割（同70.3%）を占めている。

前年との比較では、夜間の高齢者の歩行中（前年比-58人、-7.8%）が最も減少している。

○ 昼夜別・年齢層別・状態別死者数の推移（各年12月末）

昼夜別・年齢層別・状態別		年											増減数	増減率	構成率	指数	
		16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年					
昼	15歳以下	自動車乗車中	45	30	19	24	27	22	19	20	14	14	14	0	0.0	22.2	31
		自動二輪車乗車中	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	—	0.0	0
		原付乗車中	1	2	3	4	2	2	1	0	0	0	0	0	—	0.0	0
		自転車乗用中	44	42	35	28	22	24	16	21	13	18	17	-1	-5.6	27.0	39
		歩行中	58	57	50	45	41	30	39	40	36	39	32	-7	-17.9	50.8	55
		その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	—	0.0	—
	計	149	131	108	101	93	79	75	81	63	71	63	-8	-11.3	100.0	42	
	16歳 24歳	自動車乗車中	161	147	118	101	79	74	64	62	54	57	49	-8	-14.0	46.2	30
		自動二輪車乗車中	74	84	99	82	83	87	57	56	55	33	26	-7	-21.2	24.5	35
		原付乗車中	55	39	37	38	37	40	29	19	13	14	12	-2	-14.3	11.3	22
		自転車乗用中	14	14	30	19	16	14	20	18	16	9	11	2	22.2	10.4	79
		歩行中	5	5	5	8	4	3	6	3	4	4	8	4	100.0	7.5	160
		その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0.0	—
	計	309	289	290	248	219	218	176	158	142	117	106	-11	-9.4	100.0	34	
	25歳 64歳	自動車乗車中	726	644	576	497	439	383	381	312	286	279	307	28	10.0	46.3	42
		自動二輪車乗車中	248	200	200	210	223	214	222	226	185	213	189	-24	-11.3	28.5	76
		原付乗車中	122	102	100	95	61	66	66	65	68	60	38	-22	-36.7	5.7	31
		自転車乗用中	101	106	88	75	87	91	101	76	52	77	70	-7	-9.1	10.6	69
歩行中		117	113	115	85	84	77	72	86	76	78	57	-21	-26.9	8.6	49	
その他		5	5	1	1	2	4	2	1	2	0	2	2	—	0.3	40	
計	1,319	1,170	1,080	963	896	835	844	766	669	707	663	-44	-6.2	100.0	50		
65歳以上	自動車乗車中	584	566	556	499	483	502	485	464	475	505	473	-32	-6.3	38.8	81	
	自動二輪車乗車中	56	53	45	46	38	39	39	36	27	39	37	-2	-5.1	3.0	66	
	原付乗車中	234	237	209	199	176	133	146	125	135	115	102	-13	-11.3	8.4	44	
	自転車乗用中	361	362	346	338	334	325	295	250	259	256	224	-32	-12.5	18.4	62	
	歩行中	531	514	491	495	383	431	425	395	373	374	378	4	1.1	31.0	71	
	その他	4	2	4	4	2	10	4	3	4	7	5	-2	-28.6	0.4	125	
計	1,770	1,734	1,651	1,581	1,416	1,440	1,394	1,273	1,273	1,296	1,219	-77	-5.9	100.0	69		
夜	15歳以下	自動車乗車中	27	21	16	11	7	7	16	11	14	10	7	-3	-30.0	33.3	26
		自動二輪車乗車中	3	0	3	2	1	0	2	1	1	1	1	0	0.0	4.8	33
		原付乗車中	10	9	6	2	4	3	2	3	2	0	0	—	0.0	0	
		自転車乗用中	15	5	10	5	8	12	9	6	5	4	2	-2	-50.0	9.5	13
		歩行中	21	18	14	13	14	11	9	12	7	8	11	3	37.5	52.4	52
		その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0.0	0
	計	77	53	50	33	34	33	38	33	29	23	21	-2	-8.7	100.0	27	
	16歳 24歳	自動車乗車中	344	327	261	220	144	150	147	120	99	117	101	-16	-13.7	43.5	29
		自動二輪車乗車中	140	104	103	107	99	76	79	73	68	66	71	5	7.6	30.6	51
		原付乗車中	86	53	52	44	50	36	27	32	27	36	26	-10	-27.8	11.2	30
		自転車乗用中	19	26	31	24	17	15	22	22	13	14	11	-3	-21.4	4.7	58
		歩行中	38	34	42	29	22	27	15	34	34	23	23	0	0.0	9.9	61
		その他	1	0	0	0	1	0	4	0	0	1	0	-1	-100.0	0.0	0
	計	628	544	489	424	333	304	294	281	241	257	232	-25	-9.7	100.0	37	
	25歳 64歳	自動車乗車中	920	860	709	557	437	386	401	366	359	325	292	-33	-10.2	35.0	32
		自動二輪車乗車中	148	157	134	103	117	104	111	117	120	106	108	2	1.9	12.9	73
		原付乗車中	110	102	86	78	71	57	62	61	56	47	47	0	0.0	5.6	43
		自転車乗用中	158	147	147	102	103	100	85	113	100	100	84	-16	-16.0	10.1	53
歩行中		531	520	474	427	376	372	354	395	368	315	304	-11	-3.5	36.4	57	
その他		5	3	2	4	1	1	6	1	0	2	0	-2	-100.0	0.0	0	
計	1,872	1,789	1,552	1,271	1,105	1,020	1,019	1,053	1,003	895	835	-60	-6.7	100.0	45		
65歳以上	自動車乗車中	138	146	127	121	108	103	112	110	116	108	127	19	17.6	13.0	92	
	自動二輪車乗車中	5	6	10	11	7	6	6	6	4	7	10	3	42.9	1.0	200	
	原付乗車中	30	39	33	14	22	26	29	31	27	23	30	7	30.4	3.1	100	
	自転車乗用中	154	149	134	158	139	128	117	129	105	122	121	-1	-0.8	12.4	79	
	歩行中	972	872	876	854	815	775	816	737	736	743	685	-58	-7.8	70.3	70	
	その他	2	5	3	3	10	1	2	5	3	4	1	-3	-75.0	0.1	50	
計	1,301	1,217	1,183	1,161	1,101	1,039	1,082	1,018	991	1,007	974	-33	-3.3	100.0	75		

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

5 死亡事故の状況と特徴

(1) 第1当事者別の状況と特徴

ア 全般

◎ 自家用普通乗用車及び軽乗用車で全体の約半数

死亡事故件数を当事者種別（第1当事者）別にみると、自家用の普通乗用車（構成率29.4%）及び軽乗用車（同20.5%）で全体の約半数（同49.9%）を占めている。

前年との比較では、自家用普通乗用車（前年比－129件、－9.9%）が最も減少している。

過去10年間の推移をみると、全般的に減少傾向にあるものの、自家用軽乗用車は10年前に比べ高い数値（平成16年の1.03倍）である。

○ 当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数の推移（各年12月末）

当事者種別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数		
自家用自動車等	乗用	バス	2	1	1	0	3	3	1	1	0	1	1	0	0.0	0.0	50	
		マイクロ	13	5	8	12	6	5	3	8	6	4	3	-1	-25.0	0.1	23	
		普通乗用	2,718	2,500	2,270	1,908	1,689	1,643	1,562	1,409	1,364	1,307	1,178	-129	-9.9	29.4	43	
		軽乗用	797	840	804	848	789	785	829	845	800	833	823	-10	-1.2	20.5	103	
		小計	3,530	3,346	3,083	2,768	2,487	2,436	2,395	2,263	2,170	2,145	2,005	-140	-6.5	50.0	57	
	貨物	大型貨物	34	47	32	38	43	36	38	28	27	27	34	7	25.9	0.8	100	
		中型貨物	570	506	471	452	302	265	277	258	208	190	218	28	14.7	5.4	50	
		普通貨物																
		軽貨物	809	744	679	639	567	556	545	512	441	469	415	-54	-11.5	10.3	51	
		小計	1,413	1,297	1,182	1,129	986	918	942	885	748	749	736	-13	-1.7	18.3	52	
	トレーラー	2	3	5	3	6	1	3	3	2	4	1	-3	-75.0	0.0	50		
	小計	4,943	4,643	4,265	3,897	3,473	3,354	3,337	3,148	2,918	2,894	2,741	-153	-5.3	68.3	55		
	自動車	乗用	バス	22	19	18	23	11	15	22	9	14	16	15	-1	-6.3	0.4	68
			マイクロ	7	4	8	0	2	3	1	3	1	1	2	1	100.0	0.0	29
			普通乗用	45	53	49	34	51	40	45	51	40	40	41	1	2.5	1.0	91
			軽乗用	0	0	0	3	1	0	1	1	0	0	1	1	-	0.0	-
		小計	74	76	75	60	65	58	69	64	55	57	59	2	3.5	1.5	80	
貨物		大型貨物	261	271	257	247	235	198	205	199	208	187	194	7	3.7	4.8	74	
		中型貨物	346	322	277	267	134	141	149	133	140	133	113	-20	-15.0	2.8	39	
		普通貨物																
		軽貨物	20	37	31	17	24	27	23	19	16	12	19	7	58.3	0.5	95	
		小計	627	630	565	531	433	394	400	366	388	361	349	-12	-3.3	8.7	56	
	トレーラー	54	62	58	62	37	32	25	34	40	32	35	3	9.4	0.9	65		
小計	701	706	640	591	498	452	469	430	443	418	408	-10	-2.4	10.2	58			
ミニカー	1	0	1	1	4	1	1	1	0	1	1	0	0.0	0.0	100			
特殊車	農耕作業用	22	23	22	13	24	17	11	17	21	33	25	-8	-24.2	0.6	114		
	大型	6	9	10	16	3	6	9	5	10	7	9	2	28.6	0.2	150		
	小型	5	2	2	4	6	8	6	2	3	2	3	1	50.0	0.1	60		
	小計	33	34	34	33	33	31	26	24	34	42	37	-5	-11.9	0.9	112		
小計	5,678	5,383	4,940	4,522	4,008	3,838	3,833	3,603	3,395	3,355	3,187	-168	-5.0	79.4	56			
二輪車	自	小型二輪	244	190	193	183	178	168	154	170	145	156	125	-31	-19.9	3.1	51	
		軽二輪	104	120	118	113	113	102	97	94	77	79	72	-7	-8.9	1.8	69	
		原付二種	87	80	92	86	78	79	85	70	69	65	71	6	9.2	1.8	82	
		小計	435	390	403	382	369	349	336	334	291	300	268	-32	-10.7	6.7	62	
	原付一種	436	382	361	318	300	246	251	219	223	199	184	-15	-7.5	4.6	42		
小計	871	772	764	700	669	595	587	553	514	499	452	-47	-9.4	11.3	52			
小計	6,549	6,155	5,704	5,222	4,677	4,433	4,420	4,156	3,909	3,854	3,639	-215	-5.6	90.7	56			
自転車	271	259	268	218	226	237	207	200	202	233	214	-19	-8.2	5.3	79			
その他の車両	3	1	3	1	1	2	2	1	2	0	4	4	-	0.1	133			
歩行者	263	225	188	156	138	124	130	141	144	171	147	-24	-14.0	3.7	56			
不明	62	41	33	28	25	30	24	34	23	20	9	-11	-55.0	0.2	15			
合計	7,148	6,681	6,196	5,625	5,067	4,826	4,783	4,532	4,280	4,278	4,013	-265	-6.2	100.0	56			

- 注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。
 2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。
 3 トレーラーは、大型貨物、中型貨物及び普通貨物の内数。

イ 原付以上運転者

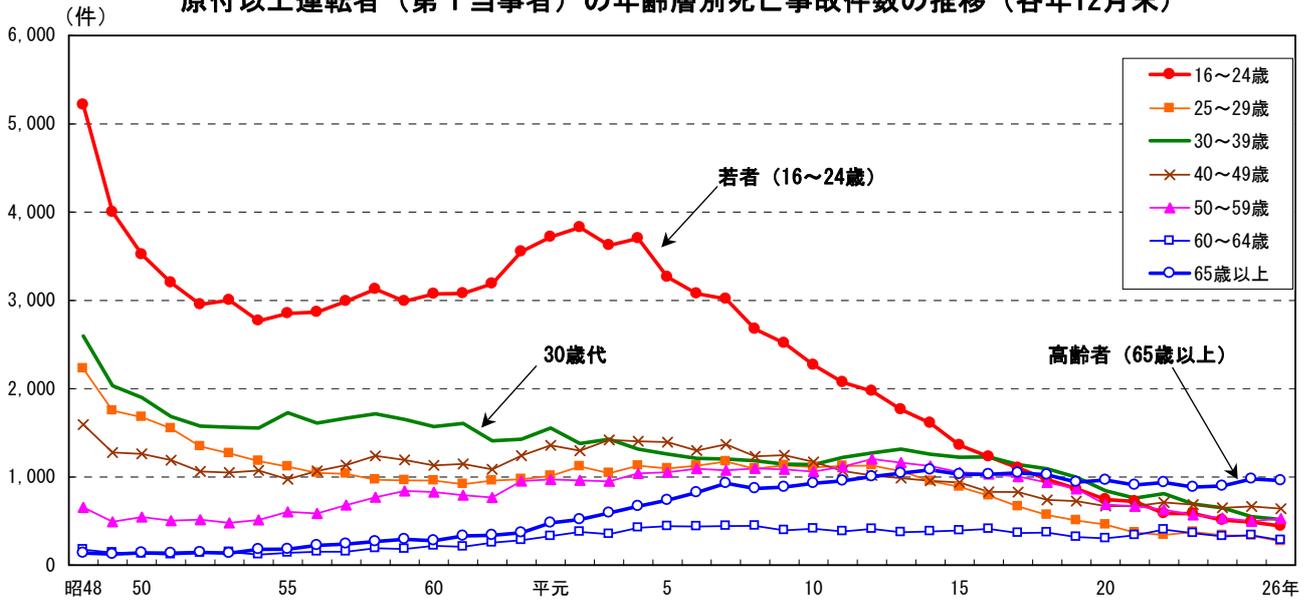
◎ 高齢者の運転による死亡事故が最多

原付以上運転者（第1当事者）による死亡事故件数を年齢層別にみると、高齢者（構成率26.3%）が最も多く、次いで40歳代（同17.6%）、50歳代（同14.5%）、30歳代（同14.2%）の順に多い。

前年と比較すると、25～29歳（前年比-64件、-19.1%）が最も減少した。

若者の運転による死亡事故は、昭和50年代半ばから増加傾向にあったが、平成2年（3,828件）をピークに減少に転じ、その後はほぼ一貫して減少し、17年には30歳代を下回った。一方、高齢運転者による死亡事故は、運転免許保有者数が増加していることなどを背景に、依然高い水準（平成16年の0.93倍）にあり、20年には30歳代を上回り、最多の年齢層となっている。中でも75歳以上は、より高い水準（同1.16倍）にある。

原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
		16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年				
15歳以下		10	11	6	4	6	3	3	3	3	1	0	-1	-100.0	0.0	0
16～19歳	16～19歳	398	332	281	266	241	222	168	180	156	176	136	-40	-22.7	3.7	34
	20～24歳	830	769	689	600	503	498	417	404	353	313	307	-6	-1.9	8.4	37
16～24歳		1,228	1,101	970	866	744	720	585	584	509	489	443	-46	-9.4	12.2	36
25～29歳		786	664	568	506	459	370	341	376	338	335	271	-64	-19.1	7.4	34
30～39歳		1,225	1,138	1,093	997	843	758	809	693	650	550	518	-32	-5.8	14.2	42
40～49歳		830	828	738	727	670	669	712	685	650	664	639	-25	-3.8	17.6	77
50～59歳		1,031	1,004	937	863	689	668	630	569	535	498	527	29	5.8	14.5	51
60～64歳		410	365	369	318	303	339	402	362	327	340	284	-56	-16.5	7.8	69
65歳以上	65～69歳	334	278	316	251	284	256	249	255	240	270	270	0	0.0	7.4	81
	70～74歳	289	311	285	264	270	229	245	205	197	249	216	-33	-13.3	5.9	75
	75歳以上	406	455	422	426	409	421	444	424	460	458	471	13	2.8	12.9	116
65歳以上		1,029	1,044	1,023	941	963	906	938	884	897	977	957	-20	-2.0	26.3	93
合計		6,549	6,155	5,704	5,222	4,677	4,433	4,420	4,156	3,909	3,854	3,639	-215	-5.6	100.0	56
高齢者構成率 (再掲)		15.7	17.0	17.9	18.0	20.6	20.4	21.2	21.3	22.9	25.4	26.3	-	-	-	167
20～29歳		1,616	1,433	1,257	1,106	962	868	758	780	691	648	578	-70	-10.8	15.9	36
70歳以上		695	766	707	690	679	650	689	629	657	707	687	-20	-2.8	18.9	99

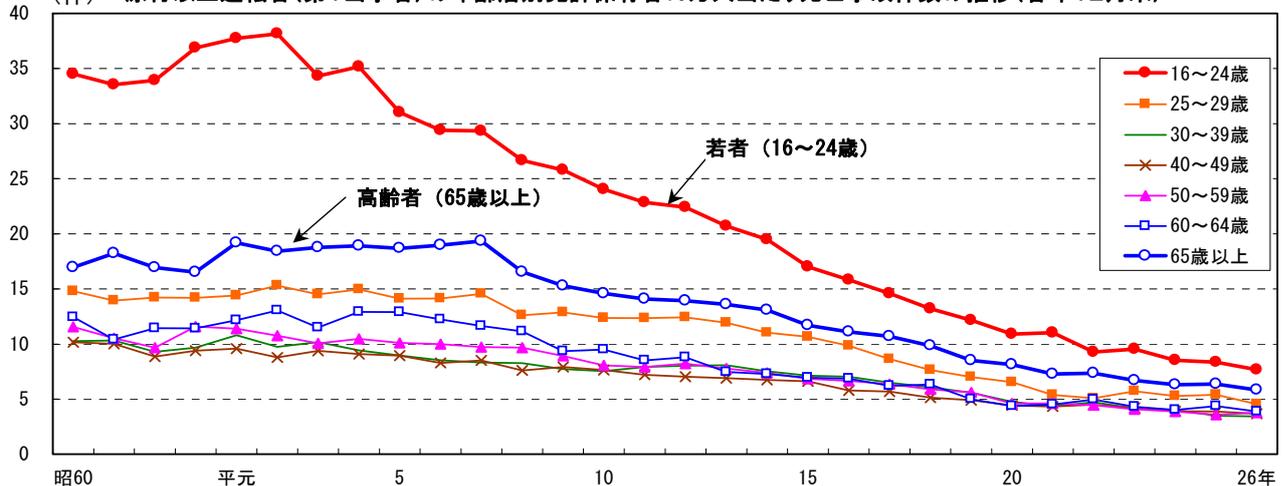
注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

◎ 免許保有者10万人当たりでは16～19歳、75歳以上が高い水準

原付以上運転者（第1当事者）による免許保有者10万人当たり死亡事故件数を年齢層別にみると、若者（7.66件）が最も多く、中でも16～19歳（13.75件）が高い水準にある。また、75歳以上（10.53件）も高い水準にある。前年と比較すると、16～19歳（前年比-3.15件、-18.7%）が特に減少した。過去10年間の推移では、全体的に減少傾向にあり、最多の年齢層である若者は平成16年の0.48倍にまで減少し、他の年齢層との差は縮小してきた。

(件) 原付以上運転者(第1当事者)の年齢層別免許保有者10万人当たり死亡事故件数の推移(各年12月末)

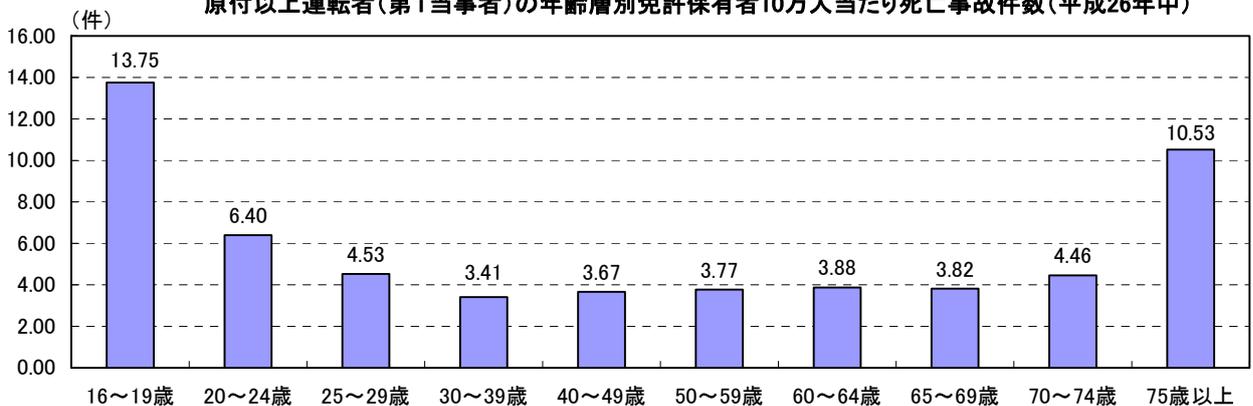


○ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別免許保有者10万人当たり死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	指数
15歳以下	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16～19歳	26.79	23.54	21.01	20.84	20.39	19.68	15.28	16.90	14.95	16.91	13.75	-3.15	-18.7	51
20～24歳	13.23	12.52	11.47	10.26	8.91	9.21	8.01	7.99	7.16	6.49	6.40	-0.09	-1.4	48
16～24歳	15.82	14.58	13.21	12.15	10.89	11.02	9.27	9.54	8.52	8.34	7.66	-0.68	-8.2	48
25～29歳	9.85	8.63	7.65	7.01	6.52	5.37	5.06	5.72	5.27	5.39	4.53	-0.86	-16.0	46
30～39歳	7.02	6.49	6.07	5.59	4.76	4.34	4.72	4.15	4.01	3.51	3.41	-0.10	-2.8	49
40～49歳	5.79	5.69	5.12	4.90	4.42	4.32	4.50	4.21	3.89	3.88	3.67	-0.21	-5.5	63
50～59歳	6.66	6.35	5.88	5.59	4.60	4.61	4.45	4.08	3.87	3.59	3.77	0.18	4.9	57
60～64歳	6.86	6.20	6.32	4.99	4.37	4.52	4.97	4.30	4.01	4.37	3.88	-0.49	-11.2	57
65～69歳	7.96	6.37	6.78	5.11	5.36	4.56	4.52	4.67	4.02	4.14	3.82	-0.32	-7.8	48
70～74歳	9.91	10.25	9.05	7.93	7.74	6.33	6.55	5.15	4.69	5.44	4.46	-0.98	-18.1	45
75歳以上	18.81	19.23	16.37	15.05	13.45	12.99	12.67	11.31	11.41	10.78	10.53	-0.26	-2.4	56
65歳以上	11.10	10.69	9.85	8.50	8.14	7.26	7.35	6.70	6.31	6.37	5.84	-0.53	-8.3	53
合計	8.37	7.81	7.19	6.54	5.81	5.49	5.46	5.12	4.80	4.71	4.43	-0.27	-5.8	53
(再掲)														
20～29歳	11.34	10.35	9.36	8.47	7.59	7.06	6.35	6.70	6.09	5.87	5.36	-0.51	-8.7	47
70歳以上	13.70	14.19	12.35	11.20	10.39	9.48	9.51	8.14	7.98	8.01	7.37	-0.64	-8.0	54

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。
 2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。
 3 算出に用いた免許保有者数は、各年12月末現在の値である。

原付以上運転者(第1当事者)の年齢層別免許保有者10万人当たり死亡事故件数(平成26年中)



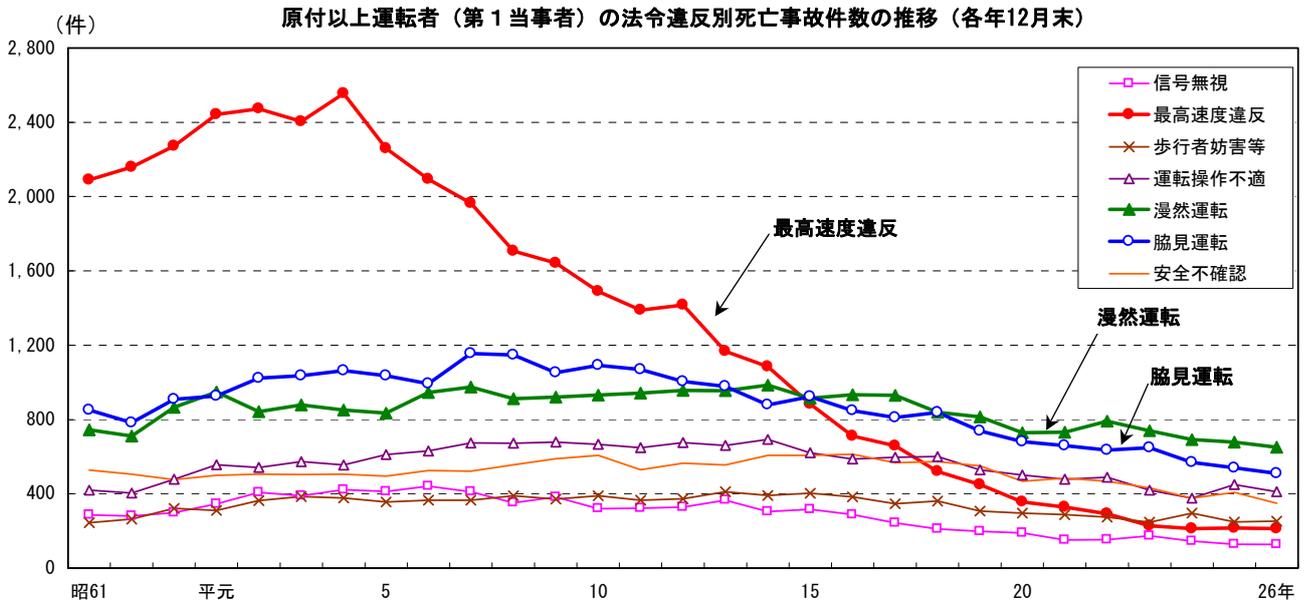
(2) 法令違反別の状況と特徴

ア 全般

◎ 漫然運転、脇見運転等による死亡事故が多い

原付以上運転者（第1当事者）による死亡事故件数を法令違反別にみると、漫然運転（構成率17.9%）が最も多く、次いで脇見運転（同14.0%）、運転操作不適（同11.3%）の順に多い。

前年と比較すると、安全不確認（前年比-58件、-14.3%）が最も減少した。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）

法令違反別	年											増減数	増減率	構成率	指数
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年				
信号無視	288	243	211	198	189	151	154	174	145	128	127	-1	-0.8	3.5	44
通行区分	335	344	266	274	231	198	191	196	174	191	148	-43	-22.5	4.1	44
最高速度	711	658	520	449	356	329	293	228	212	216	212	-4	-1.9	5.8	30
優先通行妨害	219	200	172	166	158	122	136	118	122	108	94	-14	-13.0	2.6	43
歩行者妨害等	383	346	361	307	296	288	274	247	296	248	253	5	2.0	7.0	66
一時不停止	265	250	234	218	194	156	152	134	126	92	122	30	32.6	3.4	46
酒酔い運転	144	135	115	82	54	57	35	44	33	22	30	8	36.4	0.8	21
過労運転	59	43	38	29	21	12	18	24	35	20	15	-5	-25.0	0.4	25
運転操作不適	587	597	601	528	501	478	489	419	376	450	411	-39	-8.7	11.3	70
漫然運転	934	930	839	814	729	731	791	739	692	678	651	-27	-4.0	17.9	70
脇見運転	848	810	838	738	681	659	635	648	569	539	510	-29	-5.4	14.0	60
動静不注視	212	184	195	167	147	136	112	107	104	117	95	-22	-18.8	2.6	45
安全不確認	612	567	573	550	468	484	468	432	376	407	349	-58	-14.3	9.6	57
安全速度	281	238	217	147	150	151	146	141	113	118	87	-31	-26.3	2.4	31
その他	78	54	42	43	28	39	48	42	56	56	75	19	33.9	2.1	96
その他の違反	551	521	460	479	443	399	450	414	392	375	369	-6	-1.6	10.1	67
違反不明	42	35	22	33	31	43	28	49	88	89	91	2	2.2	2.5	217
合計	6,549	6,155	5,704	5,222	4,677	4,433	4,420	4,156	3,909	3,854	3,639	-215	-5.6	100.0	56
最高速度構成率	10.9	10.7	9.1	8.6	7.6	7.4	6.6	5.5	5.4	5.6	5.8	-	-	-	54

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の法令違反別・年齢層別死亡事故件数（平成26年中）

法令違反別	15歳	16～			25～	30～	40～	50～	60～	65歳			合計	構成率	70歳	
	以下	16～19歳	20～24歳	24歳	29歳	39歳	49歳	59歳	64歳	65～74歳	75歳以上	以上			以上	
信号無視 (増減数)	0 0	6 -5	8 -3	14 -8	8 -8	18 -2	27 11	16 1	6 -6	23 6	15 5	38 11	127 -1	3.5	25 6	
通行区分 (増減数)	0 0	7 -5	11 -5	18 -10	9 -5	12 -5	24 -7	18 -2	12 -7	24 -10	31 3	55 -7	148 -43	4.1	44 -1	
最高速度 (増減数)	0 -1	28 -1	49 -1	77 -2	25 -4	29 -7	36 -3	19 -1	10 4	11 8	5 2	16 10	212 -4	5.8	7 3	
横断・転回等 (増減数)	0 0	0 -1	1 -1	1 -2	2 0	5 5	4 -1	1 -4	1 -3	3 3	3 1	6 4	20 -1	0.5	5 3	
追越し (増減数)	0 0	3 0	8 -1	11 -1	3 -1	3 0	1 -5	0 -4	0 -1	1 -1	2 1	3 0	21 -12	0.6	2 1	
踏切不停止 (増減数)	0 0	1 -1	0 -1	1 -2	2 1	0 -1	1 1	0 -1	1 -1	2 -1	1 0	3 -1	8 -4	0.2	3 0	
右折違反 (増減数)	0 0	0 0	1 1	1 1	1 0	3 2	1 1	0 -1	0 -2	1 -1	2 -2	3 -3	9 -2	0.2	2 -4	
左折違反 (増減数)	0 0	0 0	0 -1	0 -1	0 0	1 0	0 0	2 0	0 -2	0 0	0 0	0 0	3 -3	0.1	0 0	
優先通行妨害 (増減数)	0 0	2 0	5 -1	7 -1	6 -1	6 -8	15 -1	10 -6	8 -4	23 6	19 1	42 7	94 -14	2.6	31 7	
交差点安全進行 (増減数)	0 0	2 -2	12 -3	14 -5	21 7	36 -2	49 17	31 -4	28 16	15 -9	25 3	40 -6	219 23	6.0	31 -1	
歩行者妨害等 (増減数)	0 0	3 -4	12 3	15 -1	19 -1	37 -9	57 -3	41 11	21 -5	41 6	22 7	63 13	253 5	7.0	37 13	
徐行 (増減数)	0 0	0 0	1 0	1 0	2 -3	3 -1	2 -1	1 -1	1 -1	1 -2	0 -2	1 -4	11 -11	0.3	0 -3	
一時不停止 (増減数)	0 0	10 8	5 1	15 9	1 -6	14 4	10 2	11 -1	6 1	24 8	41 13	65 21	122 30	3.4	55 16	
酒酔い運転 (増減数)	0 0	2 2	1 -1	3 1	2 0	5 2	9 3	7 5	3 -2	0 -2	1 1	1 -1	30 8	0.8	1 -1	
過労運転 (増減数)	0 0	0 -3	0 -4	0 -7	4 3	2 1	1 -2	4 2	2 2	1 -1	1 -3	2 -4	15 -5	0.4	1 -4	
安全義務	運転操作不適 (増減数)	0 0	28 2	37 7	65 9	21 6	34 -1	47 -8	58 0	25 -21	69 -15	92 -9	161 -24	411 -39	11.3	128 -28
	漫然運転 (増減数)	0 0	19 -4	63 -4	82 -8	42 -20	98 7	118 0	103 17	56 -2	93 -9	59 -12	152 -21	651 -27	17.9	91 -32
	脇見運転 (増減数)	0 0	8 -13	41 8	49 -5	52 -8	89 -2	98 -9	89 6	39 -4	50 -10	44 3	94 -7	510 -29	14.0	65 -4
	動静不注視 (増減数)	0 0	3 -2	7 -2	10 -4	8 -13	15 -8	30 10	10 -3	7 0	9 -1	6 -3	15 -4	95 -22	2.6	8 -4
	安全不確認 (増減数)	0 0	7 -6	20 0	27 -6	20 -10	62 -12	70 -12	58 11	32 -11	43 -12	37 -6	80 -18	349 -58	9.6	57 -10
	安全速度 (増減数)	0 0	2 -2	13 2	15 0	9 -6	13 -4	13 -12	13 -8	5 -6	9 4	12 1	21 5	87 -31	2.4	16 4
	その他 (増減数)	0 0	2 0	3 -2	5 -2	5 3	8 5	6 -5	13 10	9 6	16 1	13 1	29 2	75 19	2.1	26 7
その他の違反 (増減数)	0 0	2 -2	5 3	7 1	7 4	10 0	14 -1	11 1	7 -1	8 -5	14 5	22 0	78 4	2.1	16 3	
違反不明 (増減数)	0 0	1 -1	4 -1	5 -2	2 -2	15 4	6 0	13 1	5 -6	19 4	26 3	45 7	91 2	2.5	36 9	
合計		0	136	307	443	271	518	639	527	284	486	471	957	3.639	100.0	687
	構成率	0.0	3.7	8.4	12.2	7.4	14.2	17.6	14.5	7.8	13.4	12.9	26.3	100.0		18.9
	増減数	-1	-40	-6	-46	-64	-32	-25	29	-56	-33	13	-20	-215		-20
増減率	-100.0	-22.7	-1.9	-9.4	-19.1	-5.8	-3.8	5.8	-16.5	-6.4	2.8	-2.0	-5.6		-2.8	

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

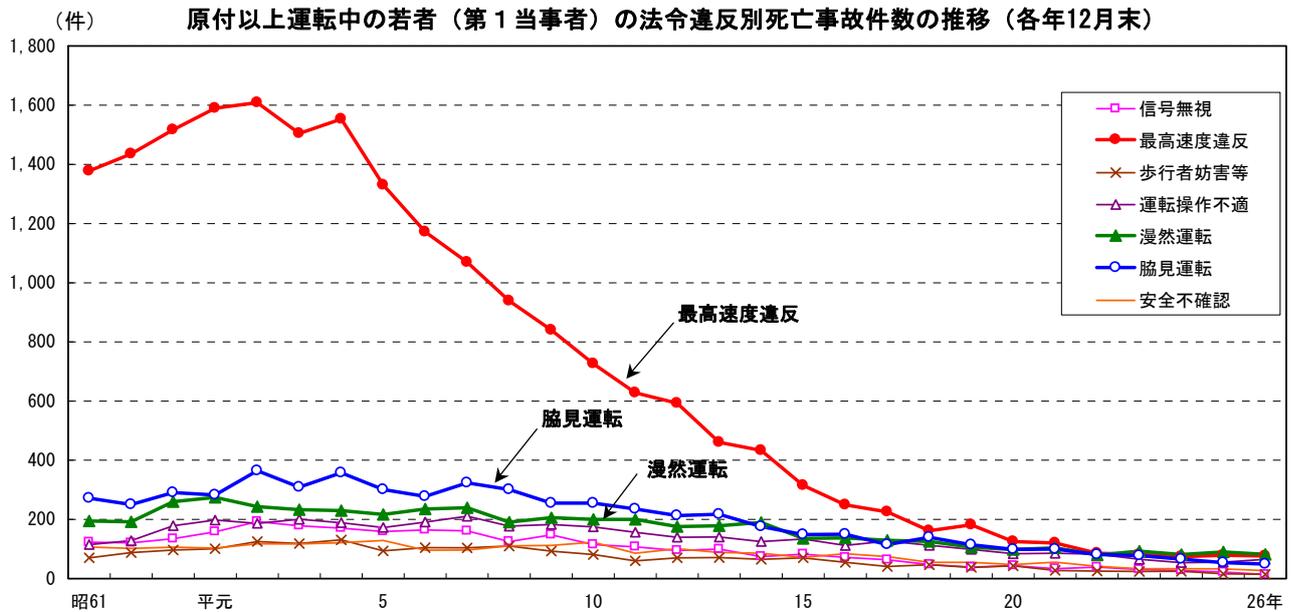
2 70歳以上は、再掲である。

イ 若者

◎ 漫然運転、最高速度違反の割合が高い

原付以上運転中の若者（第1当事者）による死亡事故件数を法令違反別にみると、漫然運転（構成率18.5%）が最も多く、次いで最高速度違反（同17.4%）、運転操作不適（同14.7%）、脇見運転（同11.1%）の順に多い。

最高速度違反の構成率は、全年齢層では5.8%であるのに対して、若者の運転による死亡事故ではその3倍の17.4%と高い割合を占めている。



○ 原付以上運転中の若者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別・法令違反別	年											増減数	増減率	構成率	指数	
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年					
16歳以上 24歳未満	信号無視	72	64	48	39	44	34	39	31	28	22	14	-8	-36.4	3.2	19
	通行区分	63	70	49	45	34	41	25	39	29	28	18	-10	-35.7	4.1	29
	最高速度	249	226	162	182	125	120	86	81	75	79	77	-2	-2.5	17.4	31
	優先通行妨害	33	34	15	23	24	16	20	12	11	8	7	-1	-12.5	1.6	21
	歩行者妨害等	55	41	47	38	43	28	26	24	25	16	15	-1	-6.3	3.4	27
	一時不停止	48	29	33	23	24	20	19	12	9	6	15	9	150.0	3.4	31
	酒酔い運転	20	13	15	15	7	3	4	8	5	2	3	1	50.0	0.7	15
	過労運転	17	10	9	2	4	3	2	8	6	7	0	-7	-100.0	0.0	0
	運転操作不適	112	127	113	99	84	86	83	66	54	56	65	9	16.1	14.7	58
	漫然運転	138	130	126	106	98	104	80	93	81	90	82	-8	-8.9	18.5	59
	脇見運転	150	115	140	114	99	100	81	78	66	54	49	-5	-9.3	11.1	33
	動静不注視	27	26	31	17	15	19	12	14	13	14	10	-4	-28.6	2.3	37
	安全不確認	84	75	55	55	48	56	42	34	34	33	27	-6	-18.2	6.1	32
	安全速度	73	53	51	30	35	26	19	21	19	15	15	0	0.0	3.4	21
	その他	14	6	10	8	3	8	4	0	5	7	5	-2	-28.6	1.1	36
	その他の違反	68	76	65	66	56	49	40	60	44	45	36	-9	-20.0	8.1	53
違反不明	5	6	1	4	1	7	3	3	5	7	5	-2	-28.6	1.1	100	
合計	1,228	1,101	970	866	744	720	585	584	509	489	443	-46	-9.4	100.0	36	
最高速度構成率	20.3	20.5	16.7	21.0	16.8	16.7	14.7	13.9	14.7	16.2	17.4	-	-	-	86	

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

ウ 高齢者

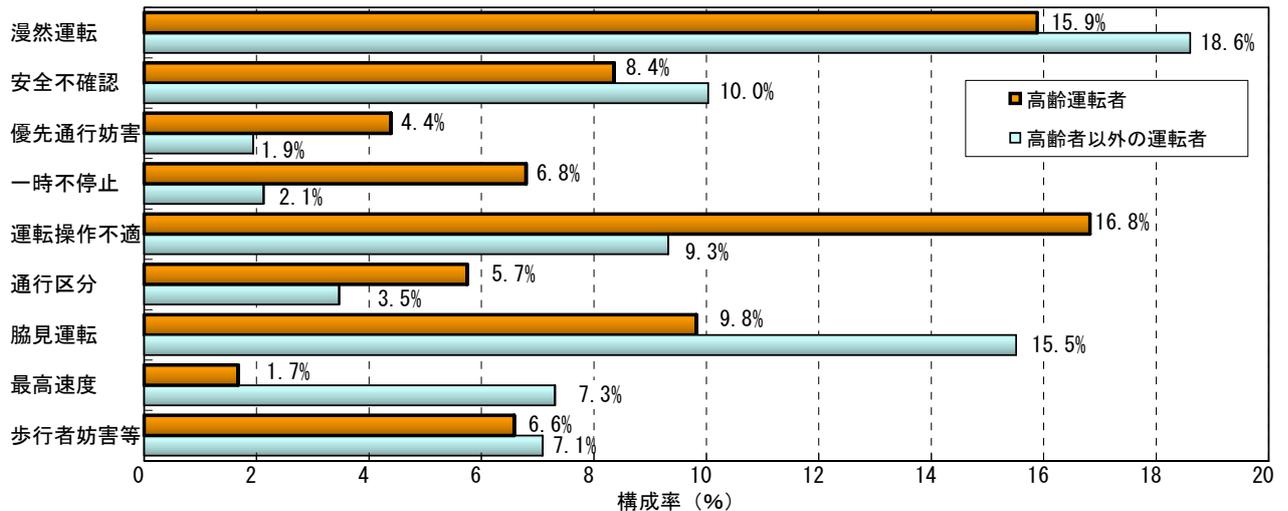
◎ 運転操作不適の割合が高い

原付以上運転中の高齢者（第1当事者）による死亡事故件数を法令違反別にみると、運転操作不適（構成率16.8%）が最も多く、次いで漫然運転（同15.9%）、脇見運転（同9.8%）、安全不確認（同8.4%）の順に多い。

前年と比較すると、運転操作不適（前年比-24件、-13.0%）、漫然運転（同-21件、-12.1%）、安全不確認（同-18件、-18.4%）が特に減少した。

高齢運転者の主な法令違反の構成率を高齢者以外の運転者と比較すると、高齢者以外の運転者では、最高速度違反による死亡事故が7.3%であるのに対して、高齢運転者では1.7%と低く、一方で、運転操作不適（高齢者以外の運転者：9.3%、高齢運転者：16.8%）、一時不停止（高齢者以外の運転者：2.1%、高齢運転者6.8%）などでは、高齢運転者の方が高くなっている。

原付以上運転者（第1当事者）の主な法令違反別死亡事故件数（構成率）（平成26年中）



○ 原付以上運転中の高齢者（第1当事者）の法令違反別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別・法令違反別	年											増減数	増減率	構成率	指数	
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年					
65歳以上	信号無視	48	34	38	40	44	30	28	33	30	27	38	11	40.7	4.0	79
	通行区分	85	77	61	65	74	63	55	60	55	62	55	-7	-11.3	5.7	65
	最高速度	15	19	12	15	8	9	10	10	13	6	16	10	166.7	1.7	107
	優先通行妨害	62	51	53	52	46	41	58	41	41	35	42	7	20.0	4.4	68
	歩行者妨害等	40	46	52	39	42	47	48	42	51	50	63	13	26.0	6.6	158
	一時不停止	105	110	103	103	89	78	67	65	67	44	65	21	47.7	6.8	62
	酒酔い運転	18	10	18	7	8	3	1	3	4	2	1	-1	-50.0	0.1	6
	過労運転	8	6	8	5	6	0	4	7	10	6	2	-4	-66.7	0.2	25
	運転操作不適	131	154	178	143	154	151	154	135	142	185	161	-24	-13.0	16.8	123
	漫然運転	151	161	155	144	148	133	166	162	132	173	152	-21	-12.1	15.9	101
安全運転義務	脇見運転	117	110	98	107	101	88	110	101	81	101	94	-7	-6.9	9.8	80
	動静不注視	23	16	32	24	29	18	17	17	15	19	15	-4	-21.1	1.6	65
	安全不確認	97	106	90	79	85	108	94	97	91	98	80	-18	-18.4	8.4	82
	安全速度	13	30	25	16	20	22	18	18	13	16	21	5	31.3	2.2	162
	その他	8	12	9	14	13	12	11	13	19	27	29	2	7.4	3.0	363
	その他の違反	99	94	82	79	82	93	87	64	95	88	78	-10	-11.4	8.2	79
	違反不明	9	8	9	9	14	10	10	16	38	38	45	7	18.4	4.7	500
合計	1,029	1,044	1,023	941	963	906	938	884	897	977	957	-20	-2.0	100.0	93	

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

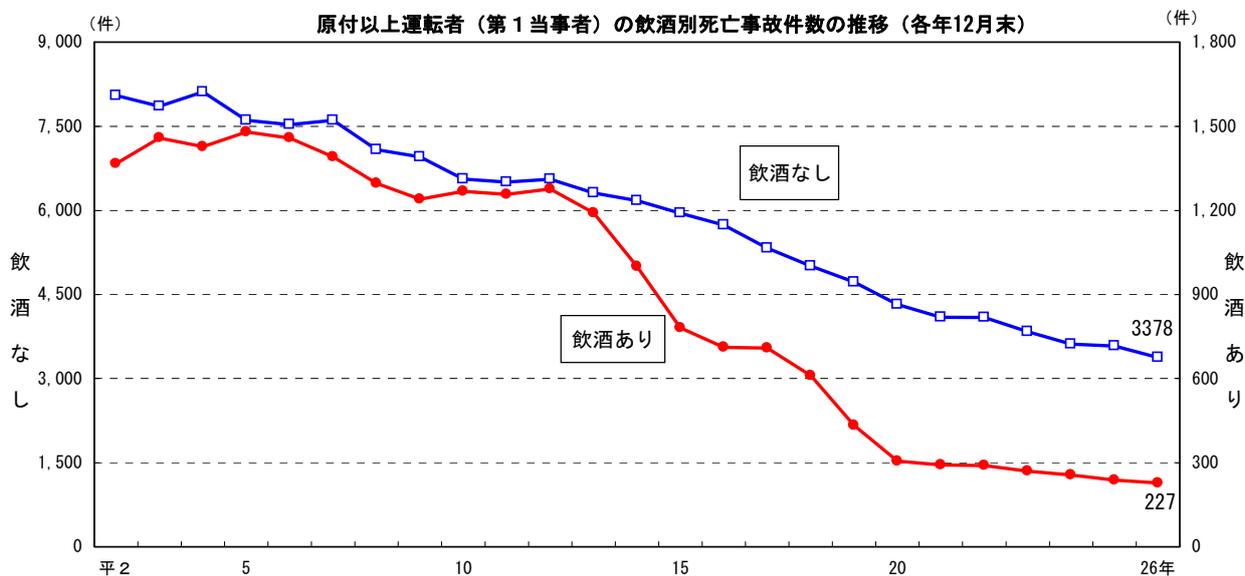
2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

(3) 飲酒別の状況と特徴

◎ 飲酒運転による死亡事故は減少するも下げ止まり傾向

原付以上運転者（第1当事者）の飲酒運転による死亡事故は227件（構成率6.2%、前年比-11件、-4.6%）で、14年連続の減少となった。

飲酒運転による死亡事故は、平成14年以降、累次の飲酒運転の厳罰化、飲酒運転根絶に対する社会的気運の高まり等により大幅に減少してきたが、20年以後は減少幅が縮小し、下げ止まり傾向にある。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の飲酒別死亡事故件数の推移（各年12月末）

飲酒別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
飲酒酔い		155	146	129	82	54	57	35	44	36	25	31	6	24.0	0.9	20
酒気帯び(0.25以上)		308	301	275	230	167	171	170	143	146	151	120	-31	-20.5	3.3	39
酒気帯び(0.25未満)		56	77	54	40	30	19	23	21	21	14	25	11	78.6	0.7	45
り基準以下		83	78	82	38	23	23	31	36	27	20	30	10	50.0	0.8	36
検知不能		110	107	71	43	31	22	31	26	26	28	21	-7	-25.0	0.6	19
小計		712	709	611	433	305	292	290	270	256	238	227	-11	-4.6	6.2	32
飲酒あり構成率		10.9	11.5	10.7	8.3	6.5	6.6	6.6	6.5	6.5	6.2	6.2	-	-	-	57
飲酒なし		5,738	5,328	5,006	4,720	4,318	4,094	4,090	3,838	3,615	3,582	3,378	-204	-5.7	92.8	59
調査不能		99	118	87	69	54	47	40	48	38	34	34	0	0.0	0.9	34
合計		6,549	6,155	5,704	5,222	4,677	4,433	4,420	4,156	3,909	3,854	3,639	-215	-5.6	100.0	56

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

注2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

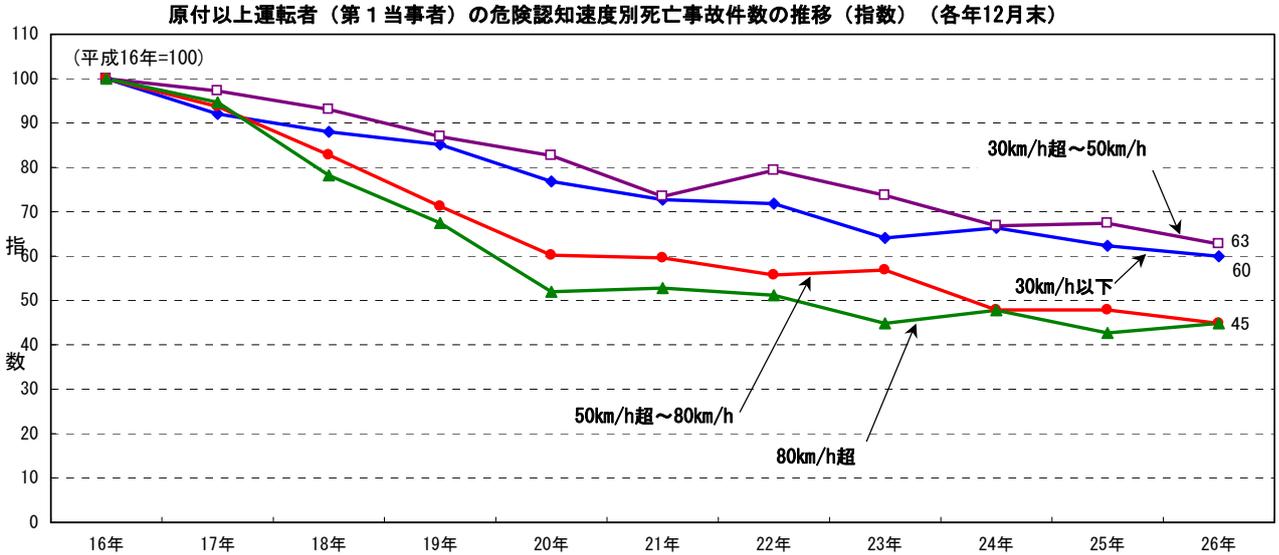
注3 「酒酔い」の件数は、交通事故に最も影響を与えている法令違反別の分類による件数とは一致しない。

(4) 危険認知速度別の状況と特徴

◎ 80km/h超の死亡事故が増加

原付以上運転者（第1当事者）による死亡事故件数を危険認知速度別に、過去10年間の推移を見ると、速度が高い事故の減少幅が大きいのが、近年はいずれの危険認知速度も減少幅が小さくなっている。

前年と比較すると、全体的に減少したものの、80km/h超（前年比+11件、+5.1%）の死亡事故は増加した。



○ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別・危険認知速度別死亡事故件数の推移（各年12月末）

年齢層別・速度別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数	
15歳以下	30km/h以下	7	3	5	1	2	2	1	1	1	0	0	0	—	—	—	0
	30km/h超~50km/h	1	6	0	1	4	1	2	1	1	0	0	0	—	—	—	0
	50km/h超~80km/h	1	2	1	1	0	0	0	1	1	1	0	-1	-100.0	—	—	0
	80km/h超	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
	調査不能	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
小計	10	11	6	4	6	3	3	3	3	1	0	-1	-100.0	—	—	0	
16~24歳	30km/h以下	172	154	138	144	121	108	94	78	75	58	57	-1	-1.7	12.9	33	
	30km/h超~50km/h	349	316	294	265	251	233	197	193	146	161	126	-35	-21.7	28.4	36	
	50km/h超~80km/h	507	437	394	317	256	256	202	233	212	177	167	-10	-5.6	37.7	33	
	80km/h超	159	163	120	108	94	89	73	64	62	61	71	10	16.4	16.0	45	
	調査不能	41	31	24	32	22	34	19	16	14	32	22	-10	-31.3	5.0	54	
小計	1,228	1,101	970	866	744	720	585	584	509	489	443	-46	-9.4	100.0	36		
25~64歳	30km/h以下	1,012	913	893	855	744	689	687	629	641	590	556	-34	-5.8	24.8	55	
	30km/h超~50km/h	1,400	1,356	1,273	1,227	1,115	1,000	1,111	1,014	940	891	839	-52	-5.8	37.5	60	
	50km/h超~80km/h	1,417	1,336	1,173	1,023	866	853	837	820	664	672	623	-49	-7.3	27.8	44	
	80km/h超	332	306	266	221	159	171	176	152	168	145	139	-6	-4.1	6.2	42	
	調査不能	121	88	100	85	80	91	83	70	87	89	82	-7	-7.9	3.7	68	
小計	4,282	3,999	3,705	3,411	2,964	2,804	2,894	2,685	2,500	2,387	2,239	-148	-6.2	100.0	52		
65歳以上	30km/h以下	460	450	417	405	401	402	404	350	379	381	377	-4	-1.0	39.4	82	
	30km/h超~50km/h	391	404	425	368	400	338	388	370	344	391	378	-13	-3.3	39.5	97	
	50km/h超~80km/h	128	149	132	121	114	114	105	114	105	132	131	-1	-0.8	13.7	102	
	80km/h超	12	8	8	11	9	6	9	10	11	9	16	7	77.8	1.7	133	
	調査不能	38	33	41	36	39	46	32	40	58	64	55	-9	-14.1	5.7	145	
小計	1,029	1,044	1,023	941	963	906	938	884	897	977	957	-20	-2.0	100.0	93		
全年齢層	30km/h以下	1,651	1,520	1,453	1,405	1,268	1,201	1,186	1,058	1,096	1,029	990	-39	-3.8	27.2	60	
	30km/h超~50km/h	2,141	2,082	1,992	1,861	1,770	1,572	1,698	1,578	1,431	1,443	1,343	-100	-6.9	36.9	63	
	50km/h超~80km/h	2,053	1,924	1,700	1,462	1,236	1,223	1,144	1,168	982	982	921	-61	-6.2	25.3	45	
	80km/h超	504	477	394	340	262	266	258	226	241	215	226	11	5.1	6.2	45	
	調査不能	200	152	165	154	141	171	134	126	159	185	159	-26	-14.1	4.4	80	
小計	6,549	6,155	5,704	5,222	4,677	4,433	4,420	4,156	3,909	3,854	3,639	-215	-5.6	100.0	56		

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

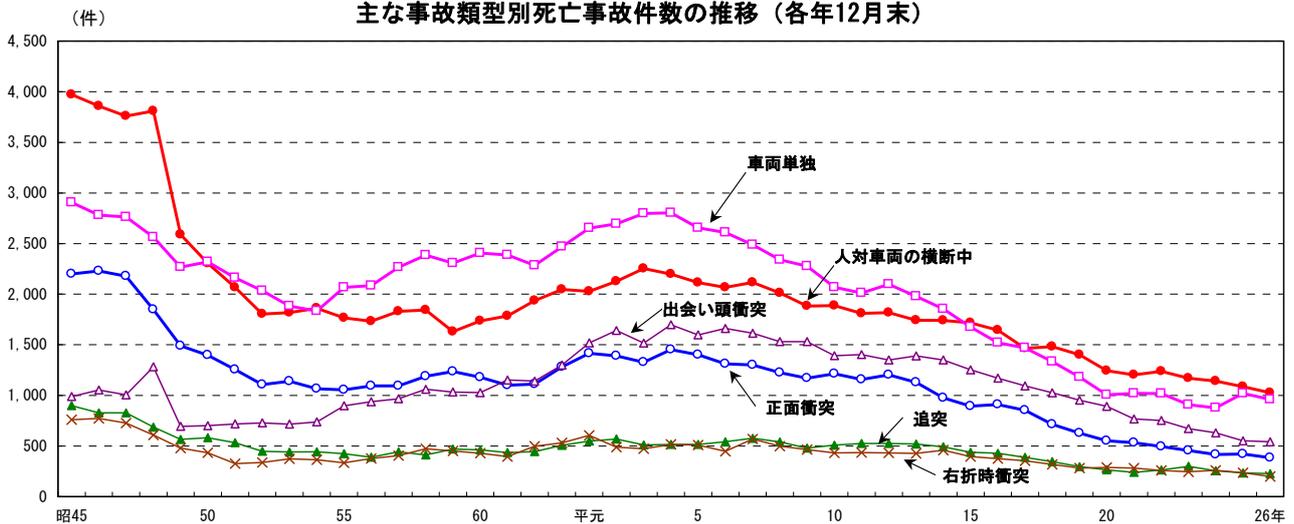
(5) 事故類型別の状況と特徴

◎ 人対車両の横断中が最多

死亡事故件数を事故類型別にみると、人対車両の横断中（構成率25.6%）が最も多く、次いで車両単独の工作物衝突（同15.5%）、車両相互の出会い頭衝突（同13.5%）の順に多い。

前年と比較すると、人対車両の横断中（前年比-60件、-5.5%）が最も減少した。

過去10年間の推移をみると、全体的に減少傾向にあり、特に正面衝突（平成16年の0.42倍）、出会い頭衝突（同0.46倍）などの事故類型は減少幅が大きい。



○ 事故類型別死亡事故件数の推移（各年12月末）

事故類型別	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数	
人対車両	対面通行中	61	69	52	58	52	72	52	40	50	43	50	7	16.3	1.2	82	
	背面通行中	160	165	150	140	119	134	102	130	111	105	88	-17	-16.2	2.2	55	
	横断中	429	399	455	407	365	365	364	335	365	328	320	-8	-2.4	8.0	75	
	横断歩道付近	205	179	153	156	136	117	136	160	151	130	137	7	5.4	3.4	67	
	横断歩道橋付近	27	12	14	19	15	20	18	17	11	13	17	4	30.8	0.4	63	
	その他	985	876	860	819	728	702	720	659	614	615	552	-63	-10.2	13.8	56	
	小計	1,646	1,466	1,482	1,401	1,244	1,204	1,238	1,171	1,141	1,086	1,026	-60	-5.5	25.6	62	
	路上遊戯中	6	8	4	9	3	1	1	4	6	7	7	-3	-42.9	0.1	67	
	路上作業中	46	61	39	33	25	39	28	32	19	35	27	-8	-22.9	0.7	59	
	路上停止中	59	58	63	45	54	37	53	48	35	25	43	18	72.0	1.1	73	
	路上横臥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	126	121	122	1	0.0	3.0	-
その他	225	208	213	211	209	181	210	212	79	73	84	11	15.1	2.1	37		
計	2,203	2,035	2,003	1,897	1,706	1,668	1,684	1,637	1,567	1,495	1,444	1,444	-51	-3.4	36.0	66	
車両相互	正面衝突	910	854	714	628	551	533	494	457	416	421	384	384	-37	-8.8	9.6	42
	追進行中	204	180	149	123	132	133	145	174	144	134	124	-10	-7.5	3.1	61	
	追越・追抜時衝突	224	208	197	173	134	107	118	127	112	101	103	2	2.0	2.6	46	
	小計	428	388	346	296	266	240	263	301	256	235	227	-8	-3.4	5.7	53	
	出会い頭衝突	1,171	1,093	1,026	952	892	767	753	672	630	551	543	-8	-1.5	13.5	46	
	追越・追抜時衝突	80	86	76	64	65	44	51	57	47	62	41	-21	-33.9	1.0	51	
	すれ違い時衝突	25	27	21	14	16	15	11	16	10	20	18	-2	-10.0	0.4	72	
	左折時衝突	85	77	78	76	64	65	57	53	50	52	2	4.0	1.3	61		
	右折時衝突	375	356	319	283	289	282	259	245	261	236	200	-36	-15.3	5.0	53	
	その他	296	240	235	199	169	155	158	148	117	131	110	-110	-21	-16.0	2.7	37
計	3,370	3,121	2,815	2,512	2,312	2,101	2,046	1,949	1,790	1,706	1,575	1,575	-131	-7.7	39.2	47	
車両単独	電柱	257	263	229	172	145	144	154	139	108	137	106	106	-31	-22.6	2.6	41
	標識	57	48	63	50	35	36	35	35	24	30	43	13	43.3	1.1	75	
	分離帯等	82	84	64	59	58	55	61	57	42	57	53	-4	-7.0	1.3	65	
	防護柵等	298	297	261	260	187	202	185	182	171	187	189	2	1.1	4.7	63	
	家屋・塀	100	121	84	73	63	66	60	63	65	69	64	-5	-7.2	1.6	64	
	橋梁・橋脚	40	44	39	36	40	33	21	29	19	32	20	-20	-37.5	0.5	50	
	その他	178	192	178	155	113	125	161	107	125	122	146	24	19.7	3.6	82	
	小計	1,012	1,049	918	805	641	661	677	612	554	634	621	-13	-2.1	15.5	61	
	駐車車両衝突	97	82	67	63	56	43	45	44	64	55	31	-24	-43.6	0.8	32	
	路外転落	198	166	175	149	157	137	139	136	128	186	176	-10	-5.4	4.4	89	
逸脱	56	45	42	37	28	36	26	26	31	27	30	3	11.1	0.7	54		
小計	254	211	217	186	185	173	165	162	159	213	206	-7	-3.3	5.1	81		
転倒	103	78	83	91	87	86	91	66	68	84	76	-8	-9.5	1.9	74		
その他	55	49	48	36	36	57	40	24	33	34	27	-7	-20.6	0.7	49		
計	1,521	1,469	1,333	1,181	1,005	1,020	1,018	908	878	1,020	961	961	-59	-5.8	23.9	63	
列車	54	56	45	35	44	37	35	38	45	57	33	33	-24	-42.1	0.8	61	
合計	7,148	6,681	6,196	5,625	5,067	4,826	4,783	4,532	4,280	4,278	4,013	4,013	-265	-6.2	100.0	56	

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

注2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

◎ 事故類型別・年齢層別では高齢者の車両相互が最多

原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数を事故類型別・年齢層別にみると、高齢者の車両相互（404件）が最も多く、次いで高齢者の車両単独（315件）、40歳代の人対車両（273件）の順に多い。

前年と比較すると、25～29歳の車両相互（前年比－42件）が最も減少した。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・年齢層別死亡事故件数（平成26年中）

事故類型別	年齢層別												合計	構成率	70歳以上		
	15歳以下	16～			25～	30～	40～	50～	60～	65歳							
		16～19歳	20～24歳	24歳	29歳	39歳	49歳	59歳	64歳	65～74歳	75歳以上	以上					
人対車両	横断中	0	14	77	91	88	160	195	142	77	112	57	169	17.7	922	25.3	102
	(増減数)	0	-13	11	-2	-8	-26	-13	-2	0	2	5	7		-44		12
	その他	0	7	30	37	29	78	78	59	40	36	30	66	6.9	387	10.6	45
	(増減数)	0	-9	3	-6	-8	12	5	14	2	-8	0	-8		11		-6
	計	0	21	107	128	117	238	273	201	117	148	87	235	24.6	1,309	36.0	147
	(増減数)	0	-22	14	-8	-16	-14	-8	12	2	-6	5	-1		-33		6
車両相互	正面衝突	0	21	36	57	31	41	50	51	30	55	63	118	12.3	378	10.4	88
	(増減数)	0	-10	-8	-18	-1	-2	-3	7	-8	-15	2	-13		-38		-2
	追突	0	3	21	24	22	37	54	31	19	23	15	38	4.0	225	6.2	22
	(増減数)	0	-2	10	8	-13	3	-5	1	-2	0	-1	-1		-9		-8
	出会い頭	0	20	23	43	22	59	74	55	28	68	98	166	17.3	447	12.3	133
	(増減数)	0	-2	0	-2	-13	-6	12	-10	-12	11	20	31		0		28
	追越時等	0	3	9	12	2	3	7	8	4	0	3	3	0.3	39	1.1	3
	(増減数)	0	0	-1	-1	-3	-3	-9	1	1	-6	1	-5		-19		-2
	左折時	0	2	0	2	4	7	12	17	2	6	2	8	0.8	52	1.4	3
	(増減数)	0	2	-2	0	2	-2	-5	8	-1	0	2	2		4		1
	右折時	0	4	18	22	15	27	35	29	18	30	17	47	4.9	193	5.3	29
(増減数)	0	-2	-9	-11	-9	-1	-4	2	-3	3	-14	-11		-37		-17	
その他	0	3	15	18	6	22	24	8	4	10	14	24	2.5	106	2.9	19	
(増減数)	0	-1	3	2	-5	-5	9	-5	-10	-11	2	-9		-23		-6	
	計	0	56	122	178	102	196	256	199	105	192	212	404	42.2	1,440	39.6	297
	(増減数)	0	-15	-7	-22	-42	-16	-5	4	-35	-18	12	-6		-122		-6
車両単独	工作物衝突	0	40	64	104	43	69	67	91	34	92	106	198	20.7	606	16.7	149
	(増減数)	-1	-10	-7	-17	2	12	-9	14	-18	0	4	4		-13		-7
	駐車車両衝突	0	2	2	4	1	5	5	5	2	5	4	9	0.9	31	0.9	7
	(増減数)	0	-3	-3	-6	-2	0	-8	-3	-1	0	-3	-3		-23		-2
	路外逸脱	0	5	6	11	2	4	17	22	22	36	48	84	8.8	162	4.5	68
	(増減数)	0	3	1	4	-4	-5	4	6	2	-5	-5	-10		-3		-8
転倒	0	9	6	15	4	4	12	6	2	7	7	14	1.5	57	1.6	9	
(増減数)	0	7	-2	5	-1	-8	-4	-3	-1	4	3	7		-5		3	
その他	0	2	0	2	0	1	8	3	1	4	6	10	1.0	25	0.7	7	
(増減数)	0	1	-1	0	-2	-1	4	2	-4	-5	-3	-8		-9		-6	
	計	0	58	78	136	50	83	109	127	61	144	171	315	32.9	881	24.2	240
	(増減数)	-1	-2	-12	-14	-7	-2	-13	16	-22	-6	-4	-10		-53		-20
列車	0	1	0	1	2	1	1	0	1	2	1	3	0.3	9	0.2	3	
(増減数)	0	-1	-1	-2	1	0	1	-3	-1	-3	0	-3		-7		0	
合計	0	136	307	443	271	518	639	527	284	486	471	957	100.0	3,639	100.0	687	
	構成率	0.0	3.7	8.4	12.2	7.4	14.2	17.6	14.5	7.8	13.4	12.9	26.3		100.0		18.9
	増減数	-1	-40	-6	-46	-64	-32	-25	29	-56	-33	13	-20		-215		-20
	増減率	-100.0	-22.7	-1.9	-9.4	-19.1	-5.8	-3.8	5.8	-16.5	-6.4	2.8	-2.0		-5.6		-2.8

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

3 70歳以上は、再掲である。

◎ 事故類型別・法令違反別では運転操作不適による車両単独、脇見運転による人対車両が最多

原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数を事故類型別・法令違反別にみると、運転操作不適による車両単独（327件）、脇見運転による人対車両（327件）が最も多く、次いで漫然運転による人対車両（311件）の順に多い。

前年と比較すると、安全不確認の車両相互（前年比－38件）が最も減少した。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・法令違反別死亡事故件数（平成26年中）

事故類型別	法令違反別	信号無視	通行区分	最高速度	追越し	歩行者妨害等	一時不停止	運転操作不適	漫然運転	脇見運転	動静不注視	安全不確認	安全速度	その他	合計	構成率
人対車両	横断中	26	0	18	0	249	1	1	184	228	27	88	13	87	922	25.3
	(増減数)	4	0	-1	0	4	-2	-2	-15	11	-12	-25	-5	-1	-44	
	その他	0	0	7	0	3	0	10	127	99	11	94	12	24	387	10.6
	(増減数)	0	-6	-5	0	0	-1	-11	34	-11	3	1	0	7	11	
	計	26	0	25	0	252	1	11	311	327	38	182	25	111	1,309	36.0
	(増減数)	4	-6	-6	0	4	-3	-13	19	0	-9	-24	-5	6	-33	
車両相互	正面衝突	0	138	28	9	0	0	51	79	25	0	4	16	28	378	10.4
	(増減数)	-1	-33	7	-4	0	0	1	5	-1	-4	-3	-3	-2	-38	
	追突	0	0	16	3	0	0	2	91	71	12	8	2	20	225	6.2
	(増減数)	-1	0	-1	3	0	0	0	-10	0	-5	5	-2	2	-9	
	出会い頭	84	0	6	0	0	118	2	13	23	9	54	2	136	447	12.3
	(増減数)	1	-1	-4	-1	0	33	0	-8	1	-1	-12	0	-8	0	
	追越時等	0	0	2	5	0	0	3	3	4	9	6	0	7	39	1.1
	(増減数)	0	-1	1	-10	0	0	-1	1	3	-9	-3	-2	2	-19	
左折時	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	20	0	29	52	1.4	
(増減数)	0	-1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	4		
右折時	16	0	5	1	0	0	1	0	5	12	33	0	120	193	5.3	
(増減数)	-3	-1	-1	-2	0	-1	0	0	2	2	-20	-1	-12	-37		
その他	0	9	11	0	0	0	14	14	8	13	20	1	16	106	2.9	
(増減数)	-1	3	3	0	0	0	1	-14	-6	3	-5	-3	-4	-23		
	計	100	147	68	18	1	119	73	200	136	56	145	21	356	1,440	39.6
	(増減数)	-5	-34	5	-14	1	33	1	-26	-1	-14	-38	-11	-19	-122	
車両単独	工作物衝突	1	1	91	3	0	2	212	111	34	1	10	30	110	606	16.7
	(増減数)	0	-2	-8	2	0	0	-11	-4	-12	1	0	-9	30	-13	
	駐車車両衝突	0	0	2	0	0	0	4	12	7	0	2	1	3	31	0.9
	(増減数)	0	-1	1	0	0	0	0	-14	-10	0	0	1	0	-23	
	路外逸脱	0	0	14	0	0	0	73	13	5	0	8	6	43	162	4.5
	(増減数)	0	0	5	0	0	0	-8	-2	-6	0	2	-3	9	-3	
転倒	0	0	11	0	0	0	34	1	0	0	1	4	6	57	1.6	
(増減数)	0	0	-2	0	0	0	-3	0	0	0	1	-4	3	-5		
その他	0	0	1	0	0	0	4	2	1	0	1	0	16	25	0.7	
(増減数)	0	0	1	0	0	0	-4	-1	0	0	1	0	-6	-9		
	計	1	1	119	3	0	2	327	139	47	1	22	41	178	881	24.2
	(増減数)	0	-3	-3	2	0	0	-26	-21	-28	1	4	-15	36	-53	
列車		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8	9	0.2
(増減数)		0	0	0	0	0	0	-1	1	0	0	0	0	-7	-7	
合計		127	148	212	21	253	122	411	651	510	95	349	87	653	3,639	100.0
	構成率	3.5	4.1	5.8	0.6	7.0	3.4	11.3	17.9	14.0	2.6	9.6	2.4	17.9	100.0	
	増減数	-1	-43	-4	-12	5	30	-39	-27	-29	-22	-58	-31	16	-215	
	増減率	-0.8	-22.5	-1.9	-36.4	2.0	32.6	-8.7	-4.0	-5.4	-18.8	-14.3	-26.3	2.5	-5.6	

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

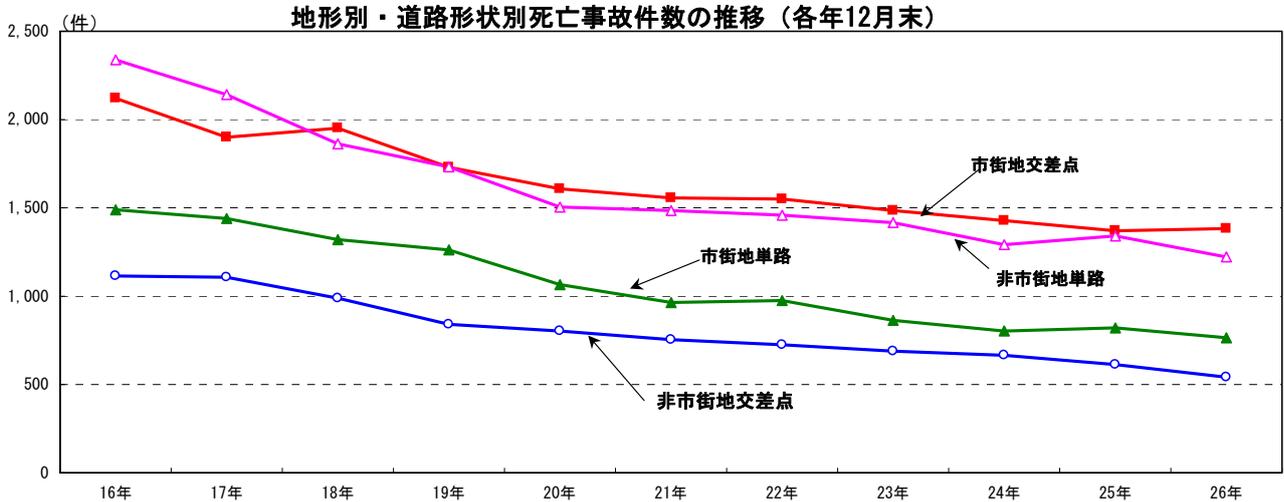
2 「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

(6) 道路形状別の状況と特徴

◎ 市街地の交差点が最多

死亡事故件数を道路形状別にみると、市街地の交差点（構成率34.5%）が最も多く、次いで非市街地の単路（同30.5%）、市街地の単路（同19.0%）の順に多い。

前年と比較すると、非市街地の単路（前年比-119件、-8.9%）が最も減少した。



○ 地形別・道路形状別死亡事故件数の推移（各年12月末）

地形別・道路形状別		年											増減数	増減率	構成率	指数	
		16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年					
市街地	交差点	交内 信号機有	921	846	861	739	697	646	628	585	607	545	541	-4	-0.7	13.5	59
		交内 信号機無	779	690	742	642	587	553	531	488	469	454	487	33	7.3	12.1	63
		小計	1,700	1,536	1,603	1,381	1,284	1,199	1,159	1,073	1,076	999	1,028	29	2.9	25.6	60
		交差点付近	421	364	349	349	324	357	391	412	352	372	355	-17	-4.6	8.8	84
	計	2,121	1,900	1,952	1,730	1,608	1,556	1,550	1,485	1,428	1,371	1,383	12	0.9	34.5	65	
	単路	カーブ・屈折	260	264	251	222	160	172	167	146	137	127	140	13	10.2	3.5	54
		一般単路	1,188	1,133	1,036	1,011	874	766	777	685	644	670	602	-68	-10.1	15.0	51
		トンネル	12	6	10	5	5	3	6	5	1	5	2	-3	-60.0	0.0	17
		橋	29	37	23	24	26	23	25	27	21	18	20	2	11.1	0.5	69
		計	1,489	1,440	1,320	1,262	1,065	964	975	863	803	820	764	-56	-6.8	19.0	51
踏切	25	30	29	15	22	22	23	18	32	42	20	-22	-52.4	0.5	80		
その他の場所	13	19	17	13	28	16	20	25	30	41	33	-8	-19.5	0.8	254		
計	3,648	3,389	3,318	3,020	2,723	2,558	2,568	2,391	2,293	2,274	2,200	-74	-3.3	54.8	60		
非市街地	交差点	交内 信号機有	277	250	230	203	160	160	168	142	171	129	116	-13	-10.1	2.9	42
		交内 信号機無	685	677	594	492	481	457	415	394	340	322	288	-34	-10.6	7.2	42
		小計	962	927	824	695	641	617	583	536	511	451	404	-47	-10.4	10.1	42
		交差点付近	153	180	165	145	162	137	142	153	155	162	138	-24	-14.8	3.4	90
	計	1,115	1,107	989	840	803	754	725	689	666	613	542	-71	-11.6	13.5	49	
	単路	カーブ・屈折	904	830	706	717	580	587	578	543	502	499	452	-47	-9.4	11.3	50
		一般単路	1,343	1,215	1,079	939	846	844	811	799	725	763	705	-58	-7.6	17.6	52
		トンネル	48	43	40	42	41	26	38	35	24	38	32	-6	-15.8	0.8	67
		橋	44	54	38	34	38	28	32	40	41	41	33	-8	-19.5	0.8	75
		計	2,339	2,142	1,863	1,732	1,505	1,485	1,459	1,417	1,292	1,341	1,222	-119	-8.9	30.5	52
踏切	30	26	17	21	23	15	12	20	13	17	13	-4	-23.5	0.3	43		
その他の場所	16	17	9	12	13	14	19	15	16	33	36	3	9.1	0.9	225		
計	3,500	3,292	2,878	2,605	2,344	2,268	2,215	2,141	1,987	2,004	1,813	-191	-9.5	45.2	52		
合計	交差点	交内 信号機有	1,198	1,096	1,091	942	857	806	796	727	778	674	657	-17	-2.5	16.4	55
		交内 信号機無	1,464	1,367	1,336	1,134	1,068	1,010	946	882	809	776	775	-1	-0.1	19.3	53
		小計	2,662	2,463	2,427	2,076	1,925	1,816	1,742	1,609	1,587	1,450	1,432	-18	-1.2	35.7	54
		交差点付近	574	544	514	494	486	494	533	565	507	534	493	-41	-7.7	12.3	86
	計	3,236	3,007	2,941	2,570	2,411	2,310	2,275	2,174	2,094	1,984	1,925	-59	-3.0	48.0	59	
	単路	カーブ・屈折	1,164	1,094	957	939	740	759	745	689	639	626	592	-34	-5.4	14.8	51
		一般単路	2,531	2,348	2,115	1,950	1,720	1,610	1,588	1,484	1,369	1,433	1,307	-126	-8.8	32.6	52
		トンネル	60	49	50	47	46	29	44	40	25	43	34	-9	-20.9	0.8	57
		橋	73	91	61	58	64	51	57	67	62	59	53	-6	-10.2	1.3	73
		計	3,828	3,582	3,183	2,994	2,570	2,449	2,434	2,280	2,095	2,161	1,986	-175	-8.1	49.5	52
踏切	55	56	46	36	45	37	35	38	45	59	33	-26	-44.1	0.8	60		
その他の場所	29	36	26	25	41	30	39	40	46	74	69	-5	-6.8	1.7	238		
計	7,148	6,681	6,196	5,625	5,067	4,826	4,783	4,532	4,280	4,278	4,013	-265	-6.2	100.0	56		

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。
 注2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。
 注3 「信号機無」には、信号機不動作の場合を含む。
 注4 「踏切」とは、踏切上の事故で当事者が列車でない場合を含む。

◎ 事故類型別・道路形状別は交差点での横断中が最多

原付以上運転者（第1当事者）の死亡事故件数を事故類型別・道路形状別にみると、交差点での横断中（595件）が最も多く、次いで単路での工作物衝突（448件）、交差点での出会い頭（406件）、単路での正面衝突（338件）、単路での横断中（323件）の順に多い。

○ 原付以上運転者（第1当事者）の事故類型別・道路形状別死亡事故件数（平成26年中）

事故類型別	道路形状別					カーブ 屈折	一般 単路	トンネル	橋	単路	踏切	その他 の場所	計		
	信号機有	信号機無	交差点 内	交差点 付近	交差点								構成率		
人 対 車 両	横断中	186	267	453	142	595	31	291	0	1	323	0	4	922	25.3
	(増減数)	8	2	10	-8	2	2	-48	0	-1	-47	0	1	-44	
	その他	14	32	46	70	116	18	223	1	3	245	0	26	387	10.6
	(増減数)	7	7	14	-8	6	-10	17	1	-4	4	-1	2	11	
計	200	299	499	212	711	49	514	1	4	568	0	30	1,309	36.0	
(増減数)	15	9	24	-16	8	-8	-31	1	-5	-43	-1	3	-33		
車 両 相 互	正面衝突	10	6	16	24	40	169	147	11	11	338	0	0	378	10.4
	(増減数)	7	-1	6	-7	-1	-13	-19	-6	1	-37	0	0	-38	
	追突	10	10	20	47	67	21	125	6	6	158	0	0	225	6.2
	(増減数)	7	3	10	-7	3	9	-14	-3	-3	-11	0	-1	-9	
	出会い頭	125	265	390	16	406	4	36	0	0	40	0	1	447	12.3
	(増減数)	16	-7	9	0	9	0	-9	0	0	-9	0	0	0	
	追越時等	4	2	6	8	14	1	20	0	4	25	0	0	39	1.1
	(増減数)	0	0	0	-8	-8	-7	-8	0	4	-11	0	0	-19	
	左折時	38	6	44	3	47	0	4	0	0	4	0	1	52	1.4
	(増減数)	8	-3	5	1	6	-2	-1	0	0	-3	0	1	4	
右折時	132	38	170	7	177	0	16	0	0	16	0	0	193	5.3	
(増減数)	-16	-15	-31	-4	-35	-2	0	0	0	-2	0	0	-37		
その他	8	7	15	20	35	18	48	4	1	71	0	0	106	2.9	
(増減数)	2	-3	-1	1	0	-10	-10	1	0	-19	0	-4	-23		
計	327	334	661	125	786	213	396	21	22	652	0	2	1,440	39.6	
(増減数)	24	-26	-2	-24	-26	-25	-61	-8	2	-92	0	-4	-122		
車 両 単 独	工作物衝突	24	52	76	75	151	225	193	10	20	448	0	7	606	16.7
	(増減数)	-24	14	-10	-7	-17	9	-6	1	6	10	-1	-5	-13	
	駐車車両衝突	0	1	1	2	3	2	22	1	0	25	0	3	31	0.9
	(増減数)	0	1	1	-3	-2	-5	-14	1	-3	-21	0	0	-23	
	路外逸脱	0	8	8	17	25	53	60	0	2	115	0	22	162	4.5
	(増減数)	0	-4	-4	6	2	-9	4	0	-1	-6	0	1	-3	
	転倒	2	3	5	5	10	27	18	1	1	47	0	0	57	1.6
(増減数)	-1	-1	-2	-2	-4	-1	7	-3	-4	-1	0	0	-5		
その他	0	2	2	1	3	7	13	0	0	20	0	2	25	0.7	
(増減数)	-1	0	-1	0	-1	3	-9	0	-1	-7	0	-1	-9		
計	26	66	92	100	192	314	306	12	23	655	0	34	881	24.2	
(増減数)	-26	10	-16	-6	-22	-3	-18	-1	-3	-25	-1	-5	-53		
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9	0.2	
(増減数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-7	0	-7		
合計		553	699	1,252	437	1,689	576	1,216	34	49	1,875	9	66	3,639	100.0
	構成率	15.2	19.2	34.4	12.0	46.4	15.8	33.4	0.9	1.3	51.5	0.2	1.8	100.0	
	増減数	13	-7	6	-46	-40	-36	-110	-8	-6	-160	-9	-6	-215	
	増減率	2.4	-1.0	0.5	-9.5	-2.3	-5.9	-8.3	-19.0	-10.9	-7.9	-50.0	-8.3	-5.6	

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

3 「信号機無」には、信号機不作動の場合を含む。

4 「踏切」とは、踏切上の事故で当事者が列車でない場合を含む。

5 「その他の場所」とは、広場等車道幅員が容易に測定できない道路であって、高速道路等に設けられたサービスエリア等を含む。

(7) 自転車関連死亡事故の状況と特徴

◎ 自転車側の約8割に違反あり

自転車が第1当事者又は第2当事者となった死亡事故（自転車関連死亡事故）件数のうち自転車側の約8割に違反があり、法令違反別にみると、安全不確認（104件、構成率19.2%）が最も多く、次いで運転操作不適（57件、同10.5%）、交差点安全進行義務違反（53件、同9.8%）、一時不停止（49件、同9.0%）の順に多い。

前年と比較すると、違反なし（前年比-34件、-22.2%）、信号無視（同-25件、-43.9%）が特に減少した。

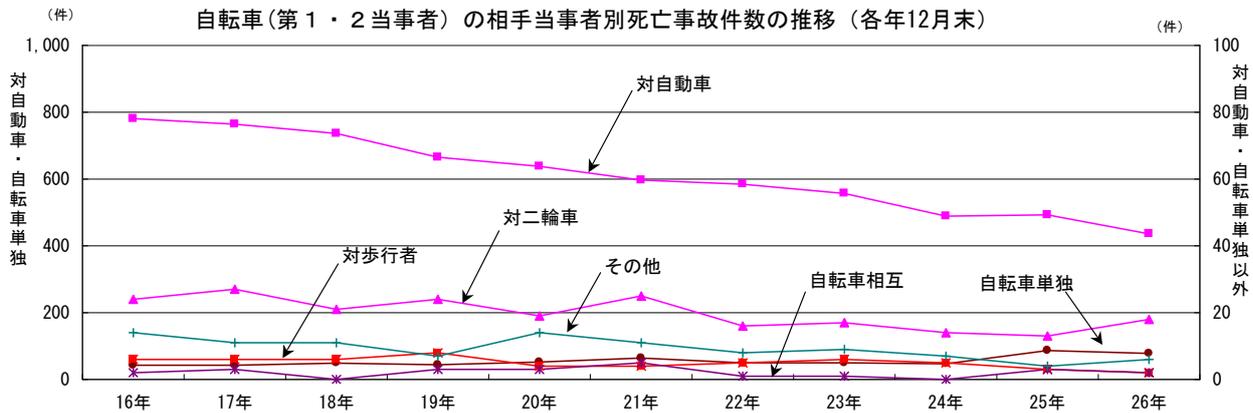
○ 自転車乗用者（第1・2当事者）の法令違反別死亡事故件数（各年12月末）

年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
法令違反別															
信号無視	82	77	95	73	73	73	59	53	50	57	32	-25	-43.9	5.9	39
通行区分	32	36	27	23	26	31	21	30	17	13	14	1	7.7	2.6	44
横断・転回等	21	21	16	19	16	15	26	18	12	20	15	-5	-25.0	2.8	71
優先通行妨害	30	30	35	36	25	24	15	27	18	17	14	-3	-17.6	2.6	47
交差点安全進行	53	49	74	69	50	41	66	56	64	43	53	10	23.3	9.8	100
徐行違反	3	4	8	7	6	3	8	4	5	7	1	-6	-85.7	0.2	33
一時不停止	77	89	72	57	71	62	43	49	54	46	49	3	6.5	9.0	64
自転車通行方法	21	17	12	12	9	12	5	2	9	2	6	4	200.0	1.1	29
安全															
運転操作不適	41	42	41	36	37	50	42	32	30	56	57	1	1.8	10.5	139
前方不注意	8	10	14	16	13	9	9	13	10	12	20	8	66.7	3.7	250
動静不注意	24	15	11	9	12	8	3	9	6	10	8	-2	-20.0	1.5	33
安全不確認	230	207	185	199	184	159	132	146	105	108	104	-4	-3.7	19.2	45
その他	18	6	11	8	12	12	8	11	15	11	12	1	9.1	2.2	67
小計	321	280	262	268	258	238	194	211	166	197	201	4	2.0	37.1	63
その他違反	23	38	29	19	25	27	28	19	19	22	21	-1	-4.5	3.9	91
違反不明	16	12	20	7	11	16	14	13	12	26	17	-9	-34.6	3.1	106
違反なし	191	201	173	161	160	164	186	158	136	153	119	-34	-22.2	22.0	62
合計	870	854	823	751	730	706	665	640	562	603	542	-61	-10.1	100.0	62
【再掲】															
違反あり	679	653	650	590	570	542	479	482	426	450	423	-27	-6.0	78.0	62
構成率	78.0	76.5	79.0	78.6	78.1	76.8	72.0	75.3	75.8	74.6	78.0	-	-	-	-

注1 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。
 2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。
 3 自転車相互の事故は、第1当事者の違反を計上した。

◎ 相手別では8割以上が対自動車、事故類型別では出会い頭衝突が4割以上を占める

自転車関連死亡事故件数を相手当事者別にみると、対自動車（436件、構成率80.4%）が8割以上を占めている。事故類型別では、出会い頭衝突（232件、構成率42.8%）が4割以上を占めている。また、対自動車事故の内訳では、出会い頭衝突（218件、同50.0%）が5割を占めている。



○ 自転車（第1・第2当事者）の相手当事者別死亡事故件数の推移（各年12月末）

相手	年											増減数	増減率	構成率 注5	指数
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年				
自動車	781	764	736	665	638	597	585	557	489	493	436	-57	-11.6	80.4	56
二輪車	24	27	21	24	19	25	16	17	14	13	18	5	38.5	3.3	75
歩行者	6	6	6	8	4	4	5	6	5	3	2	-1	-33.3	0.4	33
自転車相互	2	3	0	3	3	5	1	1	0	3	2	-1	-33.3	0.4	100
自転車単独	43	43	49	44	52	64	50	50	47	87	78	-9	-10.3	14.4	181
その他	14	11	11	7	14	11	8	9	7	4	6	2	50.0	1.1	43
合計	870	854	823	751	730	706	665	640	562	603	542	-61	-10.1	100.0	62
構成率 注4	12.2	12.8	13.3	13.4	14.4	14.6	13.9	14.1	13.1	14.1	13.5	-	-	-	111

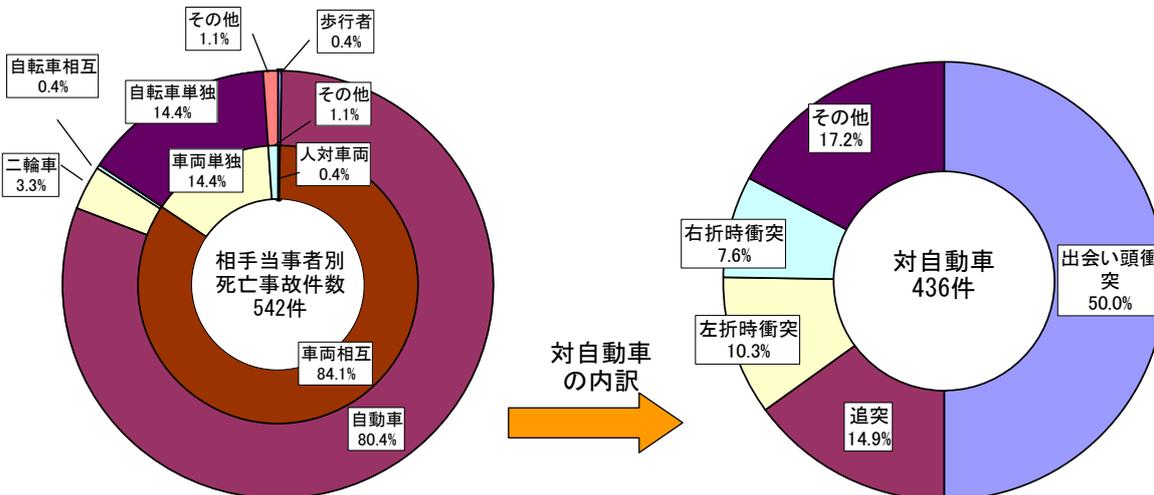
- 注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。
 注2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。
 注3 自転車が第1当事者又は第2当事者となった事故を計上。ただし、自転車相互は1件とした。
 注4 死亡事故全体に占める自転車関連死亡事故の占める割合である。
 注5 自転車関連死亡事故件数に占める割合である。

○ 自転車（第1・第2当事者）の事故類型別死亡事故件数の推移（各年12月末）

事故類型別	年											増減数	増減率	構成率	指数	
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年					
人対車両	対面通行中	3	5	3	4	0	2	4	2	3	1	0	-1	-100.0	0.0	0
	背面通行中	0	0	1	2	0	0	1	1	0	1	0	-1	-100.0	0.0	-
	横断中	1	0	1	2	3	2	0	1	2	1	2	1	100.0	0.4	200
	その他	2	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	-	0.0	0
	計	6	6	6	8	4	4	5	6	5	3	2	-1	-33.3	0.4	33
車両相互	正面衝突	30	34	28	20	22	29	32	17	15	15	10	-5	-33.3	1.8	33
	追突	89	80	52	66	68	63	72	99	55	73	66	-7	-9.6	12.2	74
	出会い頭衝突	425	424	438	395	382	350	322	300	281	259	232	-27	-10.4	42.8	55
	追越・追抜時衝突	23	38	21	24	20	19	15	17	20	21	19	-2	-9.5	3.5	83
	進路変更時衝突	9	8	9	6	8	8	8	3	8	8	8	0	0.0	1.5	89
	すれ違い時衝突	10	10	5	5	6	3	2	7	2	5	5	0	0.0	0.9	50
	左折時衝突	58	58	55	54	38	43	49	43	41	38	45	7	18.4	8.3	78
	右折時衝突	49	60	48	51	50	55	49	39	50	40	33	-7	-17.5	6.1	67
	横断時衝突	69	52	58	46	38	37	31	28	16	38	21	-17	-44.7	3.9	30
	転回時衝突	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	-	0.0	-
	後退時衝突	9	5	8	3	3	4	1	5	1	2	2	0	0.0	0.4	22
	その他	43	31	41	23	29	20	22	25	15	10	18	8	80.0	3.3	42
	計	814	800	763	694	664	631	603	583	505	509	459	-50	-9.8	84.7	56
車両単独	工作物衝突	9	8	9	10	11	10	10	7	9	15	15	0	0.0	2.8	167
	転倒	11	13	14	8	9	19	15	10	10	22	19	-3	-13.6	3.5	173
	その他	23	22	26	26	32	35	25	33	28	49	44	-5	-10.2	8.1	191
計	43	43	49	44	52	64	50	50	47	86	78	-8	-9.3	14.4	181	
列車	7	5	5	5	10	7	7	1	5	5	3	-2	-40.0	0.6	43	
合計	870	854	823	751	730	706	665	640	562	603	542	-61	-10.1	100.0	62	

- 注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。
 注2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。
 注3 自転車が第1当事者又は第2当事者となった事故を計上。ただし、自転車相互は1件とした。

自転車（第1・第2当事者）の相手当事者別・事故類型別死亡事故件数（構成率）（平成26年中）



○ 自転車（第1・2当事者）の対自動車・事故類型別死亡事故件数（平成26年中）

事故類型別	26年	
	件数	構成率
出会い頭衝突	218	50.0
追突	65	14.9
左折時衝突	45	10.3
右折時衝突	33	7.6
その他	75	17.2
合計	436	100.0

6 交通関係法令違反の検挙状況

(1) 道路交通法違反の取締り状況

平成26年中の道路交通法違反の取締り総件数は、970万3,977件（点数告知件数及び放置違反金納付命令件数を含む。）で、前年に比べ77万0,425件（7.4%）減少した。

点数告知については、142万3,168件で、前年に比べ21万9,682件（13.4%）減少した。

駐車違反については、153万0,064件（告知・送致件数と放置違反金納付命令件数の合計）で、前年に比べ17万0,394件（10.0%）減少した。

違反種別	年 別	平成26年中 (12月末)		総計に 対する 構成率	平成25年中 (12月末)		総計に 対する 構成率	前年比較			
		構成率	構成率		構成率	構成率		増減数	増減率		
飲 酒	無 免 許	23,803	0.3	0.2	25,746	0.3	0.2	-1,943	-7.5		
	酒 酔 い	533	0.0	0.0	575	0.0	0.0	-42	-7.3		
	酒 気	0. 2 5 以上	17,413	0.2	0.2	17,759	0.2	0.2	-346	-1.9	
		0. 2 5 未 満	9,176	0.1	0.1	10,535	0.1	0.1	-1,359	-12.9	
	帯 び	計	26,589	0.4	0.3	28,294	0.4	0.3	-1,705	-6.0	
		小 計	27,122	0.4	0.3	28,869	0.4	0.3	-1,747	-6.1	
	動 車	最 高 速 度 違 反	18,559	0.3	0.2	21,834	0.3	0.2	-3,275	-15.0	
		速 度 5 0 未 満	246,140	3.5	2.5	269,544	3.6	2.6	-23,404	-8.7	
		速 度 3 0 未 満	336,518	4.8	3.5	365,703	4.9	3.5	-29,185	-8.0	
		速 度 2 5 未 満	687,696	9.8	7.1	743,687	10.0	7.1	-55,991	-7.5	
		速 度 2 0 未 満	546,999	7.8	5.6	651,936	8.8	6.2	-104,937	-16.1	
		速 度 1 5 未 満	18	0.0	0.0	15	0.0	0.0	+3	+20.0	
		小 計	1,835,930	26.1	18.9	2,052,719	27.6	19.6	-216,789	-10.6	
	的 違 反	信 号 無 視	712,333	10.1	7.3	721,898	9.7	6.9	-9,565	-1.3	
		歩 行 者 妨 害	94,433	1.3	1.0	79,025	1.1	0.8	+15,408	+19.5	
		一 時 不 停 止	1,231,190	17.5	12.7	1,214,738	16.3	11.6	+16,452	+1.4	
		過 労 運 転 等	167	0.0	0.0	84	0.0	0.0	+83	+98.8	
		積 載 違 反	積 載 1 0 割 以 上	623	0.0	0.0	738	0.0	0.0	-115	-15.6
			積 載 1 0 割 未 満	1,382	0.0	0.0	1,640	0.0	0.0	-258	-15.7
			積 載 5 割 未 満 (過 積 載 の 小 計)	1,094	0.0	0.0	1,228	0.0	0.0	-134	-10.9
積 載 方 法 等			8,899	0.1	0.1	9,849	0.1	0.1	-950	-9.6	
小 計		11,998	0.2	0.1	13,455	0.2	0.1	-1,457	-10.8		
通 行 禁 止		760,135	10.8	7.8	785,250	10.6	7.5	-25,115	-3.2		
追 越 し ・ 通 行 区 分	255,572	3.6	2.6	268,049	3.6	2.6	-12,477	-4.7			
徐 行	1,118	0.0	0.0	1,439	0.0	0.0	-321	-22.3			
整 備 不 良 車 運 転	36,731	0.5	0.4	42,582	0.6	0.4	-5,851	-13.7			
消 音 器 不 備	2,889	0.0	0.0	2,852	0.0	0.0	+37	+1.3			
踏 切 不 停 止 等	97,145	1.4	1.0	105,975	1.4	1.0	-8,830	-8.3			
携 帯 電 話 使 用 等	携 帯 電 話 使 用 等	1,096,222	15.6	11.3	1,163,453	15.6	11.1	-67,231	-5.8		
	危 険 違 反	163	0.0	0.0	182	0.0	0.0	-19	-10.4		
	使 用 違 反	1,096,059	15.6	11.3	1,163,271	15.6	11.1	-67,212	-5.8		
右 左 折 方 法	56,445	0.8	0.6	60,662	0.8	0.6	-4,217	-7.0			
騒 音 運 転 等	241	0.0	0.0	301	0.0	0.0	-60	-19.9			
そ の 他	436,678	6.2	4.5	486,378	6.5	4.6	-49,700	-10.2			
計	6,680,152	95.0	68.8	7,053,475	94.8	67.3	-373,323	-5.3			
そ の 他	駐 停 車 禁 止 場 所 等 違 反	39,081	0.6	0.4	41,232	0.6	0.4	-2,151	-5.2		
	う ち 放 置 駐 車 違 反	34,482	0.5	0.4	35,855	0.5	0.3	-1,373	-3.8		
	駐 車 禁 止 場 所 等 違 反	245,066	3.5	2.5	269,798	3.6	2.6	-24,732	-9.2		
	う ち 放 置 駐 車 違 反	226,701	3.2	2.3	250,393	3.4	2.4	-23,692	-9.5		
	小 計	284,147	4.0	2.9	311,030	4.2	3.0	-26,883	-8.6		
免 許 証 不 携 帯 違 反	70,593	1.0	0.7	77,619	1.0	0.7	-7,026	-9.1			
計	354,740	5.0	3.7	388,649	5.2	3.7	-33,909	-8.7			
合 計	7,034,892	100.0	72.5	7,442,124	100.0	71.1	-407,232	-5.5			

2 行政処分の基礎点数告知件数

ベ ル ト 装 着 義 務	1,274,054	89.5	13.1	1,486,723	90.5	14.2	-212,669	-14.3	
ヘル 着 用 義 務	自 動 二 輪 車	2,652	0.2	0.0	3,176	0.2	0.0	-524	-16.5
	原 付 車	16,665	1.2	0.2	19,859	1.2	0.2	-3,194	-16.1
小 計	19,317	1.4	0.2	23,035	1.4	0.2	-3,718	-16.1	
幼 児 補 助 装 置 使 用 義 務	129,797	9.1	1.3	133,092	8.1	1.3	-3,295	-2.5	
合 計	1,423,168	100.0	14.7	1,642,850	100.0	15.7	-219,682	-13.4	

3 放置違反金納付命令件数

放 置 違 反 金 納 付 命 令 件 数	1,245,917		12.8	1,389,428		13.3	-143,511	-10.3
-----------------------	-----------	--	------	-----------	--	------	----------	-------

4 総計（1+2+3）

総 計	9,703,977		100.0	10,474,402		100.0	-770,425	-7.4
-----	-----------	--	-------	------------	--	-------	----------	------

注：1 この統計は、電算資料による。（なお、無車検、無保険等は除く）

2 構成率は、違反種別欄ごとに小数点以下第2位を四捨五入したものであり、小計、計及び合計の構成率は、違反種別の構成率の和と一致しない場合がある。

(2) 危険運転致死傷罪等の適用件数

平成26年中の危険運転致死傷罪の適用件数は491件（法第2条、第3条及び第6条第1項・第2項の合計）、過失運転致死傷アルコール等影響発覚免脱罪の適用件数は72件（法第4条及び第6条第3項の合計）であった。

危険運転致死傷罪等の適用件数の推移(平成22年～26年)

種別\年別		平成22年			平成23年			平成24年			平成25年			平成26年														
		致傷	致死	小計	致傷	致死	小計																					
自動車運転死傷処罰法	アルコールの影響	99	6	105	96	10	106	89	10	99	77	10	87	87 (1)	4	91 (1)												
	薬物の影響	19	0	19	22	0	22	40	3	43	53	1	54	53 (2)	5	58 (2)												
	高速度	18	13	31	19	8	27	19	11	30	17	9	26	13 (2)	9	22 (2)												
	無技能	5	0	5	3	0	3	1	0	1	0	0	0	1	0	1												
	妨害目的	5	1	6	15	1	16	12	1	13	11	2	13	10	1	11												
	殊更信号無視	159	8	167	147	12	159	172	11	183	157	6	163	164 (15)	6	170 (15)												
	通行禁止道路進行													9 (1)	1	10 (1)												
	合計	305	28	333	302	31	333	333	36	369	315	28	343	337 (21)	26	363 (21)												
法第2条	アルコールの影響	/												94 (3)	9 (1)	103 (4)												
	薬物の影響													11	1	12												
	一定の病気の影響													13 (2)	0	13 (2)												
	合計													118 (5)	10 (1)	128 (6)												
小計 (危険運転致死傷罪)																										455 (26)	36 (1)	491 (27)
法第4条	過失運転致死傷アルコール等影響発覚免脱罪																									67 (7)	5	72 (7)
総計																										522 (33)	41 (1)	563 (34)

注1: 件数はいずれも送致数のほか、所要の捜査によって罪名変更を行ったものも含む。

注2: 危険運転致死傷罪(「通行禁止道路進行」を除く。)は、平成26年5月19日までは従前の刑法208条の2に規定されている。

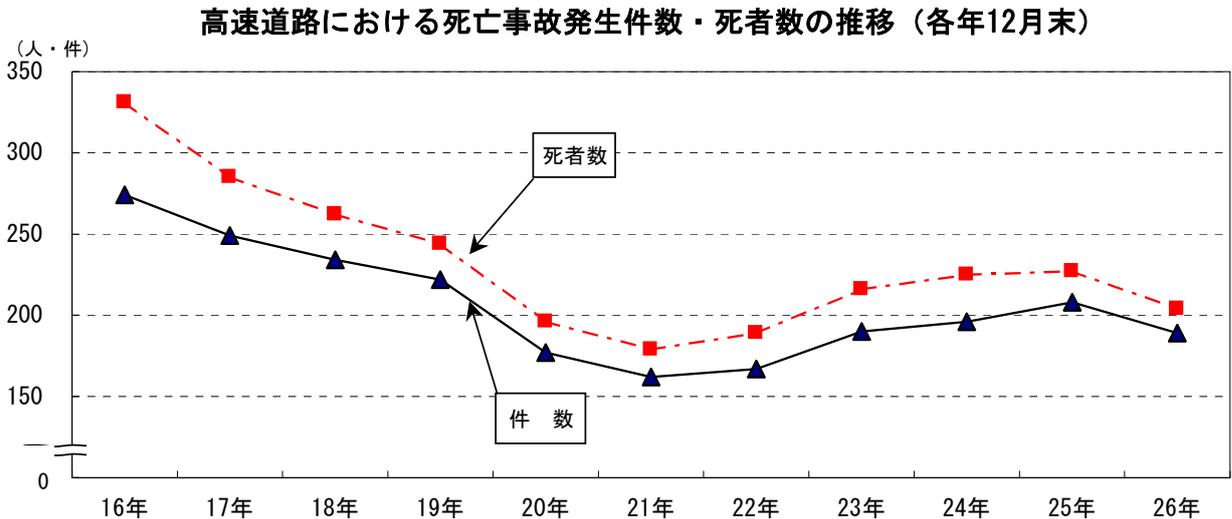
注3: 自動車運転死傷処罰法第2条の「通行禁止道路進行」、第3条、第4条及び第6条の適用件数は、施行日である平成26年5月20日以降のものである

注4: ()は、法第6条の無免許加重の件数で、内数である。

7 高速道路における死亡事故発生状況

(1) 交通死亡事故の発生状況

高速道路における死亡事故は、前年と比較すると件数（前年比-19件、-9.1%）、死者数（同-23人、-10.1%）のいずれも5年ぶりに減少した。



○ 高速道路における死亡事故件数・死者数の推移（各年12月末）

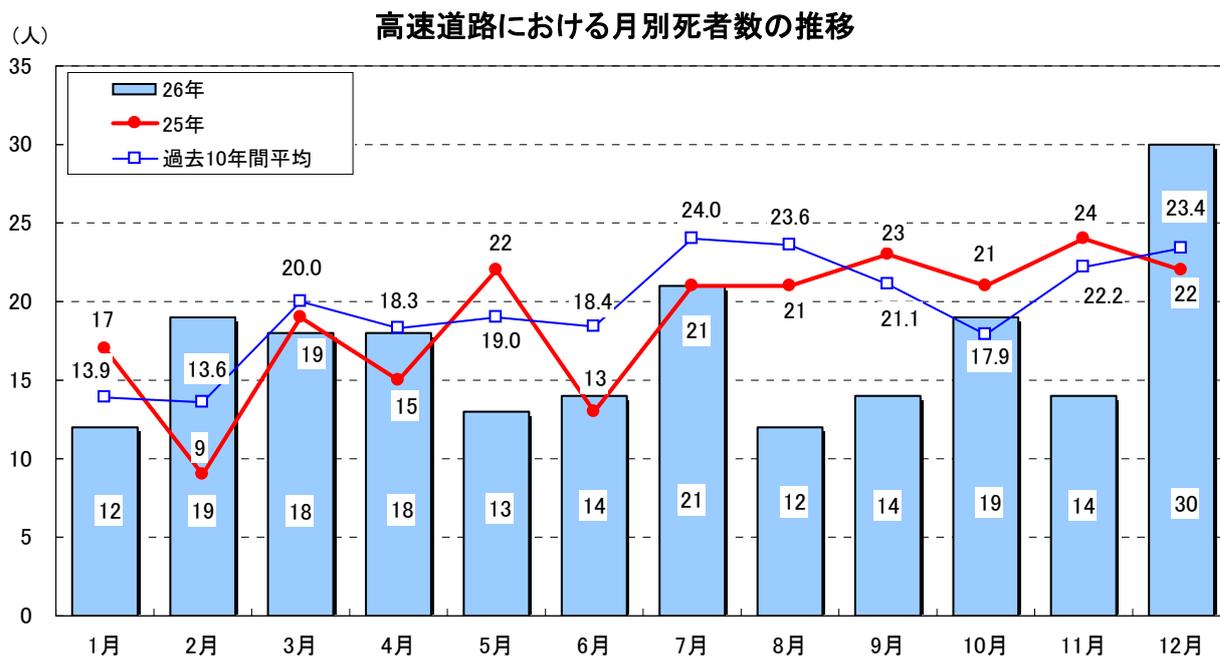
		16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数 増減率 指数		
		増減数	増減率	指数											
高 速 国 道	件 数	206	190	167	151	129	115	127	140	155	152	139	-13	-8.6	67
	死者数	258	218	186	166	136	127	147	159	179	162	149	-13	-8.0	58
指 定 自 専 道	件 数	68	59	67	71	48	47	40	50	41	56	50	-6	-10.7	74
	死者数	73	67	76	78	60	52	42	57	46	65	55	-10	-15.4	75
合 計	件 数	274	249	234	222	177	162	167	190	196	208	189	-19	-9.1	69
	死者数	331	285	262	244	196	179	189	216	225	227	204	-23	-10.1	62

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

注2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

(2) 月別死者数の推移

月別死者数は、前年同月比で、5月、8月、9月、11月が特に減少した。



○ 高速道路における月別死者数の推移

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半期計	年間合計
平成16年	24	22	34	19	34	24	157	31	32	28	29	31	23	174	331
17年	13	8	25	29	22	19	116	26	29	35	17	23	39	169	285
18年	10	17	23	25	21	20	116	30	29	21	21	24	21	146	262
19年	24	18	13	14	16	24	109	18	32	19	18	22	26	135	244
20年	5	7	22	20	16	17	87	20	19	14	17	17	22	109	196
21年	10	11	11	12	14	22	80	11	19	19	12	17	21	99	179
22年	11	12	14	8	17	15	77	32	21	18	9	15	17	112	189
23年	10	12	14	17	18	16	87	23	13	17	17	26	33	129	216
24年	15	20	25	24	10	14	108	28	21	17	18	23	10	117	225
25年	17	9	19	15	22	13	95	21	21	23	21	24	22	132	227
26年	12	19	18	18	13	14	94	21	12	14	19	14	30	110	204
増減数	-5	10	-1	3	-9	1	-1	0	-9	-9	-2	-10	8	-22	-23
増減率	-29.4	111.1	-5.3	20.0	-40.9	7.7	-1.1	0.0	-42.9	-39.1	-9.5	-41.7	36.4	-16.7	-10.1
過去10年平均 (16~25年)	13.9	13.6	20.0	18.3	19.0	18.4	103.2	24.0	23.6	21.1	17.9	22.2	23.4	132.2	235.4

注 増減数(率)は、平成25年と比較した値である。

(3) 路線別死亡事故発生状況

○ 高速道路における死亡事故が多い路線（括弧内は前年比の増減数及び増減率）（平成26年中）

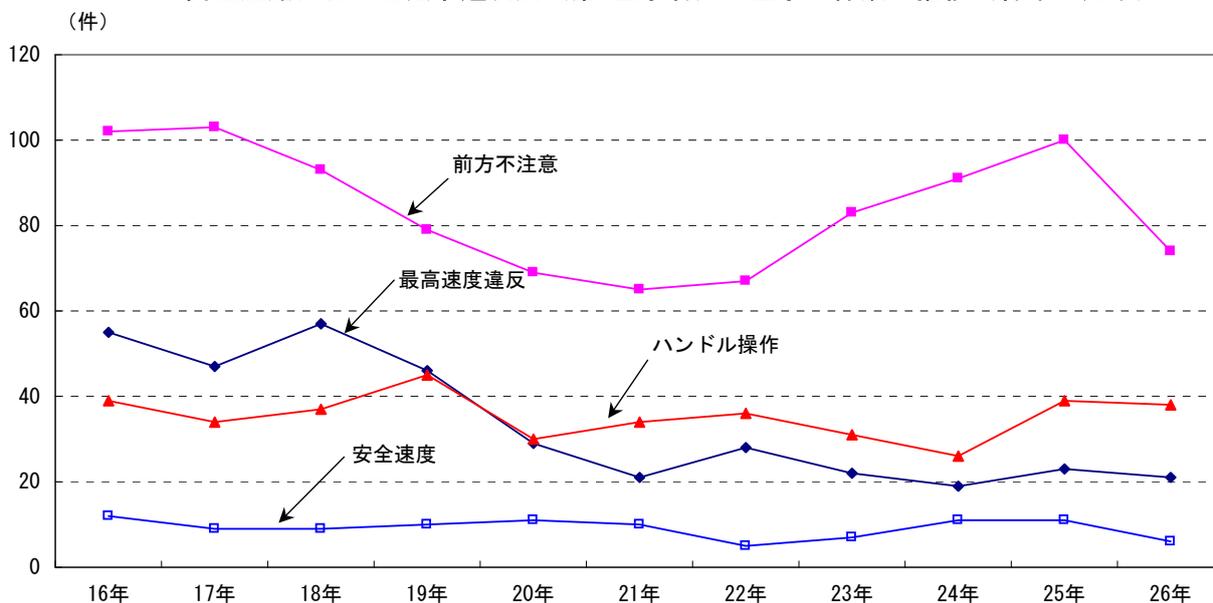
東北縦貫道	……	19件(+8件、+72.7%)
山陽道	……	13件(+1件、+8.3%)
首都高速道路	……	13件(+4件、+44.4%)
中央道	……	11件(-4件、-26.7%)
東名高速道路	……	9件(+2件、+28.6%)
関越道(新潟線)	……	7件(±0件、±0.0%)
北陸道	……	7件(±0件、±0.0%)
中国縦貫道	……	6件(-1件、-14.3%)
九州横断道(長崎・大分線)	……	6件(+1件、+20.0%)
名神高速道路	……	5件(-1件、-16.7%)
新東名高速道路	……	5件(±0件、±0.0%)
阪神高速道路	……	5件(+1件、+25.0%)

(4) 法令違反別（第1当事者）死亡事故発生状況

法令違反別死亡事故件数は、前方不注意が74件（構成率39.2%）と最も多く、次いでハンドル操作不適38件（同20.1%）、最高速度違反21件（同11.1%）の順となっている。

前年と比較すると、前方不注意（前年比-26件、-26.0%）が最も減少した。

高速道路における法令違反別（第1当事者）死亡事故件数の推移（各年12月末）



○ 高速道路における法令違反別（第1当事者）死亡事故件数の推移（各年12月末）

違反	年												増減数	増減率	構成率	指数		
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年							
最高速度	55	47	57	46	29	21	28	22	19	23	21	-2	-8.7	11.1	38			
酒酔い	2	3	1	1	0	1	1	0	1	1	2	1	100.0	1.1	100			
進路変更	0	2	2	1	0	1	0	0	1	0	1	1	-	0.5	-			
過労運転等	4	6	2	3	3	1	1	2	4	3	1	-2	-66.7	0.5	25			
安全運転義務	運転操作不適	ハンドル操作		39	34	37	45	30	34	36	31	26	39	38	-1	-2.6	20.1	97
		ブレーキ操作		5	3	3	2	1	0	2	2	1	1	2	1	100.0	1.1	40
		前方不注意		102	103	93	79	69	65	67	83	91	100	74	-26	-26.0	39.2	73
		動静不注視		2	5	1	2	3	1	3	6	7	5	4	-1	-20.0	2.1	200
		安全不確認		12	7	8	9	9	8	7	11	6	6	14	8	133.3	7.4	117
	安全速度		12	9	9	10	11	10	5	7	11	11	6	-5	-45.5	3.2	50	
その他	41	30	21	24	22	20	17	26	29	19	26	7	36.8	13.8	63			
合計	274	249	234	222	177	162	167	190	196	208	189	-19	-9.1	100.0	69			

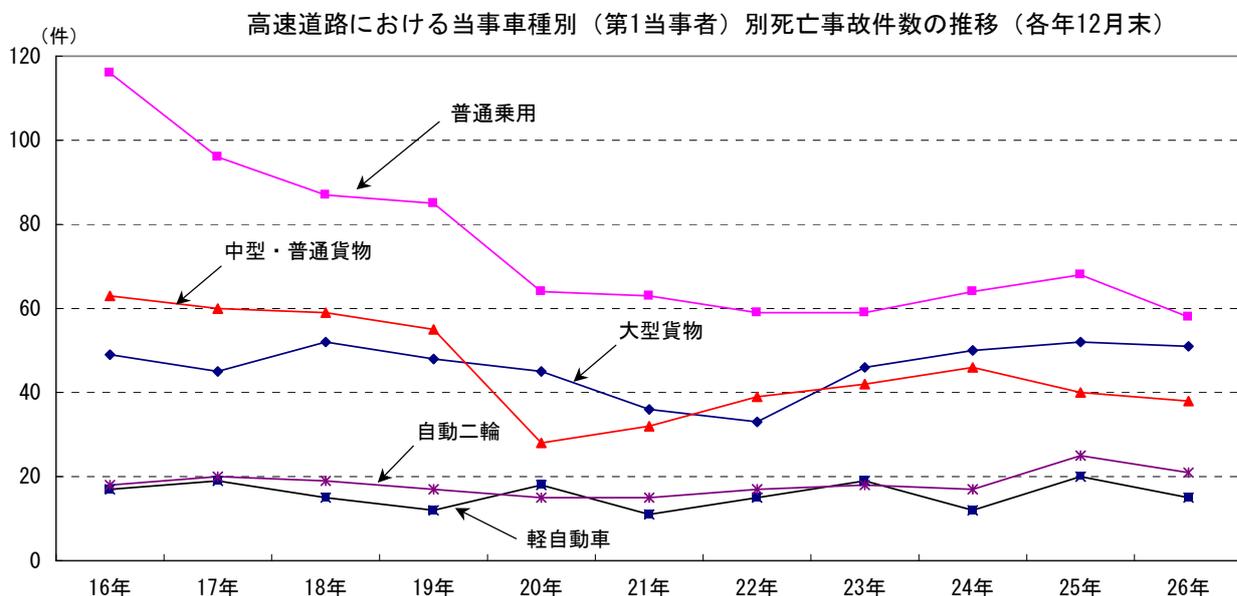
注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

(5) 当事者種別（第1当事者）別死亡事故発生状況

当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数は、普通乗用車が58件（構成率30.7%）と最も多く、次いで大型貨物車が51件（同27.0%）の順となっている。

前年と比較すると、普通乗用車（前年比-10件、-14.7%）が最も減少した。



○ 高速道路における当事者種別（第1当事者）別死亡事故件数の推移（各年12月末）

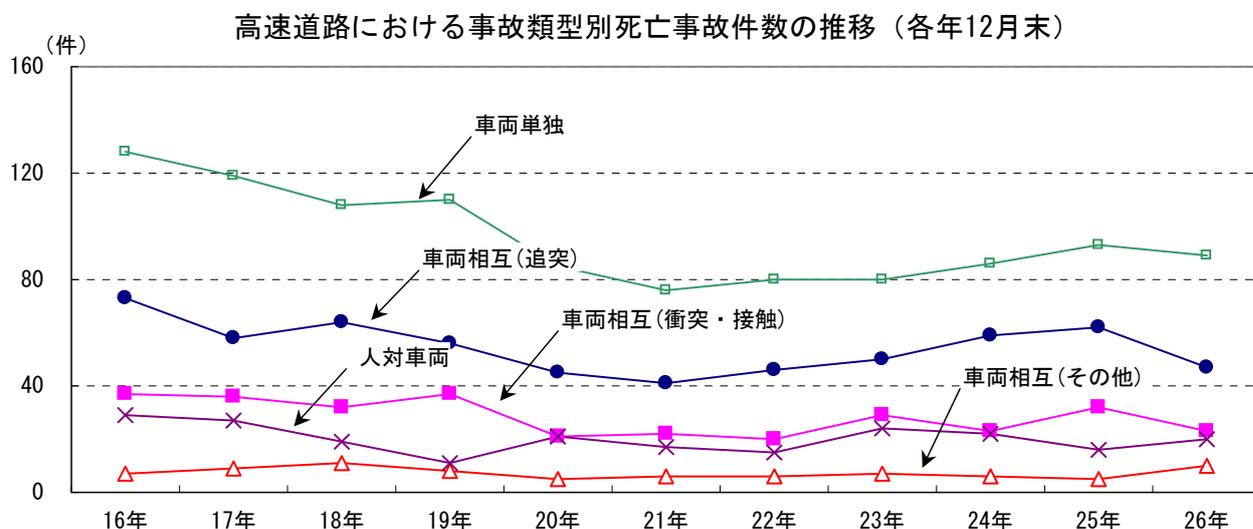
当事者	年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
大 型 貨 物		49	45	52	48	45	36	33	46	50	52	51	-1	-1.9	27.0	104
バス・マイクロ		2	4	0	3	1	1	3	2	3	1	2	1	100.0	1.1	100
普 通 乗 用		116	96	87	85	64	63	59	59	64	68	58	-10	-14.7	30.7	50
中 型 貨 物		63	60	59	55	16	18	23	25	35	26	23	-3	-11.5	12.2	60
普 通 貨 物						12	14	16	17	11	14	15	1	7.1	7.9	
軽 自 動 車		17	19	15	12	18	11	15	19	12	20	15	-5	-25.0	7.9	88
自 動 二 輪		18	20	19	17	15	15	17	18	17	25	21	-4	-16.0	11.1	117
そ の 他		9	5	2	2	6	4	1	4	4	2	4	2	100.0	2.1	44
合 計		274	249	234	222	177	162	167	190	196	208	189	-19	-9.1	100.0	69

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

注2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

(6) 事故類型別死亡事故発生状況

事故類型別死亡事故件数は、車両単独が89件（構成率47.1%）と最も多く、次いで車両相互80件（同42.3%）となっている。車両相互の中では追突が47件（同24.9%）と最も多い。



○ 高速道路における事故類型別死亡事故件数の推移（各年12月末）

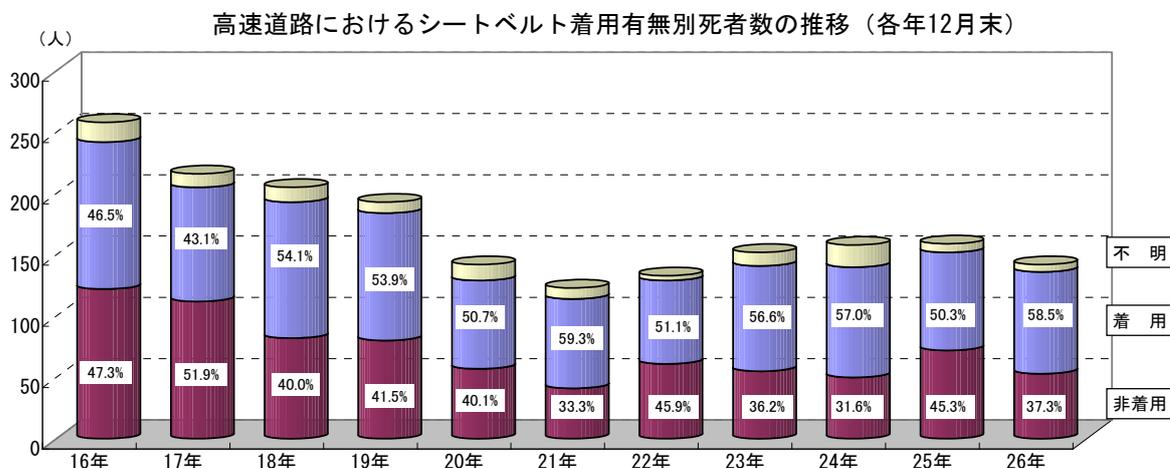
事故類型	区分	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	増減数	増減率	構成率	指数
車両相互	追突	73	58	64	56	45	41	46	50	59	62	47	-15	-24.2	24.9	64
	衝突・接触	37	36	32	37	21	22	20	29	23	32	23	-9	-28.1	12.2	62
	その他	7	9	11	8	5	6	6	7	6	5	10	5	100.0	5.3	143
	小計	117	103	107	101	71	69	72	86	88	99	80	-19	-19.2	42.3	68
車両単独	128	119	108	110	85	76	80	80	86	93	89	-4	-4.3	47.1	70	
人対車両	29	27	19	11	21	17	15	24	22	16	20	4	25.0	10.6	69	
合計	274	249	234	222	177	162	167	190	196	208	189	-19	-9.1	100.0	69	

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

(7) シートベルト着用有無別死者数

シートベルト着用有無別の死者数は、前年と比較すると、非着用死者（前年比-19人、-26.4%）が大きく減少し、特に後部座席等における非着用死者（同-10人、-31.3%）は減少幅が最も大きい。



○ 高速道路におけるシートベルト着用有無別死者数の推移（各年12月末）

着用有無・座席	年											増減数	増減率	構成率	指数
	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年				
シートベルト着用	81	77	89	85	54	57	55	63	62	62	64	2	3.2	45.1	79
運転席	25	13	19	17	14	11	8	14	12	9	12	3	33.3	8.5	48
後部座席等	14	3	3	2	4	5	5	9	16	9	7	-2	-22.2	4.9	50
計	120	93	111	104	72	73	68	86	90	80	83	3	3.8	58.5	69
シートベルト非着用	60	54	47	48	37	22	33	30	30	33	29	-4	-12.1	20.4	48
運転席	13	17	10	8	5	5	6	2	5	7	2	-5	-71.4	1.4	15
後部座席等	49	41	25	24	15	14	22	23	15	32	22	-10	-31.3	15.5	45
計	122	112	82	80	57	41	61	55	50	72	53	-19	-26.4	37.3	43
不明	16	11	12	9	13	9	4	11	18	7	6	-1	-14.3	4.2	38
合計	258	216	205	193	142	123	133	152	158	159	142	-17	-10.7	100.0	55
非着用死者の構成率	47.3	51.9	40.0	41.5	40.1	33.3	45.9	36.2	31.6	45.3	37.3	-	-	-	79
シートベルト着用者率	83.3	84.9	85.0	84.3	90.0	93.8	93.7	93.4	94.4	94.4	93.1	-	-	-	112
運転席	96.7	96.9	97.3	97.3	97.5	97.9	97.8	97.6	98.0	98.0	98.1	-	-	-	101
助手席	93.6	94.4	94.6	95.3	95.9	97.2	97.3	96.6	97.9	97.6	98.0	-	-	-	105
後部座席	26.3	31.9	32.5	32.6	59.2	78.3	78.0	77.7	82.4	79.1	74.3	-	-	-	283

注1 増減数（率）は、平成25年と比較した値である。

注2 指数は、平成16年を100とした場合の平成26年の値である。

注3 シートベルト着用者率＝シートベルト着用死傷者数（自動車乗車中）÷死傷者数（自動車乗車中）×100

注4 死者数の後部座席等には、バスの座席に着席又は、バスの車内に立っている場合を含む。

8 高速道路における道路交通法違反の取締り状況

違反種別	平成26年		総計に対する 構成率	平成25年		総計に対する 構成率	前年比	
	構成率	構成率		構成率	構成率		増減数	増減率
無免許・無資格	818	0.1	0.1	883	0.1	0.1	-65	-7.4%
酒酔い・酒気帯び	299	0.1	0.0	382	0.1	0.0	-83	-21.7%
過労運転	10	0.0	0.0	3	0.0	0.0	7	233.3%
速度違反	40キロ以上	28,300	4.8	33,350	5.3	4.1	-5,050	-15.1%
	40キロ未満	368,605	63.0	394,143	63.0	48.7	-25,538	-6.5%
車間距離不保持	9,033	1.5	1.2	11,973	1.9	1.5	-2,940	-24.6%
過積載	1,088	0.2	0.1	1,260	0.2	0.2	-172	-13.7%
駐停車違反	133	0.0	0.0	139	0.0	0.0	-6	-4.3%
通行区分違反	1,046	0.2	0.1	1,726	0.3	0.2	-680	-39.4%
通行帯違反	82,459	14.1	10.7	85,299	13.6	10.5	-2,840	-3.3%
携帯電話使用等	60,969	10.4	7.9	60,733	9.7	7.5	236	0.4%
高速遵守事項違反 燃料措置	426	0.1	0.1	411	0.1	0.1	15	3.6%
高速遵守事項違反 転落措置	547	0.1	0.1	586	0.1	0.1	-39	-6.7%
故障表示	4,085	0.7	0.5	4,908	0.8	0.6	-823	-16.8%
その他	27,655	4.7	3.6	29,485	4.7	3.6	-1,830	-6.2%
合計	585,473	100.0	76.2	625,281	100.0	77.2	-39,808	-6.4%
シートベルト装着義務	176,253		22.9	176,988		21.9	-735	-0.4%
チャイルドシート装着	6,998		0.9	7,343		0.9	-345	-4.7%
総計	768,724		100.0	809,612		100.0	-40,888	-5.1%

注：1 この統計は、警察庁情報処理センター資料による。
2 構成率は、違反種別欄ごとに小数点以下第2位を四捨五入したものである。

9 車両及び運転免許に関する状況

(1) 車両

ア 自動車走行キロ

(各年度3月末)

○ 自動車走行キロの推移

(千km)

区分 年度	合計		バス		乗用車		貨物車		軽自動車			
		指数		指数		指数		指数	乗用車	指数	貨物車	指数
昭和 47 年度	259,593,276	33	5,666,980	85	146,272,038	33	107,654,258	59
48	276,194,188	35	5,473,747	82	164,010,339	37	106,710,102	58
49	266,484,708	34	5,318,404	80	161,009,634	37	100,156,670	55
50	286,345,148	36	5,450,669	82	176,035,354	40	104,859,125	57
51	309,698,312	39	5,469,302	82	186,082,581	42	118,146,429	64
52	342,325,568	43	5,722,647	86	205,366,844	47	131,236,077	72
53	361,261,270	46	5,896,439	89	220,362,502	50	135,002,329	74
54	381,951,189	48	5,959,711	89	235,007,020	54	140,984,458	77
55	389,051,711	49	6,045,821	91	241,459,291	55	141,546,599	77
56	394,657,738	50	6,091,312	91	247,156,485	56	141,409,941	77
57	403,100,946	51	6,076,693	91	255,967,631	58	141,056,622	77
58	408,928,139	52	6,163,876	93	259,744,111	59	143,020,152	78
59	415,742,593	52	6,313,337	95	265,095,892	60	144,333,364	79
60	428,441,720	54	6,351,738	95	275,556,532	63	146,533,450	80
61	441,612,821	56	6,454,743	97	285,293,934	65	149,864,144	82
62	548,834,533	69	6,626,287	99	295,083,745	67	156,147,759	85	12,978,087	14	77,998,655	106
63	575,585,221	73	6,736,993	101	308,629,245	70	162,922,548	89	12,866,965	14	84,429,470	115
平成 元 年度	600,216,914	76	6,961,804	105	328,375,855	75	165,849,122	90	12,997,772	14	86,032,361	117
2	628,581,034	79	7,111,973	107	350,316,534	80	170,535,985	93	15,280,783	17	85,335,759	116
3	657,305,386	83	7,185,231	108	366,288,675	83	177,635,617	97	20,726,145	23	85,469,718	116
4	678,211,408	85	7,068,182	106	380,102,242	87	179,104,668	98	25,627,236	28	86,309,080	117
5	683,753,202	86	6,933,858	104	383,356,180	87	178,210,267	97	29,673,538	33	85,579,359	116
6	694,336,083	88	6,806,980	102	391,598,967	89	177,725,843	97	33,946,379	37	84,257,914	114
7	720,283,281	91	6,767,953	102	407,001,030	93	182,594,034	100	39,386,280	43	84,533,984	115
8	737,763,166	93	6,706,027	101	418,980,169	95	184,496,400	101	45,143,031	50	82,437,539	112
9	744,379,458	94	6,641,053	100	425,987,921	97	182,470,151	100	49,610,868	55	79,669,465	108
10	746,054,332	94	6,520,152	98	427,689,092	97	179,741,538	98	54,861,720	60	77,241,830	105
11	765,056,264	96	6,600,779	99	438,550,491	100	181,134,933	99	62,981,556	69	75,788,505	103
12	775,723,401	98	6,619,057	99	438,203,900	100	185,932,105	101	70,054,549	77	74,913,790	102
13	790,820,473	100	6,762,378	102	448,844,505	102	184,211,444	100	77,577,185	85	73,424,961	100
14	790,828,748	100	6,652,731	100	445,133,997	101	182,608,651	100	84,073,623	92	72,359,746	98
15	793,378,171	100	6,661,535	100	438,730,041	100	183,377,193	100	90,986,479	100	73,622,923	100
16	781,711,422	99	6,665,325	100	429,260,043	98	174,410,681	95	97,058,459	107	74,316,914	101
17	768,878,611	97	6,650,213	100	417,536,546	95	168,302,258	92	102,600,945	113	73,788,649	100
18	762,613,241	96	6,655,014	100	405,388,369	92	168,439,999	92	108,720,688	119	73,409,171	100
19	763,628,848	96	6,726,651	101	398,579,070	91	168,499,873	92	116,441,649	128	73,381,605	100
20	746,869,380	94	6,567,880	99	382,499,327	87	163,163,119	89	121,326,604	133	73,312,450	100
21	746,008,093	94	6,549,406	98	382,739,745	87	155,751,713	85	128,585,283	141	72,381,946	98
22	726,256,358	92	6,422,412	96	372,889,388	85	141,351,865	77	132,549,528	146	73,043,165	99
23	709,835,524	89	6,146,779	92	366,888,870	84	126,043,713	69	137,626,435	151	73,129,727	99
24	731,942,838	93	6,189,153	93	377,627,409	85	120,136,582	66	151,305,257	180	76,684,438	106
25	746,176,927	94	6,057,948	91	379,285,303	86	116,134,968	63	164,130,222	180	80,568,486	109

注1 国土交通省統計資料「自動車輸送統計年報」による。ただし、平成22年以降の数値は「自動車輸送統計月報」による。

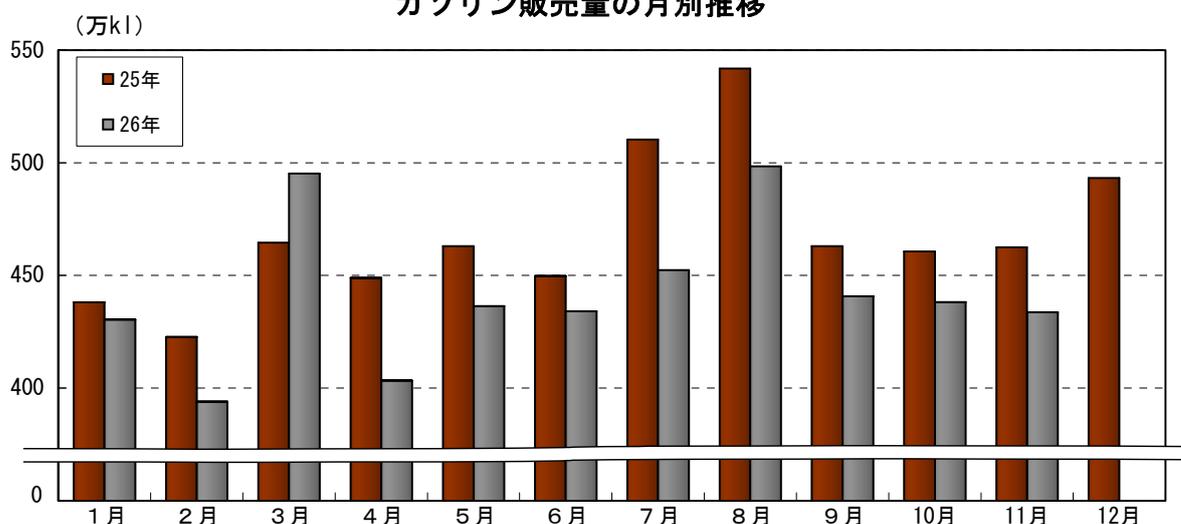
2 6年度の数値については、平成7年1月～3月の兵庫県の数値を含まない。

3 軽自動車については、乗用車及び貨物車の外数であり、62年度分から計上している。

4 指数は、平成15年度を100とした値である。

イ 燃料消費量

ガソリン販売量の月別推移



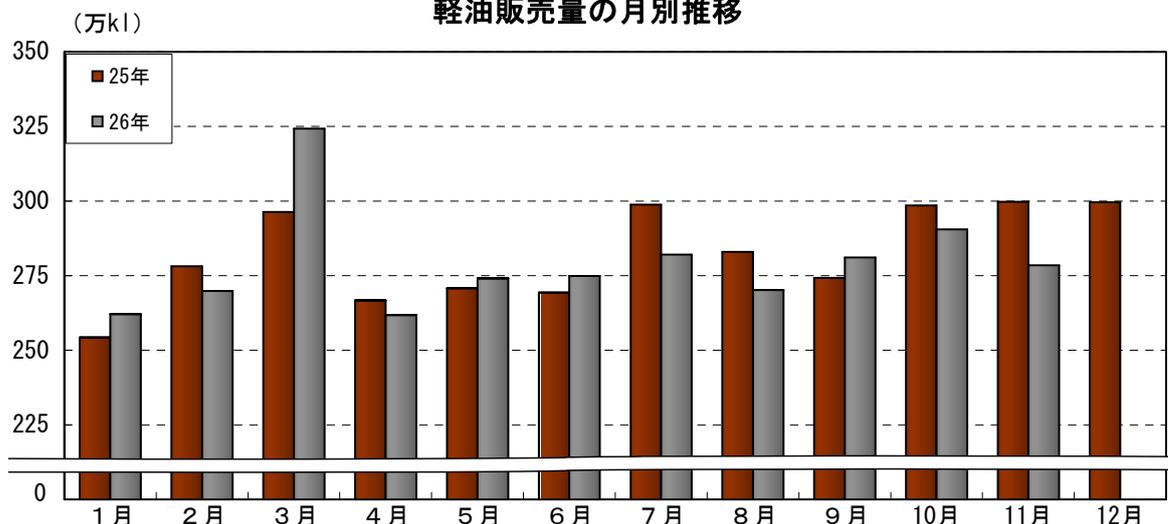
○ ガソリン販売量の月別推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	11月末計	年間
25年	438.1	422.7	464.5	448.9	463.1	449.8	510.3	541.9	463.0	460.6	462.5	493.3	5,125.4	5,618.7
26年	430.4	394.1	495.2	403.4	436.3	434.0	452.4	498.5	440.8	438.1	433.7	-	4,856.8	-
同月比	98	93	107	90	94	96	89	92	95	95	94	-	94.8	-

注1 経済産業省統計資料「石油統計」による。

2 同月比は、平成25年を100とした場合の平成26年の値である。

軽油販売量の月別推移



○ 軽油販売量の月別推移

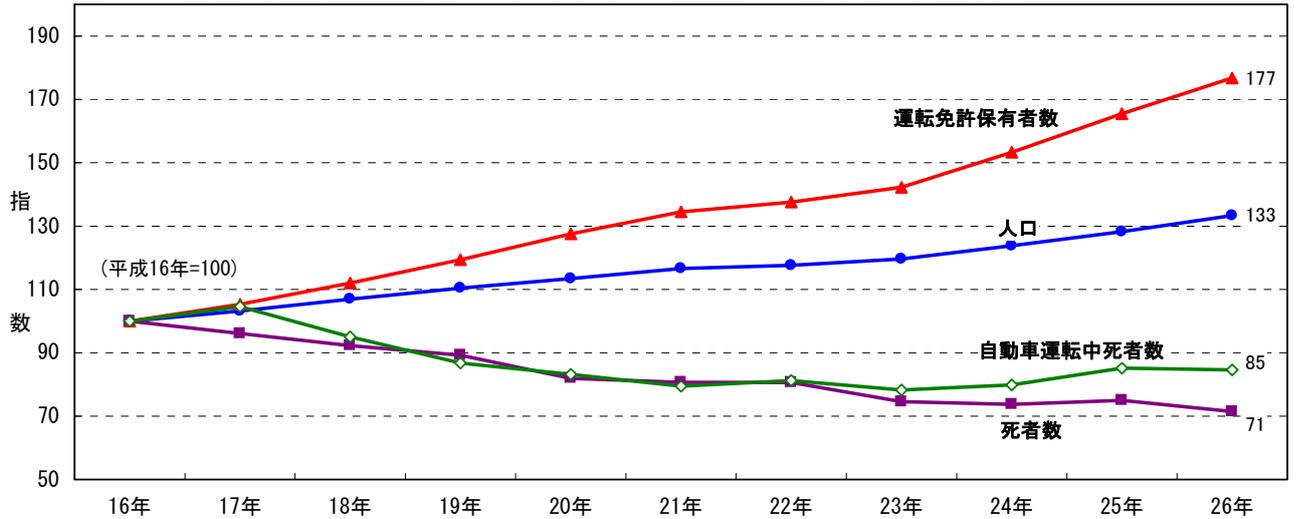
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	11月末計	年間
25年	254.3	278.1	296.4	266.7	270.8	269.4	298.8	283.0	274.3	298.5	299.7	299.6	3,090.0	3,389.6
26年	262.1	269.9	324.2	261.8	274.1	274.9	282.0	270.3	281.1	290.5	278.5	-	3,069.4	-
同月比	103	97	109	98	101	102	94	95	102	97	93	-	99.3	-

注1 経済産業省統計資料「石油統計」による。

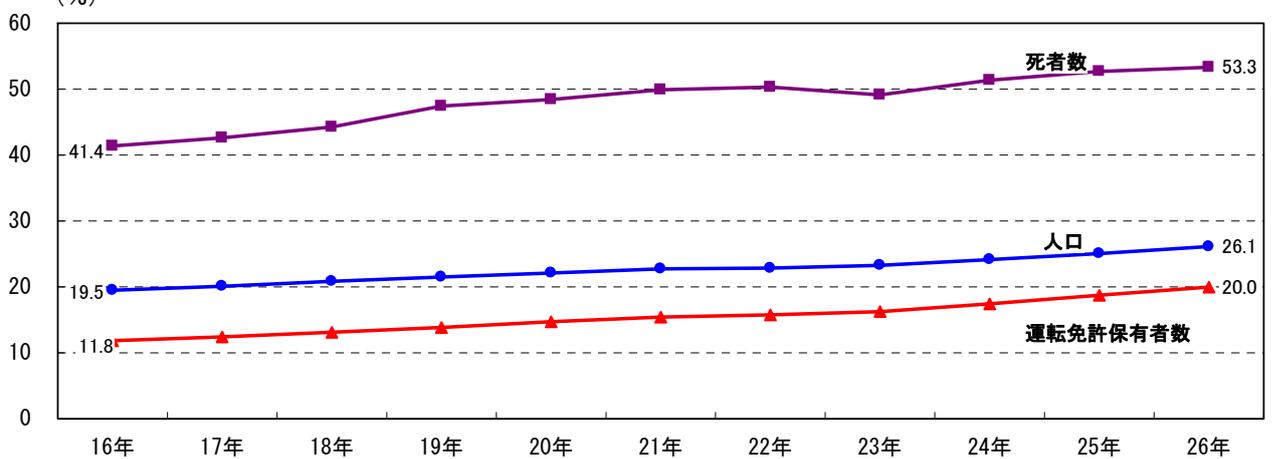
2 同月比は、平成25年を100とした場合の平成26年の値である。

(2) 運転免許

高齢者（65歳以上）の人口、運転免許保有者数及び死者数の推移（各年12月末）



(%) 人口、運転免許保有者数及び死者数の高齢者構成率の推移（各年12月末）



○ 高齢者の人口、運転免許保有者数及び死者数の推移

		16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
人口 (万人)	65歳以上 (構成率)	2,488	2,567	2,660	2,747	2,822	2,901	2,925	2,975	3,079	3,190	3,317
	(指数)	100	103	107	110	113	117	118	120	124	128	133
	総数	12,769	12,777	12,777	12,777	12,769	12,751	12,806	12,780	12,752	12,730	12,707
	(指数)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
運保 転有 免者 許数 (千人)	65歳以上 (構成率)	9,272	9,766	10,389	11,071	11,827	12,471	12,754	13,190	14,210	15,342	16,389
	(指数)	100	105	112	119	128	135	138	142	153	165	177
	総数	78,247	78,799	79,330	79,907	80,448	80,812	81,010	81,215	81,488	81,860	82,076
	(指数)	100	101	101	102	103	103	104	104	104	105	105
死 者 数 (人)	65歳以上 (構成率)	3,071	2,951	2,834	2,742	2,517	2,479	2,476	2,291	2,264	2,303	2,193
	(指数)	100	96	92	89	82	81	81	75	74	75	71
	総数	7,425	6,927	6,403	5,782	5,197	4,968	4,922	4,663	4,411	4,373	4,113
	(指数)	100	93	86	78	70	67	66	63	59	59	55
高齢者自動車運転中死者数 (指数)		506	529	481	439	421	402	411	396	404	431	428
		100	105	95	87	83	79	81	78	80	85	85

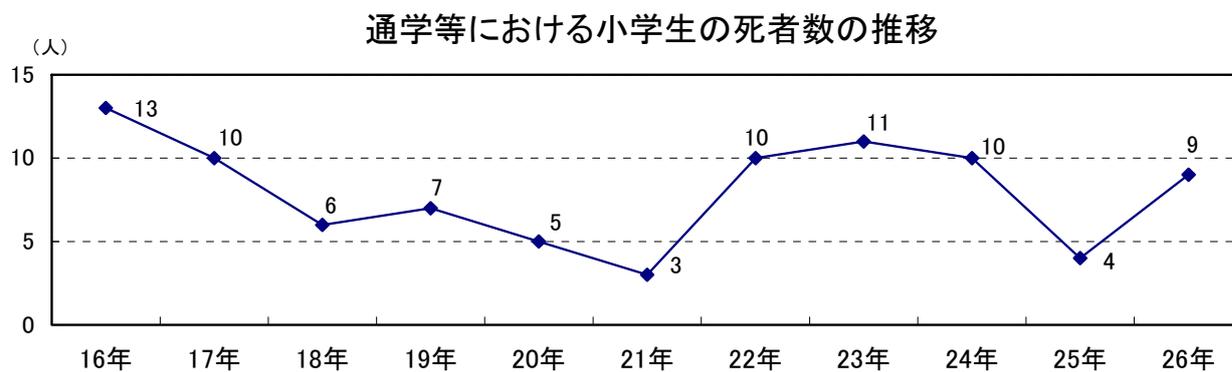
注1 人口は、総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。なお、平成26年は概数である。

注2 運転免許保有者数は、各年12月末現在である。

注3 構成率は、総数に占める65歳以上の割合である。

注4 指数は、平成16年を100とした場合の値である。

10 通学等における事故発生状況



○ 通学等における小学生の死者数の推移(各年12月末)

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
小学生	13	10	6	7	5	3	10	11	10	4	9
歩行中	12	10	4	7	4	2	10	11	10	3	9
自転車乗用中	1	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0

注 通学等とは、学校への登校途中、校外授業中(遠足、修学旅行、クラブ活動等)、自宅への下校途中をいう。

11 都道府県別交通事故発生状況

管区	都道府県	発生件数			死者数				負傷者数		
		26年	増減数	増減率	26年	増減数	増減率	順位	26年	増減数	増減率
北海道	札幌	8,684	-727	-7.7	82	-11	-11.8		10,186	-749	-6.8
	函館	989	-172	-14.8	16	2	14.3		1,239	-205	-14.2
	旭川	1,180	-248	-17.4	33	4	13.8		1,479	-327	-18.1
	釧路	927	-268	-22.4	29	-2	-6.5		1,064	-335	-23.9
	北見	494	-33	-6.3	9	-8	-47.1		603	-60	-9.0
	計	12,274	-1,448	-10.6	169	-15	-8.2	7	14,571	-1,676	-10.3
東	青森	4,133	-830	-16.7	54	6	12.5	32	5,105	-1,017	-16.6
	岩手	2,712	-346	-11.3	64	-8	-11.1	26	3,424	-413	-10.8
	宮城	9,142	-709	-7.2	83	-5	-5.7	20	11,703	-948	-7.5
	秋田	2,270	-248	-9.8	37	-11	-22.9	43	2,819	-327	-10.4
	山形	6,426	-656	-9.3	44	5	12.8	39	7,811	-941	-10.8
北	福島	7,710	-1,238	-13.8	87	8	10.1	19	9,450	-1,611	-14.6
	計	32,393	-4,027	-11.1	369	-5	-1.3	***	40,312	-5,257	-11.5
東	東京	37,184	-4,857	-11.6	172	4	2.4	6	43,212	-5,643	-11.6
関東	茨城	12,534	-745	-5.6	132	-31	-19.0	11	16,460	-821	-4.8
	栃木	6,413	-1,024	-13.8	102	1	1.0	15	8,027	-1,362	-14.5
	群馬	16,316	-1,366	-7.7	67	-6	-8.2	25	20,649	-2,044	-9.0
	埼玉	30,821	-2,459	-7.4	173	-7	-3.9	5	37,673	-3,179	-7.8
	千葉	19,705	-1,762	-8.2	182	-4	-2.2	3	24,525	-2,330	-8.7
	神奈川	30,434	-3,413	-10.1	185	17	10.1	2	35,998	-4,391	-10.9
	新潟	6,317	-1,239	-16.4	103	-4	-3.7	14	7,654	-1,564	-17.0
	山梨	4,514	-553	-10.9	49	11	28.9	34	5,934	-797	-11.8
	長野	9,283	-575	-5.8	82	-18	-18.0	21	11,501	-761	-6.2
	静岡	33,499	-1,725	-4.9	143	-41	-22.3	9	43,640	-2,014	-4.4
	計	169,836	-14,861	-8.0	1,218	-82	-6.3	***	212,061	-19,263	-8.3
中部	富山	4,379	-270	-5.8	44	-9	-17.0	39	5,068	-270	-5.1
	石川	4,074	-565	-12.2	55	-6	-9.8	31	4,846	-692	-12.5
	福井	2,416	-477	-16.5	49	-8	-14.0	34	2,778	-650	-19.0
	岐阜	8,250	-1,082	-11.6	93	-32	-25.6	17	11,055	-1,415	-11.3
	愛知	46,131	-2,818	-5.8	204	-15	-6.8	1	57,183	-3,684	-6.1
	三重	8,100	-1,704	-17.4	112	18	19.1	13	10,717	-2,168	-16.8
	計	73,350	-6,916	-8.6	557	-52	-8.5	***	91,647	-8,879	-8.8
近畿	滋賀	6,598	-1,238	-15.8	63	-11	-14.9	27	8,545	-1,669	-16.3
	京都	10,185	-1,202	-10.6	69	-1	-1.4	24	12,387	-1,414	-10.2
	大阪	42,729	-3,381	-7.3	143	-36	-20.1	9	51,501	-3,862	-7.0
	兵庫	30,118	-2,616	-8.0	182	-5	-2.7	3	36,894	-3,379	-8.4
	奈良	5,868	792	15.6	45	3	7.1	38	7,474	881	13.4
畿	和歌山	4,115	-637	-13.4	39	-8	-17.0	42	5,217	-715	-12.1
	計	99,613	-8,282	-7.7	541	-58	-9.7	***	122,018	-10,158	-7.7
中国	鳥取	1,168	-112	-8.8	34	9	36.0	45	1,396	-223	-13.8
	島根	1,583	-64	-3.9	26	-2	-7.1	47	1,831	-119	-6.1
	岡山	12,271	-1,911	-13.5	90	-17	-15.9	18	14,745	-2,548	-14.7
	広島	12,479	-1,891	-13.2	117	1	0.9	12	15,600	-2,567	-14.1
	山口	6,268	-646	-9.3	58	-7	-10.8	28	7,756	-793	-9.3
	計	33,769	-4,624	-12.0	325	-16	-4.7	***	41,328	-6,250	-13.1
四国	徳島	4,372	-428	-8.9	31	-18	-36.7	46	5,443	-445	-7.6
	香川	8,942	-1,159	-11.5	52	-3	-5.5	33	11,044	-1,312	-10.6
	愛媛	5,745	-947	-14.2	75	5	7.1	23	6,817	-1,043	-13.3
	高知	2,690	-269	-9.1	41	-1	-2.4	41	3,002	-308	-9.3
	計	21,749	-2,803	-11.4	199	-17	-7.9	***	26,306	-3,108	-10.6
九州	福岡	41,168	-2,510	-5.7	147	2	1.4	8	54,507	-3,248	-5.6
	佐賀	8,870	-494	-5.3	56	10	21.7	29	11,813	-814	-6.4
	長崎	6,465	-700	-9.8	49	2	4.3	34	8,335	-928	-10.0
	熊本	7,584	-1,148	-13.1	76	-6	-7.3	22	9,650	-1,575	-14.0
	大分	5,161	-606	-10.5	56	-4	-6.7	29	6,670	-828	-11.0
	宮崎	9,759	-699	-6.7	49	-10	-16.9	34	11,534	-1,055	-8.4
	鹿児島	8,425	-782	-8.5	94	3	3.3	16	9,887	-1,055	-9.6
	沖縄	6,242	-422	-6.3	36	-16	-30.8	44	7,523	-383	-4.8
	計	93,674	-7,361	-7.3	563	-19	-3.3	***	119,919	-9,886	-7.6
合	計	573,842	-55,179	-8.8	4,113	-260	-5.9	***	711,374	-70,120	-9.0

注 増減数(率)は、前年と比較した値である。

12 都道府県別高齢者の死者数

(平成26年12月末)

区分 都道府県別		全死者	うち高齢者	全人口 (千人)	うち高齢者 (千人)	高齢者人口当たり死者	
						順位	
北海道		169	75	5,431	1,469	5.11	42
東	青森	54	37	1,335	373	9.92	16
	岩手	64	36	1,295	372	9.68	18
北	宮城	83	40	2,328	553	7.23	32
	秋田	37	30	1,050	331	9.06	21
	山形	44	24	1,141	332	7.23	33
	福島	87	43	1,946	524	8.21	26
東京都		172	65	13,300	2,914	2.23	47
関	茨城	132	60	2,931	728	8.24	25
	栃木	102	44	1,986	480	9.17	20
	群馬	67	42	1,984	512	8.20	27
	埼玉	173	78	7,222	1,661	4.70	43
東	千叶	182	95	6,192	1,505	6.31	39
	神奈川	185	66	9,079	2,033	3.25	46
	新潟	103	66	2,330	655	10.08	14
	山梨	49	23	847	225	10.22	13
	長野	82	43	2,122	600	7.17	35
	静岡	143	73	3,723	966	7.56	29
中	富山	44	24	1,076	309	7.77	28
	石川	55	35	1,159	302	11.59	8
	福井	49	28	795	214	13.08	2
	岐阜	93	50	2,051	539	9.28	19
	愛知	204	123	7,443	1,662	7.40	30
	三重	112	57	1,833	480	11.88	7
近	滋賀	63	39	1,416	319	12.23	5
	京都	69	38	2,617	676	5.62	41
	大阪	143	75	8,849	2,184	3.43	45
	兵庫	182	103	5,558	1,408	7.32	31
	奈良	45	21	1,383	369	5.69	40
	和歌山	39	20	979	288	6.94	36
中	鳥取	34	20	578	163	12.27	4
	島根	26	18	702	217	8.29	24
	岡山	90	58	1,930	524	11.07	10
	広島	117	64	2,840	743	8.61	22
四	山口	58	29	1,420	429	6.76	37
	徳島	31	19	770	224	8.48	23
	香川	52	33	985	277	11.91	6
	愛媛	75	46	1,405	404	11.39	9
	高知	41	25	745	232	10.78	12
九	福岡	147	82	5,090	1,230	6.67	38
	佐賀	56	34	840	219	15.53	1
	長崎	49	28	1,397	390	7.18	34
	熊本	76	53	1,801	491	10.79	11
	大分	56	33	1,178	337	9.79	17
	宮崎	49	31	1,120	310	10.00	15
	鹿児島	94	58	1,680	467	12.42	3
	沖縄	36	9	1,415	260	3.46	44
合計		4,113	2,193	127,298	31,898	6.88	—

注1 「高齢者人口当たり死者」とは、高齢者人口10万人当たりの死者数をいう。

2 人口は、総務省統計資料「平成25年10月1日現在推計人口」による。

13 死者3人以上の交通事故発生状況

NO	発生日時	発生場所	死傷者	関係車両等	交通事故の概要
1	1月13日 21時50分ごろ	国道 (沖縄)	死亡3 重傷2 軽傷1	大型貨物1 軽四乗用2	中東郡北中城村内の国道において、大型貨物車が緩やかな左カーブを進行中、自車の牽引する被牽引車の荷台から落下した積載物(鉄筋コンクリート製橋げた)が対向車線に進出して、対向車線を進行していた軽四乗用車2台に衝突し、1台の軽四乗用車の乗員2名中、2名が死亡、もう1台の軽四乗用車の乗員4名中、運転者が重傷、同乗者1名が死亡、1名が重傷、1名が軽傷を負ったもの。
2	4月21日 11時55分ごろ	国道 (広島)	死亡3 重傷1 軽傷1	普通乗用1 中型貨物1	世羅郡世羅町内の国道において、普通乗用車がY字路交差点を右折する際、対向車両の安全確認を怠ったため、中型貨物車と衝突し、普通乗用車の乗員4名中、運転者が重傷、同乗者3名が死亡し、中型貨物車の運転者が軽傷を負ったもの。
3	5月11日 15時40分ごろ	国道 (鳥取)	死亡3	軽四乗用2	西伯郡伯耆町の国道において、軽四乗用車同士が正面衝突し、対向車線に進出した軽四乗用車の乗員1名、もう一方の軽四乗用車の乗員2名全員が死亡したもの。
4	6月5日 18時20分ごろ	高速 (神奈川)	死亡3 重傷4	普通貨物1 中型貨物1	横浜市中区内の高速道路上において、普通貨物車が道路左側の壁に衝突後、インターチェンジ流入加速部先端に駐車中の中型貨物車に衝突し、普通貨物車の乗員7名中、運転者が重傷、同乗者3名が死亡、3名が重傷を負ったもの。
5	6月7日 0時35分ごろ	国道 (埼玉)	死亡4	軽四乗用1 大型貨物1	さいたま市内の国道において、軽四乗用車が対向車線に進出し、対向車線を進行していた大型貨物車と衝突し、軽四乗用車の乗員4名全員が死亡したもの。
6	6月18日 8時20分ごろ	国道 (北海道)	死亡3	普通乗用2 自転車1	旭川市内の国道において、普通乗用車が交差点を右折する際、対向車線を直進してきた普通乗用車と衝突し、直進してきた普通乗用車はその弾みで、進路左側の歩道上で信号待ちのため停車中の自転車に衝突し、直進してきた普通乗用車の乗員2名全員、自転車の運転者が死亡したもの。
7	7月13日 16時28分ごろ	市道 (北海道)	死亡3 重傷1	普通乗用1 徒歩4	小樽市内の市道において、普通乗用車が進行方向左側端を同方向に歩いていた歩行者4名と衝突し、歩行者3名が死亡し、1名が重傷を負ったもの。
8	11月1日 3時10分ごろ	高速 (岩手)	死亡3 重傷2 軽傷1	普通乗用1 (落下物)	岩手県北上市内の高速道路上において、普通乗用自動車(キャンピングカー)が落下物を跳ね上げ、同落下物が燃料タンクに突き刺さり、燃料に引火して全焼。普通乗用車の乗員6名中、運転者が重傷、同乗者3名が死亡、1名が重傷、1名が軽傷を負ったもの。
9	11月18日 0時54分ごろ	県道 (千葉)	死亡4	普通乗用1 大型貨物1	袖ヶ浦市内の県道において、普通乗用車が進路左側の縁石に衝突後、対向車線に進出し、対向車線を進行していた大型貨物車と衝突し、普通乗用車の乗員4名全員が死亡したもの。
10	11月21日 11時55分ごろ	県道 (京都)	死亡3	普通貨物1 大型貨物1	京丹後市内の県道交差点において、普通貨物車が一時停止のある交差点を直進した際、左方から進行してきた大型貨物車と衝突し、普通貨物車の乗員3名全員が死亡したもの。
11	12月28日 15時50分ごろ	高速 (東京)	死亡3	軽四貨物1	府中市内の高速道路上において、軽四貨物車がインターチェンジ出口分岐に衝突し、軽四貨物車の乗員3名全員が死亡したもの。

※ 平成26年中に発生し、各都道府県警察から報告を受けたものを集約した。